

主任者部会設立 50 周年資料集

2012 年 9 月

日本アイソトープ協会
放射線取扱主任者部会
主任者部会設立 50 周年記念誌
編集ワーキンググループ

本資料集の内容を印刷物等に転載する場合には転載許可が必要です。
なお、日本アイソトープ協会は、2012年4月1日付で公益社団法人に移行しました。それに伴い、放射線取扱主任者部会は、放射線取扱主任者の地位向上のみならず、放射線障害の防止と公共の安全・安心の確保に寄与する活動を行う部会の目的に合わせて、その名称を「放射線安全取扱部会」に変更しました。

目 次

はじめに

第1章 主任者部会設立の創成期	1
1.1 放射線取扱主任者の誕生前	1
1.2 放射線障害防止法の誕生前	2
1.3 放射線取扱主任者の誕生	3
1.4 主任者部会の創立	3
1.5 50年前の主任者たち	4
第2章 主任者部会の組織の変遷	5
第3章 主任者部会の活動	9
3.1 主任者部会の活動について	9
3.2 主任者部会活動における分科会活動について	9
3.3 主任者部会・部会員等が関わった主な発行図書類	9
第4章 資料・年表	10
表4.1 放射線取扱主任者部会の歴代部会長・委員長等	10
4.1.1 部会組織改正以前(1959年12月～1992年5月)	10
4.1.2 部会組織改正以後(1992年6月～)	12
表4.2 放射線取扱主任者部会の活動年表	14
表4.3 主任者部会総会・年次大会等の開催記録	44
表4.4 周年記念として実施された講演会・特集等	69
表4.5 放射線従事者等を対象とした講習会・勉強会の開催記録	73
4.5.1 放射性同位元素協会(関西常任委員会)	73
4.5.2 放射性同位元素協会, 大阪府立放射線中央研究所	73
4.5.3 放射線取扱主任者部会	73
表4.6 「放射線業務従事者のための教育訓練講習会(新規・再教育)」の記録	73
4.6.1 北海道地方委員会	73
4.6.2 北海道支部委員会	73
4.6.3 東北地方委員会(共催: 東北放射線科学センター)	76
4.6.4 東北支部委員会(共催: 東北放射線科学センター)	76
4.6.5 東京常任委員会	78
4.6.6 関東支部委員会	79
4.6.7 中部常任委員会(共催: 中部原子力懇談会)	88
4.6.8 中部支部委員会(共催: 中部原子力懇談会)	88
4.6.9 関西常任委員会	92
4.6.10 近畿支部委員会	92
4.6.11 中国・四国支部委員会	97
4.6.12 九州地方委員会	100
4.6.13 九州支部委員会	100
表4.7 事業所内教育訓練受託業務	103
表4.8 分科会等活動一覧	104
表4.9 主任者部会・部会員等が関わった主な発行図書類	105
4.9.1 部会組織改正以前(1959年12月～1992年5月)	105
4.9.2 部会組織改正以後(1992年6月～)	105
4.9.3 その他部会員等が関わった図書類等	107
表4.10 日本アイソトープ協会会員数と放射線取扱主任者部会部会員数の推移	108
4.10.1 日本アイソトープ協会会員数の推移	108
4.10.2 放射線取扱主任者部会部会員数の推移	109
編集後記	110

はじめに

わが国で放射性同位元素の利用が本格的に始まる半世紀前、医療の放射線利用に伴う放射線障害の悲惨な経験と教訓を基にして、今日の放射線障害防止法案の検討がスタートしました。この新しい放射線障害防止法の策定に当たっては、この当時、医療のX線利用に伴う悲惨な放射線障害の状況を憂い、今後の放射線利用に際しては、新たな放射線安全体制が必要と、1957年に多くの先人達の願いと期待を込めて、「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（放射線障害防止法）」が制定されました。この放射線障害防止法の要として、各放射線事業所において、放射線安全の監督者である放射線取扱主任者（主任者）を配置するため、1958年に主任者が誕生しました。そして、1959年には主任者の相互の連帯を高め、放射線安全の普及と向上を図るために、日本放射性同位元素協会（現日本アイソトープ協会）に放射線取扱主任者部会（主任者部会）が設立され、既に50余年の月日が経ちました。

「主任者部会設立50周年記念誌」は、主任者の方と主任者部会で活動する会員の方に、主任者誕生の原点となる半世紀前の創成期の頃を紹介し、また、これまでの主任者部会活動に携わった方、主任者部会に係わる学協会・団体の方々からご寄稿頂いた「主任者部会の将来に向けて」と、平成21年度主任者部会年次大会（主任者部会設立50周年記念大会）（2009）で行われた特別講演2題のほか、主任者部会の50年間の主な活動記録をまとめた資料・年表編を加え、2010年4月に発行する予定で編集ワ

ーキンググループ一同作業を進めておりました。

しかし、この編集作業は諸事情で遅れ、さらに、2011年3月11日の東日本大震災による東京電力(株)福島第一原子力発電所事故への対応などにより、編集作業が一時中断しました。

この度、編集作業を終えましたが、発行予定より2年余り経過し、ご寄稿を頂いた方々のご所属やお立場が変わっておられることなどから、「主任者部会設立50周年記念誌」の刊行は取り止めることと致しました。

ご寄稿を頂いた方々と多くの関係者の方にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

ただ、資料関連の箇所は貴重な記録であることから、これらの箇所をまとめ、「主任者部会設立50周年資料集」として電子データで公表することと致しました。

参考にご供して頂ければ幸いに存じます。

なお、日本アイソトープ協会は、2012年4月1日付で公益社団法人に移行しました。それに伴い、放射線取扱主任者部会は、放射線取扱主任者の地位向上のみならず、放射線障害の防止と公共の安全・安心の確保に寄与する活動を行う部会の目的に合わせて、その名称を「放射線安全取扱部会」に変更しました。

わが国の主任者・放射線安全管理者の要として、半世紀におよぶ活動をまとめた「主任者部会設立50周年資料集」が、新たな名称の「放射線安全取扱部会」として活動をスタートする次の世代の方々に活用されることを期待します。

☆主任者部会設立50周年記念誌編集ワーキンググループ

主査 菊地 透（自治医科大学RIセンター）

委員 井原 智（杏林大学医学部RI研究部）

佐藤 和則（東北大学加齢医学研究所）

中里 一久（慶應義塾大学医学部放射線安全管理室）

松田 淑美（自然科学研究機構岡崎共通研究施設アイソトープ実験センター）

片田 元己（首都大学東京大学院理工学研究科）

井戸 達雄（日本アイソトープ協会）

任期：2008年7月22日～2009年11月30日

（委員の所属は、任期時のものです。）

第1章 主任者部会設立の創成期

1.1 放射線取扱主任者の誕生前

放射線取扱主任者（主任者）の誕生は、1957年に「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（放射線障害防止法）」が制定された時である。では、主任者の誕生前の放射線防護・放射線安全管理はどのような状況であったかを考察する。

放射線障害の防止に関する認識は、19世紀末に発見された放射線および放射性同位元素の利用と共に、一部の放射線関係者から放射線障害の症例が出始めた時に起きた。特に20世紀初頭から医療分野においてX線撮影やラジウム治療の広範な利用が普及すると、放射線従事者や放射線診療を受けた患者から放射線障害が散見された。欧米諸国では、1910年代から1920年代にかけて、放射線利用を普及・推進するためには、今後は放射線障害の防止が不可欠であることから、放射線防護・放射線安全管理の関心が高まり、医療分野のレントゲン学会が放射線防護対策の指針等を提示し、1920年代にはこれらの指針が放射線防護の関係法令として制定・整備された。

さらに、国際的な対応として国際放射線学会(ICR: International Congress of Radiology)が、1927年にX線およびラジウムの防護に関するICR勧告を提示し、1928年に現在の国際放射線防護委員会(ICRP: International Commission on Radiological Protection)の前身となる「国際X線・ラジウム防護委員会」(IXRPC: International X-ray and Radium Protection Committee)が設立された。

わが国では、この時代の欧米諸国や国際的な放射線防護・放射線安全の対応からは遅れ、1937年に内務省から「診療用エックス線装置取締規則」(内務省令第32号)と逓信省から「エックス線量計検定規則」が初めて放射線関係法令として制定された。しかし、診療用エックス線装置取締規則が制定されてから10年以上経ても、多くの放射線従事者に放射線障害が起きており、1950年代になっても、日本医学放射線学会の調査によると、1950年と1951年の主な大学病院でX線診療従事者に対する血液検査結果では、血液異常者が1950年に54%、1951年には69%と半数を超え、放射線従事者から白血球の減少などの血液異常が起きていた。また、病院のX線室のX線防護用の鉛当量も十分でなく、残念ながら1937年の診療用エックス線装置取締規則で

は、放射線従事者の放射線障害の防止が徹底されている状況ではなかったことを、当時の中泉正徳氏（東京大学医学部放射線科教授）が、放射線障害防止法案に関して、1957年4月27日の衆議院振興対策特別委員会（第28号）で述べた議事内容からも察することができる¹⁾。中泉氏は、「当時としては診療用エックス線装置取締規則は進歩的な内容で、8,9分通りは妥当であった。しかし、最大の欠点は、内務省等の行政側が、この法令に則して実施するだけの実力がなく、規則違反者や放射線障害を発見しようとする熱意にも欠けていた感がある」と指摘している。その結果、「わが国の放射線診療従事者の多くから白血球減少等、欧米諸国と比べると類例を見ない悲惨な状況」と述べている。その原因に、わが国は人の生命と健康とを軽んじ、自分に与えられた仕事を早く済ませるため、放射線従事者も自らの健康を犠牲にして顧みないという“美德”がある。昔の言葉でいうと特攻精神に富んでいる。この特攻精神が1950年代までの放射線従事者の白血球減少に一役買っていた様で、今回の新しい法令(放射線障害防止法)を定め、放射線検査官が現場を表向きに見て歩いても防げない、安全哲学に関する難問題があることを懸念している。

したがって、新たな放射線障害防止法の制定に際しては、確実に放射線障害を防止するために、個々の放射線施設規模に応じて、人の生命と健康を第一に優先し、現場で必要な放射線安全の専門的な知識と技術能力を有する、放射線防護・放射線安全を監督する責任者として、今日の主任者の誕生が期待されたと推察する。

また、20世紀初頭の放射線防護手法や防護量に関しては、1902年にロリンズが、写真乾板が黒化しない程度のX線照射ならば人への影響はないだろうと、当時のX線透視で7分以下の照射は安全とする防護量を示し、有害な放射線影響に注意して不必要なX線を防護することの重要性を提示した。その後、1913年にドイツのレントゲン協会から「レントゲン線の防護手段規則に関する覚書」が発表され、具体的なX線の防護方法が提示された。

この防護手法には、鉛材を基準にした壁厚、鉛ガラス、X線管の遮へいに関する事、さらに放射線従事者は、防護対策が不十分であれば放射線業務を拒否できることなどが記載されている。イギリスの

X線学会も 1915 年に「X線従事者の防護に関する勧告」を発表し、1921 年には「X線およびラジウム防護委員会」が設立された。同様に、アメリカでも 1920 年にレントゲン線協会に放射線防護委員会が設立され、1922 年に放射線防護についての勧告が行われた。この背景には、第一次世界大戦の負傷兵に対してX線検査が多用され、X線検査を受けた負傷兵とX線従事者に放射線障害が多発し、放射線障害の防止に関してメディア報道などで社会的な話題となったことも要因となった。

防護量に関して、1920 年代に、皮膚紅斑線量(HED)の 1/1000 を何日間までならば受けても許容できるかを提示し、1930 年代からは日数当たりの R 単位で表す照射線量が提示された。さらに、1934 年に国際X線・ラジウム防護委員会から、放射線従事者に被ばく線量の許容線量として 1 日当たり 0.2R が提示された。

わが国の当時の放射線従事者の年間被ばく線量は、北畠隆氏らの報告²⁾から 1922 年～1926 年は 680R、1936 年～1940 年は 240R、1946 年～1953 年には 9.3R と推測し、年代と伴に減少している。しかし、当時の国際X線・ラジウム防護委員会の許容線量よりも、放射線従事者の被ばくは約 10 倍も高かったことから、明らかに主任者の誕生前の時代は、確定的な放射線影響の放射線障害が日常的に起きていた悲惨な時代と推察される。

1. 2 放射線障害防止法の誕生前

わが国の放射性同位元素の利用は、1903 年のラジウムの輸入からであり、その後多くの医療機関でラジウム治療が始まった。また、1937 年に理化学研究所のサイクロトロンで、放射性同位元素の製造も始まった。なお、第二次世界大戦の終戦後に米国の命令で、サイクロトロンは 1945 年に破壊廃棄され、放射性同位元素の製造は中止した。その後、1950 年に米国から放射性同位元素の輸入が始まり、本格的な放射性同位元素の利用が進み、1951 年に今日の日本アイソトープ協会が設立された。

放射性同位元素の輸入量は増加し、1955 年度第 4 期分の総数は使用者数 293 名、件数は 449 件で医学関係の研究および診療が全体の 6 割以上を占めていた。その後も、放射性同位元素の利用は、生物学、農学、医学・薬学、工学または工学的応用など多くの分野で急速に普及し、原子力平和利用の一環として産業、医療やその他の分野においても放射線利用の活発な発展とその多大な成果が期待された。

そのため、新たに原子力時代を迎え、医療分野の放射線関係者を中心に、放射線障害の防止に関する法令策定の検討が始まり、1950 年代以前の診療用エックス線装置取締規則時代の放射線従事者が被った放射線障害の悲惨な経験を二度と繰り返したくない強い思いから、放射線利用に伴う放射線障害に対する十分な安全対策を講じ、放射線障害の防止に万全を期することの機運が高まった。

1952 年に、当時の STAC (科学技術行政協議会) に放射性物質取締法案検討小委員会 (委員長: 中泉正徳、東京大学医学部教授) が設置された。同小委員会は、日本医学放射線学会の答申に基づき、「放射性物質による障害予防勧告」の中間報告を 1954 年に提示した。STAC は、この中間報告を受けて欧米諸国の放射線障害防止の関係法令を調査し、関係行政機関と検討を重ねた結果、1955 年に放射線による障害の防止に関する法律を制定する法案として、STAC 総会に中間的報告として提出し、この法案を関係行政機関に通知した。

なお、当時の国会では原子力基本法等原子力関係法律案が審議中で、STAC からの当該法案に若干の修正を加えて法案の成立を図る動きもあった。しかし、放射線防護に関する新しい技術的立法のため、新設の総理府原子力局 (1956 年から科学技術庁原子力局) において、新に「放射線障害防止の技術的基準に関する法律」として再度検討し、新設の科学技術庁原子力局において、原子力委員会の専門委員会の下部組織に法案検討小委員会 (委員長: 樋口助弘、東京慈恵会医科大学教授) を設けて、放射線障害防止法の法案が検討された。

この放射線障害防止法案の骨子の目的は、「原子力基本法」の精神に則り、放射性同位元素の使用、販売その他の取扱いならびに放射性同位元素装備機器または放射線発生装置の使用を規制することにより、これらによる放射線障害を防止し、公共の安全を確保する」とある。また、主任者制度の設置状況は、欧米諸外国の放射線障害防止の関係法令等の調査から、放射線事業所の認可に際して、専門的知識を有した取扱いの監督・指揮する者を一定の人員配置する条件を課している。この放射線障害防止に関する専門的知識を有する者として、わが国の場合は、放射性同位元素等の使用者および販売業者は、国が行う主任者試験に合格した者、その他これと同等以上の学識経験を有すると認められた者のうちから主任者を選任し、放射線障害の発生の防止について必要な監督を行わせなければならない有資格者の存在が生まれた。

そして、1957年3月26日の閣議決定を経て、同年4月27日の衆議院本会議を通過し、5月18日の参議院本会において可決し、6月10日に法律第167号として、放射線障害防止法が、1955年の原子力基本法の制定に基づき公布された。（当時の原子力委員会月報を参考）

1.3 放射線取扱主任者の誕生

放射線障害防止法の施行の大部分は、1957年6月10日の公布から翌1958年4月1日の施行であった。なお、主任者制度は公布日から施行し、主任者は放射線障害防止法で定めた国家資格者として、放射線防護に十分な知識と技術を有し、放射線施設の放射線安全管理に対して適切に指示・監督を行う者と定めた。これにより、放射線障害防止法の規制対象の事業主は、主任者を少なくとも1名以上選任し、放射線障害防止に関する主任者の意見を尊重しなければならない。また、放射線従事者は主任者の放射線防護に関する指示に従う義務がある。したがって、主任者は、わが国の放射線障害防止法上の職務を誠実に実施する専門的な知識と能力を有する国家資格者の認定が必要である。

そのため、1958年に初めての主任者資格の認定を行い、43名に主任者免状の交付が行われた。わが国最初の主任者誕生である。この主任者の認定基準は、「学校教育法による大学(昭和22年(1947))、旧大学令(大正7年勅令(1918))大学若しくは旧専門学校令(明治36年勅令(1903))による専門学校において理科系統の正規の課程を修めて卒業した者又はこれと同等以上の学力を有すると認められる者と診療X線技師法(昭和26年(1951))に基づく免許を有する者で、放射線の取扱い又はその管理の業務に通算して3年以上従事した者」とされた。

さらに、第1回放射線取扱主任者試験が、1958年3月23日・24日に実施され、4月12日付けで当時の正力松太郎科学技術庁長官の名前で主任者免許が交付された。この主任者試験合格者は、東京会場で131名と大阪会場で54名の合計185名であった。同年の10月18日・19日に第2回主任者試験が行われ、12月8日に東京会場で97名と大阪会場で81名の合計178名の合格者を加えて、実質的な放射線障害防止法の施行前の1958年には、406名の主任者が誕生した。

この第1回認定交付者には、元日本アイソトープ協会会長の中尾喜久や歴代主任者部会長の一宮虎雄、大野明、池田長生など、各放射線分野で活躍された人達の名前が列なる。また、主任者試験合格

者の多くも、放射線の利用と安全管理に大きく貢献した大先輩である。なお、この当時の主任者試験手数料は千円であったが、その当時の物価からすると今と変わらない金額と思われる。

1959年に主任者部会が発足した時には、認定による主任者の171名と1959年に実施された第3回主任者試験の合格者を加えた試験合格者540名の合計711名が、わが国の主任者として誕生していた。

主任者誕生当時の放射線事業所数は1959年に50事業所であった。翌1960年に392事業所と4倍に急増し、1961年には541事業所と3年間で10倍以上となり、主任者の誕生と共に放射線事業所が増え、これらの放射線施設において、主任者資格者の中から主任者が選任された。誕生期の主任者は、放射性同元素利用の創成期に係わり、放射線障害防止の専門的な知識を有する認定資格者および国家試験に合格した者として、新分野の放射性同位元素の取扱い技術や放射線障害防止法の内容等も十分熟知する先人者である。そのため、各放射線施設の放射線安全の初代監督者として活躍し、放射線安全管理者のパイオニアとして、わが国の悲惨な教訓から新たな放射線障害の防止に努める国家資格者として期待された主任者誕生の創成期である。

1.4 主任者部会の創立

1959年までに放射線障害防止法の重要な役割を担う主任者の資格者は、認定による主任者と主任者試験の合格者で、711名誕生していた。そのため、当時の日本放射性同位元素協会に、主任者が相互に連帯し、研鑽を重ね、放射線の安全取扱技術の向上を図るために、主任者の集まりの会として、放射線取扱主任者部会（主任者部会）が1959年11月26日に誕生し、主任者約100名が参加して発会式が行われた。

発会式では、当時の島村武久科学技術庁原子力局次長から、「主任者は権威あるものとして、一般から信頼され、仕事の責任に対して報われるような環境を作っていく努力をしなければと考えている。科学技術庁として主任者の集まりの会を望んでおり、この部会の健全な発展を祈り、お世話をしたいと考えている。」と挨拶された。また、当時の茅誠司協会会長から、「協会としては、この部会について主任者の自主的な運営を希望する。」と挨拶された。

主任者部会の発足早々から、放射線障害防止法の改定に伴い、主任者部会から意見書を当時の科学技術庁原子力局長に提出している。放射線障害防止の

要である主任者の集まりとしての主任者部会が主導的な立場で、放射線事故時の連絡方法を科学技術庁、警察庁、消防庁等の関係機関を集め打合わせ会を開催している。

また、1960年に主任者部会総会（主任者年次大会）を東京の学士会館で、約350名の主任者が集まり開催した。この当時の主任者部会員は、日本放射性同位元素協会の会員であって、現に主任者の職に選任されている者および資格を有する者であり、第1回主任者部会総会には全国の主任者の半数近くが参加した、主任者部会創成期の総会であった。

1.5 50年前の主任者たち

50年前の主任者部会創成期の主任者は、今80歳を超える方が多く、既に逝去されている方が大半である。その内の1人で第1回認定交付者に、1990年～2000年まで日本アイソトープ協会会長を務めた中尾喜久氏の名前がある。

中尾先生は、1937年に当時の東京帝国大学医学部を卒業され、血液学において放射性クロム酸を用い赤血球の研究を、わが国の初期の放射性同位元素利用時代から行っており、1958年の認定交付者となられた。

また、人の放射線影響・放射線障害に重要な出来事として、1945年9月3日から10日までと、同年10月15日から11月20日までの2回にわたり、広島市内で原子爆弾放射線症の血液学的研究のために現地調査に参加された。この調査研究結果は、他の医学領域と理工学領域の調査とともに、1951年に日本学術会議編集として「原子爆弾災害調査報告書（総括編）」に収載されている。中尾先生は、9月の調査では広島第一陸軍病院宇品分院に収容された44名の患者に対して血液学調査を行い、この1週間の調査期間中に、これまである程度元気で言葉を交わした患者の内から15名が死亡したことに驚きを感じられた。「この原子爆弾の被災者は、いかに重篤かつ予後不良であるかを如実に物語る」と指摘されている。原爆症被災者の造血機能は荒廃

にあると推定し、未だに発病しない住民の健診続行と、被爆当時の状況調査の必要性を提示されている。なお、この時の原爆災害調査の体験談を中尾先生から10数年前に伺った際、医師として被爆患者から救いを求められても、何一つ治療することなく、唯、ひたすら患者の血液採取に日々明け暮れた当時の心苦しい心境を話されたことを覚えている。

この第1回調査の原爆災害調査結果報告書は、混乱の東京に帰った数日後の1945年9月15日に「原子爆弾被害の医学的調査研究＊第1報＊」として脱稿している。被爆患者から採血した貴重なデータに対し、現地で治療することなく帰った医師として、救えなかった多くの被災者の方々への気持ちが、報告書の脱稿日が原爆投下1ヶ月後の終戦直後の混乱期に作成されたことから、中尾先生の熱意が伝わる。

また、1953年に「原子爆弾被爆者に経験された白血病の2例」として、被爆後の2年9ヶ月と4年6ヶ月後に急性骨髄性白血病患者で死亡した2症例を紹介された。1930年代のX線技術者からの白血病患者の発症例や動物実験データ等を考察し、2症例は原爆症が白血病患者の発現に密接な関係を有していると推察された。なお、原爆被災者の健康影響調査研究と発表は、敗戦国として約7年間は事実上禁止状態であったため、1953年であった。ちなみに、1945年の第1回原爆災害調査団の責任者は、東京帝国大学医学部外科教室教授の都築正男氏であり、都築先生はその後当時のGHQの発表禁止に対して抗議し、日米共同の研究調査体制が整備され始めた。50年前の先人達である。

文 献

- 1) 第026回国会科学技術振興対策特別委員会、衆議院会議録情報、第28号、1957
- 2) 北畠隆、岡島俊三、往時における本邦のX線従業員の被曝線量の推定、日本医学放射線学会誌、Vol.23, No.10, 1963

第2章 主任者部会の組織の変遷

1959年11月26日午後1時30分より、日本放射性同位元素協会（現日本アイソトープ協会、以後「協会」という）の会議室に放射線取扱主任者約100名が出席して発会式が行われ、放射線取扱主任者部会（以後「主任者部会」という）が設立された。別掲の部会規定が満場一致で可決されるとともに、部会規定に基づいて新役員も委嘱され、同日午後5時10分より、第1回部会常任委員会が開催された。放射線障害防止関係法令やRIの事故対策、記帳様式の作成、情報交換等が審議され、部会員の範囲や常任委員会の運営方法等についても検討された。第1回部会総会は、翌年の1960年10月に東京の学士会館にて開催された（参加者約350名）。

設立当初は東京の常任委員会のみで運営されていたが、1961年7月に関西常任委員会が発足し、第2回部会総会が同年10月に大阪府立放射線中央研究所において開催された。次いで、部会組織の強化のため、1980年6月に中部常任委員会が設立され、東京、関西、中部の3常任委員会体制が整った。さらに、1982年11月に部会の地域活動を充実させるため、東北地区および九州地区に地方委員が置かれ、1990年4月に北海道地区に地方委員が置かれたことにより、部会活動は、北海道から九州まで全国規模で展開されることとなった。これらの常任委員会、地方委員制度は、1992年6月の支部委員会制度の発足まで継続された。1990年3月まで部会長は東京常任委員会の委員長が兼務し、部会総会は東京を中心に、大阪、名古屋で開催された。

東京常任委員会では、Isotope Newsの“主任者コーナー”や、「密封小線源の取扱」、「放射線とアイソトープ」、「個人外部被曝モニタリングの手びき」、「放射線管理実務マニュアル」、「放射線の施設の火災・地震対策」などの手引書やマニュアルの編集を行った。また、“放射線取扱主任者試験問題解答例”の作成に係わってきた。これらの業務は、広報委員会や関東支部委員会に引き継がれた。また、関西常任委員会は、「やさしい放射線とアイソトープ」、「放射線のABC」等の編集を行うとともに、1988年度から“第2種放射線取扱主任者試験問題解答例”の作成を担ってきたが、これらの業務は近畿支部委員会や中部支部委員会が引き継いだ。

また、各種委員会（小委員会、専門委員会など）が必要に応じてつくられたが、主要な委員会としては、基盤整備委員会や新体制移行委員会がある。基盤整備委員会は、設立30年の節目において、これまでやってきた部会活動の見直しと組織運営機構の抜本的な整備を図るこ

とを目的に1990年11月に設置され、翌年8月に報告書を取りまとめ、“基盤整備委員会報告書”として公表した（1991年9月）。さらに、報告書に沿った新体制を発足させるため、同年9月に“新体制移行委員会”（～1992年3月）が設置され、新役員の選出及び報告書内容の具体化のための方策とその実施・調整が行われ、現在の地方支部委員会制度が発足した。

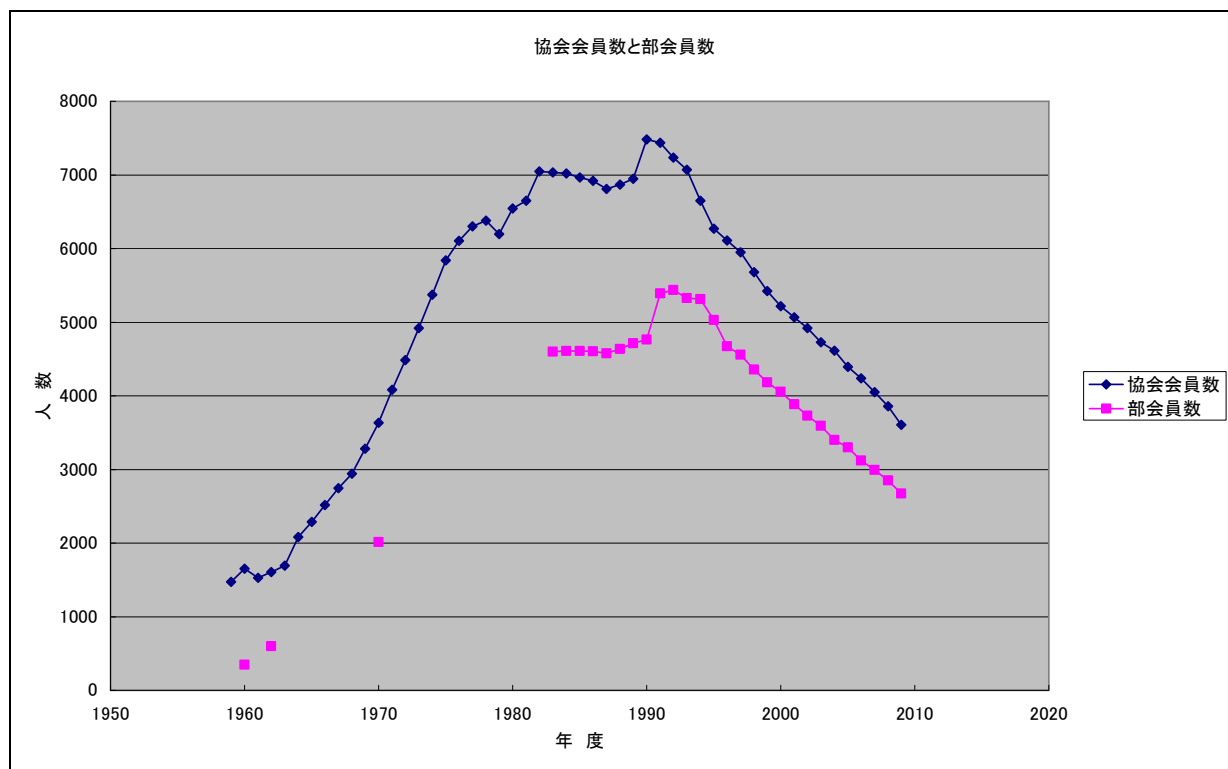
1992年6月に発足した支部委員会制度では、全国を7つの支部組織（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州）に分け、原則的には支部ごとに独自に企画・運営を進めるとし、本部に新たに部会全般にわたる事項、支部間の連絡・調整のために本部運営委員会が、重要事項、緊急に処理すべき事項を審議するために評議員会が設置された。本部運営委員会には企画委員会、広報委員会、法令検討委員会の3つの委員会が常置され、必要に応じて目的別の委員会が設置された。これまでに設置された委員会としては、組織化推進委員会（1996年6月～2002年5月）、主任者部会・21世紀のあり方検討委員会（1996年11月～2000年5月）、放射線管理技術検討委員会（1998年1月～2002年5月）、製薬放射線委員会（1998年6月～2000年5月）などがある。また、評議員会は支部委員会制度発足時に取り入れられたが、1996年5月でその役割を本部運営委員会に移管し、活動を終了した。支部委員は18期（1994年6月～1996年5月）より選挙によって選ばれてきたが、26期（2010年6月～）から、推薦制に変更された。部会員はいずれかの分科会に所属することが求められ、新分科会制度が2000年度より発足し、放射線計測、製薬、選任主任者、立入検査、教育訓練問題検討、RIの飛散率・透過率検討、放射線取扱主任者制度検討分科会、PET施設管理研究会の8分科会が立ち上げられた。その後、RI廃棄物分科会が発足したが、現在では、放射線計測、選任主任者、立入検査、教育訓練問題検討分科会、PET施設管理研究会の5分科会が継続して活動し、年次大会の際に活動報告が行われている。

組織として部会員の確保は重要な事項であるが、図に示したように部会員数は1990年前半をピークに年々減少している。協会会員数は1982年度を境として減少しているが、このことは、医薬品の売り上げなどとの関連が指摘されている（1990年前半の増加は、部会員数の増加を反映したものである）。一方、部会員数は1991年度に600人位一挙に増加している。これは1990年9月から実施された会員の勧誘によるものであり、4、5年後に

は再び減少に転じ、現在ではピーク時の半分近くになっている。部会に入るメリットがない、部会員拡大への努力や工夫が足りないともいわれるが、それだけであろうか。放射線取扱主任者試験は毎年行われ、新しい主任者は年々増加しているにもかかわらずである。(1983 年以

前の部会員数が多い年度で欠けているのは、部会員としての人数が確認できなかったことによる。表 4.10)

以下に、部会が発足したときの部会規定と現在の部会規定を掲げ、その変遷について概観する。



【発足時の放射線取扱主任者部会規定(1959 年 11 月)】

1. 目的

放射線取扱主任者相互の連絡研修を行い、放射線取扱いに関する技術の向上を図り、もって放射線障害の防止に寄与するため、この協会に放射線取扱主任者部会（以下部会という）をおく。

2. 事業

この部会は、前項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1)部会員相互の研究連絡並びに技術向上に関する事項
- (2)放射線障害防止に関する調査研究
- (3)放射線による障害事故対策に関する調査研究
- (4)放射線の安全取扱に関する講演会、研究会などの開催
- (5)放射線取扱者の技術指導に関する事項
- (6)放射線関係法令に関する諸問題の検討
- (7)その他この部会の目的達成に必要な事項

3. 組織

この部会は、この協会の会員であって現に放射線取扱主任者の職にある者およびその資格を有する者をもって組織する。

この部会に次の役員をおく。

部会長 1 名、副部会長 2 名、委員 若干名（内常任委員 若干名）

部会長は、部務を総括する。

副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときはその職務を代理する。

委員は、部務の執行に必要な重要事項を審議する。

常任委員は、部会長、副部会長を補佐し、部会の事務を行う。

役員は、会長が部会員のうちからこれを委嘱する。

役員の任期は、2 年とする。ただし、重任を妨げない。

4. 会議

会議を分けて、部会、委員会および常任委員会とする。

会議はすべて、部会長が招集し、議長には部会長があたる。

部会および委員会は、部会長が必要と認めたとき随時開催する。

常任委員会は原則として毎月 1 回開催する。

5. 付則

協会全般に関連する事項、予算外の負担を伴う事項については、部会長は、常務理事又は理事会の承認を受けなければならない。

部会長は、事業計画、事業実施の状況、実施の結果を随時常務理事に報告しなければならない。

【現在の放射線取扱主任者部会規定(2010年4月)】

1. 設置及び目的

社団法人日本アイソトープ協会（以下「協会」という。）定款第45条の規定に基づき、放射線取扱主任者部会（以下、「部会」という。）を置く。

部会は、放射性同位元素および放射線の安全取扱、管理に関する知識・技術の向上と普及を図り、もって放射線障害の防止と放射線取扱主任者等の地位向上に寄与することを目的とする。

2. 事業

この部会は、前項の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1)放射線取扱主任者等の専門知識・技術の向上に関する事項
- (2)放射線障害の防止に関する情報交換・伝達
- (3)放射線障害の防止に関する調査・研究
- (4)放射線障害の防止に関する技術指導
- (5)放射線障害の防止に関する社会的啓発活動
- (6)部会員の相互協力に関する事項
- (7)放射線関係法令ならびに放射線障害の防止等に関する諸問題の検討
- (8)その他部会の目的達成に必要な事業

3. 部会員

部会は、協会の会員であって現に放射線取扱主任者の職にある者、放射線取扱主任者免状(試験合格証を含む)を有する者または放射線管理業務を行っている者等で、部会に所属を希望する者をもって構成する。この構成員を部会員という。

部会員が法人または団体である場合には、部会に対してその法人または団体を代表する者1名をあらかじめ定めておく。この者を「団体代表」という。

4. 組織

部会の運営を円滑に行うため、本部に本部運営委員会をおくとともに、地域における活動を推進するために地域ごとに支部をおくことができる。

5. 役員

- (1)部会に部会員のうちから次の役員をおく。

部会長	1名
副部会長	2名以内
本部運営委員	若干名

- (2)部会長は、部会を代表し、部務を統括する。
- (3)副部会長は、部会長を補佐し、部会長に支障がある場合、その職務を代行する。
- (4)本部運営委員は、部会長、副部会長を補佐し、部会の運営に必要な事項を審議する。
- (5)部会長は、本部運営委員会の意見を聴き、理事の内から会長が委嘱する。
- (6)副部会長は、部会長の意見を聴き、会長が委嘱する。

- (7)本部運営委員は、支部長、常設委員長、部会長が推薦する委員若干名とし、会長が委嘱する。

- (8)役員の任期は2年とする。再任は妨げない。

6. 部会総会

部会総会は原則として年1回開催する。臨時総会は本部運営委員会が必要と認めたとき、部会の3分1以上の要求があったときに開催する。

部会総会においては、部会の事業計画およびその他重要な事項を審議し、事業実施の状況および事業結果を報告する。

7. 本部運営委員会

- (1)部会の事業を円滑に推進するとともに支部間の連絡調整を行うため本部運営委員会をおく。
- (2)本部運営委員会は、部会長、副部会長、本部運営委員で構成する。
- (3)本部運営委員会は部会長が必要に応じて招集し、議長には部会長があたる。

8. 支部および支部委員会

- (1)支部は統括する地域の部会員を対象に支部活動を行う。
- (2)支部を運営するために支部委員会をおく。
- (3)支部委員の選出方法は別途定める。
- (4)支部長は支部委員の互選による。
- (5)支部委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

9. 委員会

- (1)本部運営委員会に常設の委員会、職種別の委員会、調査のための委員会を設けることができる。
- (2)各委員会には特定の事業の実施に当てるため、専門委員会を設けることができる。

10. 規定の変更

この規定は、本部運営委員会の議を経た後、常任役員会の承認を経て変更することができる。

11. その他

- (1)協会全般に関連する事項、部会運営に関する経費、その他重要事項については、部会長は、常務理事の承認を受ける。
- (2)部会長は、部会総会におけるほか、事業計画、事業実施の状況および実施の結果について、常時部会員に周知方を図る。
- (3)部会長は、事業計画、事業実施の状況および実施の結果を随時常務理事に報告する。
- (4)部会員は、部会総会におけるほか、部会の事業ならびに運営に関する希望または意見を、随時、部会長または本部運営委員会に申し出ることができる。
- (5)部会員に対する、部会の運営ならびに事業に関する連絡は、“Isotope News” またはその他の媒体によって行う。

部会規定は随時改正されており、1962年4月1日付の改正では、組織の項が部会員、組織、役員の3項目に分けられ、現在に至っている。組織の項は、「この部会を運営するために、東京に東京常任委員会、大阪に関西常任委員会を設けることができる。必要に応じ、その他の地区にも常任委員会を設けることができる。」と改正された。運営の機関として各常任委員会に常任委員長をおき、必要に応じ副常任委員長をおくことが定められた。副部会長制は廃止された。その後、1982年11月の改正により、地方委員の規定が加えられたが、支部委員会制度の設立まで、この組織体制は維持された。

その後の規定の大きな改正は、地方支部制度が取り入れられた1992年度である。

目的は、「放射線取扱主任者相互の連絡ならびに研修を行い、放射性同位元素等の安全取扱、管理に関する知識・技術の向上と普及を図り、もって放射線障害の防止と放射線取扱主任者の地位向上に寄与することを目的として、協会に放射線取扱主任者部会(以下「部会」という)をおく。」と改正され、主任者の地位向上への寄与が加えられた。

事業の項では、(1)の部会員相互の研究連絡ならびに技術向上に関する事項が、放射線取扱主任者の専門知識・技術の向上に関する事項と部会員の相互協力に関する事項に分けられ、現行と同じ8項目となった。

- (1)放射線取扱主任者の専門知識・技術の向上に関する事項
- (2)放射線障害の防止に関する情報交換・伝達
- (3)放射線障害の防止に関する調査・研究
- (4)放射線障害の防止に関する技術指導
- (5)放射線障害の防止に関する社会的啓蒙活動
- (6)部会員の相互協力に関する事項
- (7)放射線関係法令ならびに放射線障害の防止等に関する諸問題の検討
- (8)その他本部会の目的達成のために必要な事業

組織の項は、支部制度を反映して「本部会の運営を円滑に行うため、本部運営委員会および評議員会をおくとともに地域ごとに支部をおくことができる。」と

改められたが、1996年度には、評議員会が廃止され、組織の規定は、「部会の運営を円滑に行うため、本部に本部運営委員会をおくとともに、地域における活動を推進するために地域ごとに支部をおくことができる。」と改正され、現在に至っている。

その他、役員は、部会長1名、副部会長1名、運営委員若干名とされ、「部会総会」、「評議員会および評議員」、「本部運営委員会」、「支部および支部委員会」および「委員会」の項が追加された。さらに、1996年度には、評議員会制度の廃止と共に、“放射線取扱主任者”または“主任者免状所有者”に限定されていた部会員の資格が、「部会は、協会の会員であって現に放射線取扱主任者の職にある者、放射線取扱主任者免状(試験合格証を含む)を有する者または放射線管理業務を行っている者等で、部会に所属を希望する者をもって構成する。この構成員を部会員という。部会員が法人または団体である場合には、部会に対してその法人または団体を代表する者1名をあらかじめ定めておく。この者を「団体代表」という。」に改正され、実際に放射線管理を行っている“放射線管理実務者”および“法人・団体”にも資格が拡大され、部会活動の充実とより一層の活性化が図られた。さらに、「規定の変更」の項が新たに追加され、「付則」の項は「その他」の項としてまとめられた。その後、“啓蒙”が“啓発”に、部会の運営や事業に関する連絡媒体として、“Isotope News 誌”のほかに、“その他の媒体”が加えられた程度で、現行規定とほぼ同じ内容となった。

現在、協会の新公益社団法人への移行申請に伴い、これまでの「主任者の主任者による主任者のための共益活動」ではなく、より公益性の高い部会活動を目指して部会規定の見直しが行われている。

(日本アイソトープ協会の公益社団法人への移行(2012年4月1日付)に伴い、放射線取扱主任者の地位向上のみならず、放射線障害の防止と公共の安全・安心の確保に寄与する活動を行うという部会の目的に合わせて、部会名称は「放射線安全取扱部会」に変更された。)

第3章 主任者部会の活動

3.1 主任者部会の活動について

1959年11月26日に放射線取扱主任者部会（主任者部会）が発足してから、50年に及ぶ主たる活動を以下の通り整理して、第4章の資料・年表編に掲載した。

(1) 主任者部会の歴代部会長・委員長等

歴代の部会長・委員長等を、部会組織改正以前と改正以後に分けて表4.1に示した。なお、改正以前については、記録に不完全なところがあるため一部空欄とさせて頂いた。

(2) 主任者部会の活動年表

日本放射性同位元素協会（現日本アイソトープ協会）の設立（1951年）をはじめ、1959年11月の主任者部会設立に至るまでの略歴を含め、50年に及ぶ主たる活動（継続して開催された活動にあっては第1回目の開催年を明記）を表4.2に示した。

なお、この活動年表においては、現主任者部会年次大会（放射線管理研修会）の記録、および部会設立10、25、30、35、40、50周年の記念講演会等、ならびに放射線業務従事者を対象とした教育訓練の記録は、別表にまとめたので割愛してある。

(3) 主任者部会年次大会（放射線管理研修会）の記録

1960年10月11日に学士会館（東京）において第1回部会総会が開催された。その後、毎年開催され、名称変更などを経て、現在まで開催されてきた年次大会の記録を表4.3に示した。

(4) 主任者部会において周年記念として開催された講演会等の記録

主任者部会設立以来、10周年、25周年、30周年、35周年、40周年および50周年を記念して、講演会および特集などを企画した。それらの記録を表4.4に示した。

(5) 教育訓練の記録

放射線業務従事者を対象とした講習会は、放射線障害防止法において教育・訓練が義務化される以前から、日本アイソトープ協会により実施され、その開催に主任者部会員が携わってきた。関西常任委員会が1962年に大阪府職員会館において第1回「放射線従事者講習会」を開催し、122名の参加者を集めた。その後、この講習会は1968年まで継続され、延べ601名の参加者数であった。また、日本アイソトープ協会主催により1978年には放射線管理勉強会が開催された。この勉強会は1981年まで（第4回）毎年開催され、主任者部会員が関わった。この詳細を表4.5に示した。

放射線障害防止法の1980年5月19日付け改正により、放射線業務従事者に対する教育・訓練が義務化された。この法令改正に呼応して、主任者部会では、関西常任委員会（現近畿支部委員会）の1986年における「放射線業務関係者の講習会」を皮きりに、各地方委員会において開催されるに至った。関西常任委員会主催の放射線業務関係者の講習会に関わる呼称は、1989年より「放射線業務従事者のための教育訓練講習会」と改められ、現在に至っている。東京常

任委員会（現関東支部委員会）は1988年より「放射線業務従事者のための教育訓練講習会」の開催を開始し、中部常任委員会（現中部支部委員会）および東北地方委員会（現東北支部委員会）が1989年より開始した。続いて、北海道地方委員会（現北海道支部委員会）および九州地方委員会（現九州支部委員会）が1990年より開始した。1992年の組織改正により、各常任委員会および地方委員会はそれぞれ支部委員会に改組された。その後、1993年に中国・四国支部委員会が開催するに至った。

「放射線業務従事者のための教育訓練講習会」は、各支部委員会の努力により現在も鋭意開催されている。その詳細を表4.6に示した。

(6) 事業所内教育訓練のための講師派遣事業

主任者部会では、標記教育訓練のために講師派遣を1987年より開始し、現在も継続している。2009年度までの実績で、派遣事業所の延べ数は830施設に及んでいる。その詳細を表4.7に示した。

3.2 主任者部会活動における分科会活動について

放射線管理を担当している主任者および管理実務の従事者等が、日常の放射線管理業務において直面している問題点などを提示し、気軽に意見交換できる場を設ける目的で、1991年より分科会活動を開始した。設立当初は、非密封RI施設および医療RI施設、ガスクロマトグラフィ・密封RI施設における諸問題を討議するために、3つの分科会が設立された。その後、主任者研修会（主任者年次大会）において管理実務者の意見交換の場として活用された。

分科会活動は、1994年には草の根ネットワークと名称を変え1999年まで活動後、2000年に新たな分科会として再組織された。2003年まで9つの分科会が設立され活動し、一部の分科会は時代の趨勢と共にその役目を終えた。2009年現在で、教育訓練問題検討分科会、PET施設管理研究会、選任主任者分科会、放射線計測分科会、および立入検査分科会、の5つの分科会が活動を継続している。これらの分科会の活動の一覧を表4.8に示した。

3.3 主任者部会・部会員等が関わった主な発行図書類

主任者部会は設立当初から、部会員および放射線等に興味を持つ日本国民の啓発のために放射線および放射性同位元素に関する解説書および放射線安全管理のためのマニュアル等を編纂し、発行してきた。また、放射線取扱主任者試験問題の解答例を公開してきた。部会活動が活発な時期にはそれぞれの専門部会等で調査研究した成果をIsotope News誌およびRADIOISOTOPES誌に公開すると共に、研究報告書類・調査報告書類を随時発行してきた。また、主任者部会員が関わって編集された放射線安全管理に関わる手引き書なども発行されている。これらの一覧を表4.9に示した。

第4章 資料・年表

表4. 1 放射線取扱主任者部会の歴代部会長・委員長等

4.1.1 部会組織改正以前（1959年12月～1992年5月） [1]

委員会名等	第1期 1959.11～1962.3	第2期 1962.4～1964.3	第3期 1964.4～1966.3	第4期 1966.4～1968.3	第5期 1968.4～1970.3	第6期 1970.4～1972.3	第7期 1972.4～1974.3	第8期 1974.4～1976.3
部会長	筧 弘毅		藤井 正一	一宮 虎雄			藤田 順一	
常任委員会	筧 弘毅							
第1小委員会(法令)	□ ～1960.2							
記帳様式小委員会	□ ～1961.4							
広報小委員会	□ ～1961.4							
広報記帳小委員会	□ 1961.5～							
事故対策小委員会	□							
東京常任委員会		筧 弘毅	藤井 正一	一宮 虎雄			藤田 順一	
法令小委員会			藤井 正一					
企画広報小委員会			伏見 弘					
密封小線源取扱手 引書作成委員会		□ ～1962.10						
放射線防護手引書 作成委員会		□ ～1962.10						
地位小委員会			吉沢 康雄	一宮 虎雄	重松 友道	安河内 浩		
病院関係小委員会						□		
手当小委員会			1965.12～	伊沢 正美	□			
総会小委員会					□	□		
広報小委員会					□	□		
企画小委員会					□	□	藤田 順一	藤田 順一
地位小委員会							村山 弘泰	□
広報小委員会							三宅 敏雄	山県 登
総会小委員会							重松 友道	河野 宗治
編集小委員会 (主任者試験解答例作成)						□		
火災対策小委員会						関根孝		
病院問題小委員会						□		
関西常任委員会	1961.7.14～		東 俊雄					

4.1.1 部会組織改正以前（1959年12月～1992年5月） [2]

委員会名等	第9期 1976.4～1978.3	第10期 1978.4～1980.3	第11期 1980.4～1982.3	第12期 1982.4～1984.3	第13期 1984.4～1986.3	第14期 1986.4～1988.3	第15期 1988.4～1990.3	第16期 1990.6～1992.5
部会長	藤田 順一	大野 明			池田 長生			～1991.11.30 池田 正道
東京常任委員会	藤田 順一	大野 明			池田 長生			小山 雄生
企画小委員会	藤田 順一	伊藤 和男	河村 正一	盛光 亘				
地位小委員会	菱田 豊彦							
広報小委員会								
総会小委員会								
広報小委員会		折井 弘武		池田 勲夫				
法令小委員会		南 賢太郎		久保寺 昭子				
火災対策小委員会				河村 正一				
企画専門委員会					油井 多丸		千坂 治雄	越島 得三郎
広報専門委員会					池田 勲夫		上養 義朋	桜井 喜一
法令専門委員会（第16期より、法令検討専門委員会）					久保寺 昭子	久保寺 昭子	久保寺 昭子	野田 喜美雄
火災対策専門委員会					河村 正一			
総会企画・運営専門委員会								佐藤 幸光 大石 晃嗣
「外部被ばくモニタリング」編集委員会								
主任者試験解答例作成専門委員会（第15～16期：第1種のみ（第2種は、関西常任委員会））					小山田 日吉丸	～	小山田 日吉丸	
コンピュータ利用放射線管理専門委員会					1986.5.1～	橋爪 朗		
装備機器β線評価法専門委員会						1989.5.29 ～1990.3.31	清水雅美	
OHP作成専門委員会							～1990.12.31	北原明治
関西常任委員会	東 俊雄	真室 哲雄						三木 良太
中部常任委員会		中埜 榮三	1980.6.21～1986	11.20	池田長生	1987.4.1～	上西 時司	
東北地方委員会				1982.11.1～				
九州地方委員会				1982.11.1～				
北海道地方委員会								1990.4.1～
基盤整備委員会						1990.11.1～1991.3.31	池田長生	
新体制移行委員会							1991.9～1992.3	小山雄生

注）地方委員会は、委員長の定めなし。

4.1.2 部会組織改正以後（1992年6月～） [1]

委員会名等	第17期 1992.6～1994.5	第18期 1994.6～1996.5	第19期 1996.6～1998.5	第20期 1998.6～2000.5	第21期 2000.6～2002.5	第22期 2002.6～2004.5	第23期 2004.6～2006.5	第24期 2006.6～2008.5										
部会長	池田 正道	栗原 紀夫	西澤 邦秀			大崎 進	片田 元己											
評議員会																		
本部運営委員会	池田 正道	栗原 紀夫	西澤 邦秀			大崎 進	片田 元己											
企画委員会	佐藤 幸光	菊地 透		野村 貴美		片田 元己	斎藤 直											
広報委員会	松沢 隆嗣			右藤 文彦		菊地 透												
法令検討委員会	千坂 治雄	諸澄 邦彦	中田 穰治	大石 晃嗣	高山 卓三	山本 幸佳	宮越 順二											
組織化推進委員会			川上 猛雄	菊地 透														
製薬放射線委員会				川上 猛雄														
主任者部会-21世紀 のあり方検討委員会		1996.11.1～ 菊地 透																
放射線管理技術検 討委員会			1998.1～	西澤 邦秀	西澤 邦秀													
主任者試験解答例 作成委員会																		
主任者年次大会実 行委員会		西澤 邦秀	川上 猛雄	中村 尚司	井原 智	多田 幹郎	大崎 進	大西 俊之	片田 元己	飯田 孝夫	五十棲 泰人							
主任者部会年次大 会実行委員会																		
選挙管理委員会			菊地 透		野村 貴美		野村 貴美		大崎 進		野村 貴美		片田 元己		斎藤 直		松田 尚樹	桑原 幹典
支部委員会																		
北海道支部	大西 俊之		佐藤 文昭		大西 俊之			加茂 直樹			桑原 幹典			関 興一				
東北支部	中村 尚司				秋葉 健一		山本 政彦						馬場 護					
関東支部	小山 雄生		野村 貴美		井原 智		片田 元己			野村 貴美								
中部支部	西澤 邦秀			木内 一壽			飯田 孝夫			安達 興一								
近畿支部	三木 良太		川上 猛雄		古賀 妙子		高淵 雅廣		五十棲 泰人		斎藤 直		川上 猛雄		豊田 亘博			
中国・四国支部	井出 利憲			多田 幹郎		平木 祥夫		井出 博		静間 清				山田 雅夫				
九州支部	高島 良正			法村 俊之		大崎 進		松岡 信明			松田 尚樹							

注）主任者試験解答例作成委員会は，第1種を関東支部，第2種を近畿支部（2007年度は一部分担）／中部支部（1994，1995年度）（2007年度は一部分担）が主に構成。

4.1.2 部会組織改正以後（1992年6月～） [2]

委員会名等	第25期 2008.6～2010.5	第26期 2010.6～2012.5
部会長	齋藤 直	
本部運営委員会	齋藤 直	
企画委員会	宮越 順二	
広報委員会	松田 尚樹	
法令検討委員会	野村 貴美	
主任者試験解答例 作成委員会		
主任者部会年次大 会実行委員会	安達 興一	片田 元己
		川本 卓男
		馬場 護
支部委員会		
北海道支部	関 興一	林 正信
東北支部	佐藤 伊佐務	大槻 勤
関東支部	梶本 和義	
中部支部	河野 孝央	
近畿支部	赤木 清	川本 卓男
中国・四国支部	山田 雅夫	中島 寛
九州支部	福德 康雄	

注1) 主任者試験解答例作成委員会は、第1種を関東支部、第2種を近畿支部(2008年度)／中部支部(2009年度以降両支部で分担)が主に構成。

注2) 2012年4月1日付で日本アイソトープ協会が公益社団法人に移行したことに伴い、「放射線取扱主任者部会」は「放射線安全取扱部会」に名称を変更した。

また、部会細則により、本部付置委員会の名称は、専門委員会に変更となる。

表4. 2 放射線取扱主任者部会の活動年表

年	月	日	部 会 活 動 他
1951	5	1	日本放射性同位元素協会設立
1951	9	17-22	第1回放射性同位元素講習会を東京大学で開催
1952	5		「RADIOISOTOPES」創刊
1952	7	1	「協会ニュース」創刊
1954	5	1	日本放射性同位元素協会を社団法人化
1955	12	19	「原子力基本法」公布
1957	6	10	「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」公布(同日一部施行)
1958	3	23-24	第1回放射線取扱主任者試験実施
1958	4	12	第1回放射線取扱主任者試験合格者発表 合格者145名
1959	11	26	放射線取扱主任者部会発足。 初代部会長に寛弘毅就任。常任委員会設置。
1960	1	29	部会員の意見を基に「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法令に対する改正意見」を取りまとめ、科学技術庁原子力局長へ提出 ・ 概要 協会ニュース(1960.2)
	4	15	「協会ニュース」に主任者コーナー新設
	10	11	第1回放射線取扱主任者部会総会を学士会館(東京)で開催(参加者約350名)
1961	2	15	初めて放射線取扱主任者試験問題解答例を主任者コーナーに掲載
	7	14	関西常任委員会を新設し、関西地区の部会活動を組織化
	9	20	「放射線施設の火災対策」(B5判, 78頁, 250円)を編集・刊行
	10	13	第2回放射線取扱主任者部会総会を大阪府立放射線中央研究所(大阪)で開催(参加者約270名)
1962	4	1	部会規定を改正し、組織を東京常任委員会、関西常任委員会、その他の常任委員会で構成
	6	30	「電離放射線障害防止規則」, 「人事院規則」, 「医療法施行規則」それぞれについて、国際放射線防護委員会1958年勧告に基づき規定を統一されるよう「改正要望書」を労働省労働基準局長、人事院職員局長、厚生省医務局長へそれぞれ提出 ・ 概要 協会ニュース(1962.7)
	8	10	第1回関西主任者懇話会を以和貴荘(大阪)で開催(参加者44名)
	10	12-13	初めて「放射線従事者講習会」を大阪府職員会館(大阪)で開催(共催：関西原子力懇談会、大阪府立放射線中央研究所)(受講者122名)
	11	9	第3回主任者部会総会を私学会館(東京)で開催(参加者約250名) 「放射線とアイソトープ」(B6判, 86頁, 120円)を編集・刊行 「密封小線源の取扱」(A5判, 46頁, 150円)を編集・刊行
1963	4	27	「電離放射線障害防止規則(改正案)に対する要望書」を放射線審議会へ提出。放射線障害防止に関する諸法規をまとめて、総合的な見地から実情に即し、統一された思想の下に、簡素な規制の方法を樹立されるよう要望 ・ 概要 協会ニュース(1963.5)
	6	6	第2回関西主任者懇話会を以和貴荘(大阪)で開催(参加者45名) ・ 電離放射線障害防止規則(改正案)に関すること 山中和(科学技術庁) 他1件
	11	5	第4回主任者部会総会を私学会館(東京)で開催(参加者約250名)
	11	30	第3回関西主任者懇話会を以和貴荘(大阪)で開催(参加者30名) ・ 消防の立場より見たRI施設の問題点 守屋忠雄(自治省消防研究所) 他1件
1964	4	1	第2代部会長に藤井正一就任
	6	5	第4回関西主任者懇話会を以和貴荘(大阪)で開催(参加者30名) ・ 放射線管理の問題 吉澤康雄(東京大学医学部) ほか
	10		「個人外部被曝モニタリングの手びき」(A4判, 89頁, 235円)を編集・刊行
	11	20	第5回主任者部会総会を東医健保会館(東京)で開催(参加者約290名)
1965	5	24	「エックス線作業主任者規程に関する要望書」を労働省労働基準局長へ提出。エックス線作業主任者の資格を第2種放射線取扱主任者試験合格者にも適用されるよう要望 ・ 概要 協会ニュース(1965.6)
	5	29	第5回関西主任者懇話会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者37名) ・ 法令改正について 中沢幸一(科学技術庁) ほか
	7	31	「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律施行規則等についての要望書」を科学技術庁原子力局長へ提出。「施設の基準、使用許可、濃度と群別、健康診断等」の規制条文の改善を要望 ・ 概要 協会ニュース(1965.8)
	10	18	第6回主任者部会総会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者約180名)

年	月	日	部 会 活 動 他
1966	2	14	診療エックス線技師法の一部改正に関する部会の意見(主任者免状を所有するエックス線技師には放射線技師資格取得の際に優遇措置が講ぜられるよう)科学技術庁へ要望 ・ 概要 協会ニュース(1966.3)
	4	1	第3代部会長に一宮虎雄就任
	7	8	第6回関西主任者懇話会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者35名) 「RIの入手および廃棄物の集荷と利用」 ・ 放射線取扱主任者部会の関西における行事について 東俊雄(大阪府立放射線中央研究所) 他3件
	11	9	第7回主任者部会総会を東医健保会館(東京)で開催(参加者約200名)
1967	6	2	第7回関西主任者懇話会を以和貴荘(大阪)で開催(参加者40名) 「放射線管理の組織と機構」
	10	28	第8回関西主任者懇話会を大阪化学繊維会館(大阪)で開催(参加者27名) 「外国の放射線管理の組織と機構」 ・ 米国の状況 中井洋太(日本原子力研究所) 他1件
	11	13	第8回主任者部会総会を東医健保会館(東京)で開催(参加者約230名) ; 初めて懇親会併設
1968	6	25	第9回関西主任者懇話会を大阪化学繊維会館(大阪)で開催(参加者55名) 「放射線障害の評価および放射線作業の危険度」 ・ 放射線被曝と血液検査 浅井卓夫(大阪府立放射線中央研究所) 他2件
	10	8	「放射線取扱主任者免状を有する診療エックス線技師の診療放射線技師免許取得の際の特例についての要望書」を厚生省へ提出 ・ 概要 協会ニュース(1968.11)
	11	12	第9回主任者部会総会を薬業健保会館(東京)で開催(参加者約230名)
1969	1	1	「協会ニュース」を「Isotope News」に改題
1969	9	24	第1回東北主任者懇談会を東北大学金属材料研究所(仙台)で開催(参加者約20名)
	10	30	第10回主任者部会総会を薬業健保会館(東京)で開催(参加者約200名)
1970	7	14	第11回主任者部会総会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者175名)
	12	3	第1回関西主任者研究会を大阪化学繊維会館(大阪)で開催(参加者85名) 「線量測定」 ・ 個人被曝線量の測定 桂山幸典(京都大学原子炉実験所) 他4件
1971	7	6	第12回主任者部会総会を薬業健保会館(東京)で開催(参加者約300名)
1971	8	1	「日本放射性同位元素協会」から「日本アイソトープ協会」に名称変更
1972	4	1	第4代部会長に藤田順一就任
	7	5	第13回主任者部会総会を薬業健保会館(東京)で開催(参加者約250名)
1973	2	1	第2回関西主任者研究会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者187名) 「使用許可申請の場合の実務計算要領」 ・ 空間線量率計算, ・ 排水計算, ・ 排気計算などに関する実務要領
	7	11	第14回主任者部会総会を全電通労働会館(東京)で開催(参加者約400名)
1974	2	13	第3回関西主任者研究会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者110名) パネル討論 ・ 主任者の立場より見た公共の安全に関する問題点 ・ 主任者の問題点のリストアップ
	7	15	第15回主任者部会総会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者約350名)
1975	7	16	第1回放射線安全管理講習会が農協会館(東京)にて開催される(科学技術庁と放射線障害防止中央協議会の共催)
1975	7	17	第16回主任者部会総会を野口英世記念会館(東京)で開催(参加者約200名)
1976	2	2	第4回関西主任者研究会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者101名) 「主任者の役に立つ測定法と測定限界」 ・ 排気, 排水中のRI濃度の測定 三木良太(近畿大学原子力研究所) 他3件
	7	14	第17回主任者部会総会を野口英世記念会館(東京)で開催(参加者約300名)
1977	7	13	第18回主任者部会総会を野口英世記念会館(東京)で開催(参加者317名)
1978	1	25	第5回関西主任者研究会を日本化学繊維クラブ(大阪)で開催(参加者40名) 「最近の法令改正」 ・ 主任者トピックス, RI運搬規則 林伸宣(武田薬品工業(株)) 他2件
	3	23	第1回放射線管理勉強会をアイソトープ協会(東京)で開催(参加者48名) 「空間線量の測定」 ・ 講演 南賢太郎(日本原子力研究所)

年 月 日			部 会 活 動 他
1978	3	23	・実習 3件 ほか
	4	1	第5代部会長に大野明就任
	7	1	東京常任委員会地位小委員会が取りまとめた「放射線取扱主任者の職務－主任者は何をなすべきか－」をIsotope Newsに掲載
	7	17	第19回主任者部会総会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者約200名)
1979	2	21	第6回関西主任者研究会を日本化学繊維クラブ(大阪)で開催(参加者約40名) 「食品照射と放射線感受性について」 ・食品照射 堀士郎(大阪府立放射線中央研究所) 他2件
	2		科学技術庁原子力安全局放射線安全課の要請を受け、放射線障害防止法第22条に規定する教育訓練の具体的な実施基準の作成を行い、同課へ提出(「教育・訓練の基準」) ・概要 Isotope News(1979.4, 8)
	3	15	第2回放射線管理勉強会をアイソトープ協会(東京)で開催 「皮膚の汚染と除去」 ・皮膚の汚染と除去 和達嘉樹, 安中秀雄(日本原子力研究所)
	11	15	第20回主任者部会総会を野口英世記念会館(東京)で開催(参加者354名)
	12	8	第3回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(参加者45名)
1980	2	21	第7回関西主任者研究会を京都大学原子炉実験所(大阪)で開催(参加者41名) 「TLDによる測定の研究」 ・TLDによる放射線測定 佐藤孝司(京都大学原子炉実験所) 他2件
	3	19	第3回放射線管理勉強会をアイソトープ協会(東京)で開催(参加者50名) 「個人外部被曝線量の評価」 ・講演 三宅敏雄((株)東芝) ほか
	6	21	中部地区の活動を組織化するため中部常任委員会を新設
	6	21	中部支部部会活動発足の会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(参加者45名)
	6	21	第1回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催：中部原子力懇談会)(参加者220名) ・放射線障害防止法の改正について 松本邦宏(科学技術庁)
	7	5	第2回中部放射線研究会を名古屋大学アイソトープ総合センター(名古屋)で開催(共催：中部地区保健物理連絡会, 名古屋大学アイソトープ総合センター)(参加者53名) ・講演 有機廃液をめぐる諸問題 中埜栄三(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・見学施設 名古屋大学アイソトープ総合センター とくに有機廃液処理装置
	11	17	第21回主任者部会総会を野口英世記念会館(東京)で開催(参加者約460名)
	12	8	第3回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催：中部原子力懇談会) ・東海地震－その防災について 安井俊夫(愛知県庁) 他1件
	2	18	第4回中部放射線研究会を名古屋工業試験所(名古屋)で開催 ・熱蛍光線量計による個人被曝管理の実際 松田秀晴(名古屋工業試験所) 他1件 ・見学施設 名古屋工業試験所放射線施設
	3	16	第4回放射線管理勉強会をアイソトープ協会(東京)で開催(参加者46名) 「環境モニタリング機器の取扱い方」 ・講演 丸山隆司(放射線医学総合研究所), 南賢太郎(日本原子力研究所)
1981	6	5	第8回関西主任者研究会を大阪大学産業科学研究所(大阪)で開催(参加者30名) ・講演 最近の放射線発生源の動向とその管理 川西政治(大阪大学産業科学研究所) ・見学施設 大阪大学産業科学研究所附属放射線実験所のパルス放射線発生装置 ほか
	10	6	第9回関西主任者研究会をアイソトープ協会甲賀研究所(滋賀)で開催(参加者30名) ・甲賀研究所 ⁶⁰ Co照射施設の安全装置と放射線管理について 立石恒夫(日本アイソトープ協会) ほか ・見学施設 日本アイソトープ協会甲賀研究所
	11	19	第22回主任者部会総会を明治生命名古屋ビルホール(名古屋)で開催(参加者約370名)
	1	14	第10回関西主任者研究会を大阪化学繊維会館(大阪)で開催(参加者約140名) 「予防規定と施設の検査」 ・主任者部会における放射線障害予防規定の検討について 五十嵐健治(日本アイソトープ協会) 他2件
	1	22	第1回東京主任者研究会をアイソトープ協会(東京)で開催(参加者約80名) 「予防規定と施設の検査」 ・施設の検査(放射線安全技術センター)について 久保寺昭子(東京理科大学薬学部) 他2件
1982	2	1-5	日本アイソトープ協会主催による第1回「第1種放射線取扱主任者講習」を同協会(東京)で開催(受講者32名)

年 月 日			部 会 活 動 他
1982	6	25	第11回関西主任者研究会をキリンビール(株)京都工場(京都)で開催(参加者72名) ・ ECDガスクロマトグラフィ装置を利用した分析の現状と問題点 浜田昌之(大阪府立放射線中央研究所) ・ 見学施設 キリンビール(株)京都工場
	9	16	第5回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催:中部原子力懇談会)(参加者約160名) 「記帳・記録」 ・ 放射線管理における記帳・記録の考え方 久保寺昭子(東京理科大学薬学部) 他1件
	10	4	第12回関西主任者研究会を非破壊検査ビル(大阪)で開催(参加者44名) 「非破壊検査事業所における教育・訓練について」
	11	1	地域活動を一層充実させるため地方委員制度を新たに設け、仙台、福岡にそれぞれ東北、九州地方委員会を置く
	11	16	第23回主任者部会総会を野口英世記念会館(東京)で開催(参加者390名)
1983	1	21	第13回関西主任者研究会を大阪府立労働センター(大阪)で開催(参加者約100名) 「放射線のリスク評価とその問題点」 ・ 放射線はどこまで危険かーリスク評価の現状と問題点 菅原努(国立京都病院) 他2件
	1	25	第2回東京主任者研究会をアイソトープ協会(東京)で開催(参加者約50名) 「ICRP新勧告の法令への取入れー現場の立場から」 ・ ICRP新勧告(Pub. 26)について 伊沢正実(放射線医学総合研究所) 他1件
	2	25	第1回関東主任者研修会をアルカディア市ヶ谷(東京)で開催 ・ RI施設の点検と報告ー法令の改正に対応してー 高田茂(東京都立アイソトープ総合研究所) 他3件
	3	1	「国際放射線防護委員会(ICRP)1977年勧告の放射線障害防止関係法令への取入れについて」部会の検討結果を科学技術庁放射線安全課、労働省労働衛生課へ提出 ・ 概要 Isotope News(1983.4)
	5	17	第6回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催:中部原子力懇談会)(参加者約110名) 「RIの管理と施設の管理」 ・ 放射線取扱施設の維持と管理 柿原幸二(東京ニュークリア・サービス(株)) 他1件
	10	20	第7回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催:中部原子力懇談会)(参加者約60名) ・ ウランの現状と実態 塚本由三(動力炉・核燃料開発事業団) ・ 最近の放射線測定の諸問題 森内和之(岐阜医療技術短期大学)
	10	21	第14回関西主任者研究会を大阪府立文化情報センター(大阪)で開催(参加者約100名) ・ 放射線と日本人 菅原努(国立京都病院) ・ 広島と長崎の線量再評価をめぐって 池永満生(京都大学放射線生物研究センター)
	11	21	第24回主任者部会総会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者約300名)
1984	3	7	第3回東京主任者研究会をアイソトープ協会で開催(参加者約60名) ・ “安全”の考え方について 田島英三(原子力安全委員)
	4	1	第6代部会長に池田長生就任
	6	1	第15回関西主任者研究会を近畿大学(大阪)で開催(共催:近畿大学原子力研究所)(参加者65名) 「非密封RI使用施設のあり方ー設計, 施工, 保守管理の諸問題ー」 ・ 設計, 施行について 細田敏和(千代田保安用品(株)) 他3件 ・ 見学施設 近畿大学原子力研究所 トレーサー・加速器棟
	6	6	第8回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催:中部原子力懇談会)(参加者約60名) 「医療におけるRI利用とその管理」 ・ ^{131}I 投与患者の排泄物に含まれる放射能 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) 他1件
	6	23	第1回東北地区放射線安全管理研究会を東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター(仙台)で開催(参加者約50名) 「RI管理等の諸問題について」 ・ RI管理における主任者の立場 池田長生(筑波大学, 主任者部会長) ほか
	9	10	「放射線管理実務マニュアル I」を刊行
	11	1	「RI施設の休日等火災時における部会員協力体制の検討結果ー火災対策専門委員会の報告ー」をIsotope Newsに掲載。(残念ながら現状では実施困難につき協力体制を断念)
	11	21	第25回主任者部会総会を野口英世記念会館(東京)で開催(参加者371名)

年 月 日			部 会 活 動 他
1984	12	1	第16回関西主任者研究会を神戸女子薬科大学(神戸)で開催(共催：日本保健物理学会)(参加者169名) 「管理区域立入者に対する教育のあり方―放射線の人体に与える影響」をどう教えるか― ・最近における「放射線の人体に与える影響」の考え方について 武田篤彦(大阪府立放射線中央研究所) 他3件
1985	3	1	Isotope News で「放射線取扱主任者部会設立25周年記念特集」を掲載
	3	16	第17回関西主任者研究会を大阪大学ラジオアイソトープ総合センター(大阪)で開催(参加者90名) 「放射性有機廃液の焼却処理―その現状と問題点―」 ・放射性有機廃液の分類と処理について 栗原紀夫(京都大学放射性同位元素総合センター) 他1件 ・見学施設 大阪大学ラジオアイソトープ総合センター吹田本館
	3	22	第4回東京主任者研究会をアイソトープ協会(東京)で開催 「放射線管理勉強会―記帳・記録の実務―」 ・使用関係の記録 久保寺昭子(東京理科大学薬学部) 他1件
	5	25	アイソトープ利用講演会とVTR上映を北海道大学アイソトープ総合センター(札幌)で開催(共催：農学・生物学部会, 医学・薬学部会) ・組換えDNA実験技術を利用した遺伝子発現制御の研究 岩淵雅樹(北海道大学理学部) 他2件 ・VTR「目で見る法律 放射線障害を防止するために」上映
	6	13	第9回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催：中部原子力懇談会) 「RI取扱施設に関する諸問題」 ・鉄筋コンクリートRI施設について―故障のない建物を造るには― 桜井仙三郎((株)大林組) 他1件
	7	12	第18回関西主任者研究会をシャープ(株)総合開発センター(奈良)で開催 ・放射線の人体への影響―教育用テキストの紹介と解説 辻本忠(京都大学原子炉実験所) ・見学施設 シャープ(株)歴史ホール, 技術ホールなど
	10	7	第10回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催：中部原子力懇談会) ・放射線位置検出器とその応用 森千鶴夫(名古屋大学工学部) 他1件
	10	25	第19回関西主任者研究会を大阪電信電話会館(大阪)で開催 「非密封RI事業所における環境モニタリングの諸問題―いろいろな施設の経験から―」 ・大学における経験 山崎敬三(京都大学原子炉実験所) 他2件
	11	1	Isotope News 主任者コーナーにFIELD REPORT I の連載開始(各事業所で行われている「教育訓練」を13回にわたって紹介)
	11	20	「放射線施設の火災・地震対策」を刊行
	11	21	第26回主任者部会総会(主任者研修会)を日本学会会館(東京)で開催(参加者407名)
1986	1	10	第20回関西主任者研究会を京都大学医学部附属病院(京都)で開催 「京大病院におけるPET, MR-CTについて」 ・PET, MR-CTによる画像診断について 鳥塚莞爾(京都大学医学部) 他1件
	3	19	第5回東京主任者研究会をアイソトープ協会(東京)で開催 ・放射線施設の火災・地震対策 池田正道(東京都立アイソトープ総合研究所) 他1件 ・ビデオ「火災・地震と放射線施設」上映
	4	19	第21回関西主任者研究会を大阪大学ラジオアイソトープ総合センター(大阪)で開催(共催：大阪大学ラジオアイソトープ総合センター) 「放射線施設の火災・地震対策」 ・火災と地震 岡本吉晃(大阪市消防局) 他1件 ・ビデオ「火災・地震と放射線施設」上映
	5	23	第11回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催：中部原子力懇談会) ・地震と建築 多賀直恒(名古屋大学工学部) 他1件 ・ビデオ「火災・地震と放射線施設」上映
	6	18	第22回関西主任者研究会を近畿大学(大阪)で開催(共催：近畿大学原子力研究所) 「環境放射能汚染と主任者の立場―最近のトピックスから―」 ・ソ連原発事故の経緯 三木良太(近畿大学原子力研究所) 他3件
	9	20-21	第23回関西主任者研究会(放射線管理実務者のための秋期研修会)を国民宿舎摩耶ロッジ(神戸)で開催(参加者38名) ・講演 環境放射能のはなし―ラドンとその娘諸核種による内部被曝に関することを中心に― 阪上正信(金沢大学理学部) ・座談会「放射線管理における主任者の責任と悩み」

年	月	日	部 会 活 動 他
1986	11	20	第27回主任者部会総会(主任者研修会)を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(参加者約300名)
	12	13	関西常任委員会は放射線業務従事者のための教育訓練講習を再開し「第1回放射線業務関係者のための講習会」を大阪化学繊維会館(大阪)で開催(受講者47名)
	12	20	「外部被ばくモニタリング」を刊行
1987	2	23	ICRP 1977年勧告の国内法令への取入れについて、「ICRP勧告の放射線障害防止法令への取入れに関する検討結果報告(要望)」を科学技術庁放射線安全課へ提出 ・ 概要 Isotope News(1987.6)
	3	17	第24回関西主任者研究会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者62名) 「ICRPの法令取入れと実効線量当量の測定・評価法」 ・ 外部被ばくモニタリングの意義 真室哲雄(日本アイソトープ協会) 他2件
	4	1	Isotope News 主任者コーナーにFIELD REPORT II を連載開始(各事業所で行われている「記帳・記録」の仕方を6回にわたって紹介)
	5	8	第6回東京主任者研究会をアイソトープ協会(東京)で開催(参加者30名) 「第1回パソコンによる放射線管理の講演と実習」 ・ パソコンによる放射線管理の動向 橋爪朗(理化学研究所) 他3件
	5	22	第12回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催：中部原子力懇談会)(参加者80名) ・ RI装備機器の管理の悩み 山野豊次((株)リガク) 他1件
	7	1	東京常任委員会コンピュータ利用放射線管理専門委員会が、「放射線管理へのパソコン利用状況アンケート調査のまとめ」を Isotope News に掲載
	7	7	第7回東京主任者研究会をアイソトープ協会(東京)で開催(参加者80名) 勉強会「外部被ばく線量の測定と評価—法改正に伴う実効線量当量について—」 ・ 法改正に伴う外部被ばくモニタリング 浜田達二(日本アイソトープ協会) 他2件
	9	12-13	第25回関西主任者研究会('87ムーンライトセミナー イン 摩耶)を国民宿舎摩耶ロッジ(神戸)で開催(参加者40名) ・ 特別講演 放射線生物学における最近の話題 近藤宗平(近畿大学原子力研究所) ・ ボイリングディスカッション ・ モーニングレクチャー「教育訓練の実態」
	9	29	第8回東京主任者研究会を科学技術庁研究交流センター(つくば)と高エネルギー物理学研究所で開催(共催：筑波放射線安全交流会)(参加者80名) 「放射線安全管理講演・見学会」 ・ 講演 主任者の役割と放射線管理のあり方 大野明(日本発条(株)) 他1件 ・ 見学施設 高エネルギー物理学研究所トリスタン ほか
	9		事業所内教育訓練受託業務を開始
	11	5-6	第9回東京主任者研究会をアイソトープ協会(東京)で開催(参加者30名) 「第2回パソコンによる放射線管理講習—初学者を対象に取扱いの基礎と実習—」 ・ パソコン取扱いの基本とMS-DOS 天道芳彦(理化学研究所) 他4件
	11	18-19	第28回主任者研修会(部会総会)を日本大学会館(東京)で開催(参加者408名)(部会員の一般発表も組入れ、今回から会期2日間となる)
1988	2	1	第26回関西主任者研究会を松下電器産業(株)中央研究所(大阪)で開催(参加者75名) ・ 熱ルミネセンス線量計の現状とその応用 安野信剛(松下電器産業(株)) ・ 見学施設 松下電器技術館
	5	24	東京地区で初めて「放射線業務従事者のための講習会—新人教育」をアイソトープ協会(東京)で開催(受講者63名)
	5	27	第13回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催：中部原子力懇談会)(参加者93名) 「法令改正に伴う勉強会」 ・ 法令改正に伴う線量評価 石黒秀治(動力炉・核燃料開発事業団) ・ 座談会「法令改正に関する諸問題」
	7	2-3	第27回関西主任者研究会(潮騒セミナー イン 須磨)を国民宿舎須磨荘(神戸)で開催(参加者43名) ・ 講演 ヒロシマ・ナガサキの被曝線量の再評価とその意味 浜田達二(日本アイソトープ協会) ・ ボイリングディスカッション「放射線管理の現場での悩み」 ・ モーニングレクチャー「法令改正への対応について」
	7	8	第10回東京主任者研究会を日本教育会館(東京)で開催(参加者440名) 「法令改正に伴う勉強会」(東京地区) ・ 放射線管理実務への取り入れについて 外部被ばく線量評価法 丸山隆司(放射線医学総合研究所) 他2件

年	月	日	部 会 活 動 他
1988	7	14	「法令改正に伴う勉強会」(東北地区)を宮城県労働福祉会館(仙台)で開催(参加者84名) ・放射線管理実務への取り入れについて 測定評価法の実際 南賢太郎(日本原子力研究所) 他2件
	7	21	「法令改正に伴う勉強会」(九州地区)を福岡リーセントホテル(福岡)で開催(156名参加) ・法令の改正点について 科学技術庁担当官 他2件
	9	29	第11回東京主任者研究会を科学技術庁研究交流センター(つくば)で開催(共催:筑波放射線安全交流会)(参加者108名) 「法令改正に伴う勉強会」(筑波地区) ・将来の放射線管理はどうあるべきか 加藤和明(高エネルギー物理学研究所) 他2件
10	5		第28回関西主任者研究会を大阪YMCA会館(大阪)で開催(参加者151名) 「法令改正に伴う勉強会」 ・放射線管理実務への取り入れについて 内部被ばく線量測定への対応 須賀新一(日本原子力研究所) 他2件
11	14-15		第29回主任者研修会(部会総会)を日本大学会館(東京)で開催(参加者478名)
12	20		第12回東京主任者研究会をセブンシティ(東京)で開催(参加者171名) 「法令改正に伴う通達の勉強会」:“排気・排水,測定,被ばく線量当量など”の問題点 ・挨拶・回答 井上義夫(科学技術庁) ・事例研究・I 大規模事業所における問題点とその取組み 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) 他2件
1989	1	27	第13回東京主任者研究会を科学技術庁研究交流センター(つくば)で開催(共催:筑波放射線安全交流会)(参加者111名) 「改正法令対応の実務の勉強会」 ・挨拶・回答 井上義夫(科学技術庁) ・予防規定の改正 田中喜之(農業環境技術研究所) 他3件
	2	25	「パソコンによる放射線管理講習会」を名古屋インフォメーションスクール(名古屋)で開催(共催:中部原子力懇談会)(参加者26名) ・パソコンによるアイソトープ管理の考え方 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) 他3件
	3	10	第29回関西主任者研究会を大阪府立産業技術総合研究所(大阪)で開催(参加者136名) 「改正法令施行を控えての対応」-問題点とその取組み ・密封RI事業所の対応 刈谷征洋(非破壊検査サービス(株)) 他3件
	4	6-7	「パソコンによる放射線管理講習会」を日本原子力研究所RI・原子炉研修所(東京)で開催(参加者27名) ・入室・退出管理 高田茂(東京都立アイソトープ総合研究所) 他5件
	5	12	中部地区で初めて「放射線業務従事者のための教育・訓練講習会」を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催:中部原子力懇談会)(受講者113名)
	6	16	第14回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催:中部原子力懇談会)(参加者45名) ・中性子ラジオグラフィの現状と将来 谷口良一(大阪府立放射線中央研究所) 他1件
	9	9-10	第30回関西主任者研究会('89ムーンライトセミナー イン 箕面)をみのお山荘(大阪)で開催(参加者35名) 「放射線管理実務者のための研修会」 ・講演 アイソトープ利用のよもやま話 葛西善三郎(近畿大学農学部) ・ボイリングディスカッション 改正「法令と現場の声」 ・モーニングレクチャー「法令改正のよもやま話」 近藤民夫(日本メジフィジックス(株))
10	27		第1回東北主任者研究会を勾当台会館(仙台)で開催(参加者52名) 「新法令への主任者の対応」 ・新法令への対応 山本政彦(東北大学医学部) 他2件
11	14-15		第30回主任者研修会(部会総会)を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者388名)
11	30		第1回九州主任者研究会を福岡リーセントホテル(福岡)で開催(参加者98名) 「新法令への主任者の対応」 ・低レベル被曝による人体への影響 奥村寛(長崎大学) 他2件
12	6-7		パソコン利用放射線管理ワークショップをアイソトープ協会(東京)で開催(参加者32名) ・自作(改良)プログラムの紹介,・プログラムの使用経験,・メーカーのプログラムの実演など
12	11		第14回東京主任者研究会をアルカディア市ヶ谷(東京)で開催(参加者129名) 「新法令に対応した測定技術の勉強会」

年	月	日	部 会 活 動 他
1989	12	11	・既存のサーバイメータによる線量評価 照射線量から線量当量への換算 唐司定吉(日本アイソトープ協会) 他2件
1990	4	1	北海道地域に北海道地方委員会を置く
	5	23	第15回東京主任者研究会を科学技術庁研究交流センター(つくば)で開催(共催:筑波放射線安全交流会, 日本保健物理学会)(参加者102名) 「筑波放射線安全交流会講演会」 ・リスク科学入門「リスク論概論」 松原純子(東京大学医学部) 他3件
	5	25	第15回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催:中部原子力懇談会)(参加者70名) ・地球をとりまく自然放射線 湊進(名古屋工業試験所) 他1件
	6	29	第31回関西主任者研究会を日新ハイボルテージ(株)(京都)で開催(参加者27名) ・講演 電子線加速器の現状と放射線管理 水澤健一(日新ハイボルテージ(株)) ・見学施設 日新ハイボルテージ(株)本社工場
	7	1	Isotope News 主任者コーナーに「創立30周年特集」を掲載
	7	9	第16回東京主任者研究会をアルカディア市ヶ谷(東京)で開催(参加者240名) 「放射線施設の火災・地震と緊急時への対応ー関係官庁からの問題点を中心にして」 ・RI事業所等の事故防止と緊急時対応 寺内勇(科学技術庁) 他5件
	9	8-9	第16回中部放射線研究会(リバーサイドセミナー)を関観光ホテル(岐阜)で開催(参加者33名) 「放射線をどう教えたらよいか」 ・高校教育の中の放射線 岩崎みどり(奥羽大学歯学部) 他5件
	9	8-9	第32回関西主任者研修会('90ムーンライトセミナー イン 摩耶)を摩耶ロッジ(神戸)で開催(参加者36名) ・特別講演 放射線・放射能の研究とノーベル賞 清水榮(京都大学名誉教授) ・ボイリングディスカッション ・モーニングレクチャー 「ICRP 1990年勧告のドラフトについて」 辻本忠(京都大学原子炉実験所)
	9	21	第1回北海道主任者研究会(見学会)を開催(参加者50名) 「見学会」 見学施設 北海道電力(株)泊原子力発電所, ニッカウキスキー(株)北海道工場
	10	5	第2回九州主任者研究会を九州エネルギー館(福岡)で開催(参加者110名) 「放射線管理の現状」 ・課題発表 放射線管理の現状ー特徴と課題 加留部善晴(福岡大学) 他7件 ・講演 放射線安全管理の現状ー行政の立場から 樋口俊範(科学技術庁) 他1件
	10	22	第2回東北主任者研究会を勾当台会館(仙台)で開催(共催:東北放射線科学センター)(参加者64名) ・ICRP 1990年勧告への動きについて 古賀佑彦(藤田学園保健衛生大学) 他3件
	11	1	部会に課せられた役割を的確に果たすべく, 活動方針を再検討し組織・運営機構の抜本的整備を図る目的から「基盤整備委員会」(委員長 池田長生部会長)を設置
	11	21-22	第31回主任者研修会(部会総会)を日本大学会館(東京)で開催(参加者575名)
1991	1	30	第17回東京主任者研究会をアルカディア市ヶ谷(東京)で開催(参加者94名) 勉強会「現場に即した教育訓練について考える」 ・大学における教育訓練 野村貴美(東京大学工学部) 他4件
	3	1	中部主任者研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催:中部原子力懇談会, 日本保健物理学会)(参加者120名) シンポジウム ICRP 1990年勧告と放射線管理上の対応(Part 2)
	3	11	第33回関西主任者研究会を大阪YMCA会館(大阪)で開催(参加者120名) ・自主点検および報告徴収に関する法令改正についてーその背景と概要 野村貴美(東京大学工学部) 他1件
	4	4-5	「パソコンによる放射線管理講習会(基礎と実践)」を日本原子力研究所RI・原子炉研修所(東京)で開催(参加者28名) ・放射線管理とパーソナルコンピュータの利用 森川尚威(元東京大学アイソトープ総合センター) ・ポケコンによる放射線測定とRI帳簿管理 小野勇, 荒井信雄(神奈川県工業試験所) 他6件
	6	20	第17回中部放射線研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催:中部原子力懇談会)(参加者65名) ・新しく導入されたガンマナイフによる脳疾患治療 木田義久(小牧市民病院) 他1件
	6	28	第18回東京主任者研究会をアルカディア市ヶ谷(東京)で開催(参加者183名) 勉強会「放射線管理の見直し」 ・今回の法令改正について 吉田哲彦(科学技術庁)

年	月	日	部 会 活 動 他
1991	6	28	・ 非密封線源の管理 瀧上誠(東京慈恵会医科大学) 他5件
	7	5	第3回九州主任者研究会を福岡リーセントホテル(福岡)で開催(参加者68名) 勉強会「放射線管理の見直し」 ・ 非密封線源の管理 吉村厚(九州大学) 他5件
	7	11	中部主任者研究会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(参加者82名) 勉強会「放射線管理の見直し」 ・ 病院における密封線源管理 国立忠敬(愛知県がんセンター) 他5件
	7	16	第2回北海道主任者研究会をきょうさいサロン(札幌)で開催(参加者70名) 勉強会「放射線管理の見直し」 ・ 工場における密封線源の管理 横手義幸((株)日本製鋼所室蘭製作所) 他5件
	7	18	第3回東北主任者研究会を勾当台会館(仙台)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者91名) 勉強会「放射線管理の見直し」 ・ 非破壊検査会社における密封線源管理 鈴木力雄(日本工業検査(株)) 他5件
	8	1	部会活動の根本的見直し、組織運営機構の整備を検討していた「基盤整備委員会」が、検討結果をとりまとめた「放射線取扱主任者部会基盤整備委員会報告書」を発表。基盤整備案は、9月17日付でアイソトープ協会にて承認 報告書は、第32回主任者研修会(部会総会)要旨集別冊に収載(1991) 概要 Isotope News(1991.11)
	8	30-31	第18回中部放射線研究会(レークサイドセミナー)を国民宿舎かんざんじ荘(浜松)で開催(参加者19名) 「現場における放射線教育」 ・ 看護婦の実習教育 羽場孝子(桑名市民病院) 他3件 「討論」 現場からの生の声 “法規制はこれでいいのか” 「パネルディスカッション」 法令改正に向けて望みたいこと
	9	1	「放射線取扱主任者部会基盤整備委員会報告書」で提案された新体制に移行するうえで必要な検討を行うため、「新体制移行委員会」(委員長 小山雄生東京常任委員長)を設置
	9	28-29	第34回関西主任者研究会('91ムーンライトセミナー イン 箕面)をみのお山荘(大阪)で開催(参加者33名) ・ 講演 チェルノブイリ事故から5年、その健康影響 武田篤彦((財)体質研究会) ・ ボイリングディスカッション「主任者部会の新体制」 ・ モーニングレクチャー「ICRP 90年勧告の背景と意義」 古賀佑彦(藤田保健衛生大学)
	10	3	九州主任者研究会を福岡リーセントホテル(福岡)で開催(参加者37名) 「小規模事業所におけるコンピュータ利用放射線管理」講習会 ・ 小規模事業所におけるコンピュータ利用放射線管理のやり方 高辻俊宏(長崎大学) 他2件
	10	18-19	東北主任者研究会(バーデンゼミナール)をアイソトープ協会茅記念滝沢研究所、八幡平ハイツ(岩手)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者62名) ・ 低線量全身照射によるがん治療—極めて低い線量の照射によるがん治療の新展開 坂本澄彦(東北大学医学部) 他2件 ・ 見学施設 日本アイソトープ協会茅記念滝沢研究所、仁科記念サイクロトロンセンター、武見記念館 ・ モーニングレクチャー「放射性物質の陸圏における挙動—私達の食生活と放射能、特に農作物をめぐって」 大桃洋一郎((財)環境科学技術研究所)
	10	28-29	第32回主任者研修会(部会総会)を日本教育会館(東京)で開催(参加者609名)
	12	1	新部会長(第7代)に池田正道就任(池田長生は「基盤整備委員会報告書」を取りまとめたのを機に辞任)
1992	1		教育訓練用OHPシートを作成し、希望者に配布 ・ 概要 Isotope News(1992.9)
	3		法令検討専門委員会が、放射線管理および主任者がおかれている現状と問題点を分析・検討し、その結果を「現行法令の課題」で報告 ・ 概要 Isotope News(1992.8)
	6	1	全国を7つの地方支部(北海道、東北、関東、中部、近畿、中国・四国、九州)に分割し、各支部はそれぞれ独自に企画・運営を進めるとした。本部に新たに評議員会、本部運営委員会を設けた。評議員会は部会全般に亘る重要事項、緊急に処理すべき事項の審議を、本部運営委員会は部会全般の運営、支部間の連絡調整を担当する新体制が発足(第17期部会の発足)。部会長に池田正道就任
	7	21	中部放射線利用開発研究会を愛知県青年会館(名古屋)で開催(共催：中部原子力懇談会)(参加者87名) ・ 環境と放射線利用—上水処理への応用— 虎谷博一(大阪府立大学附属研究所) 他1件

年	月	日	部 会 活 動 他
1992	9	18	東北主任者見学会を東北電力(株)女川原子力発電所(宮城)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者38名)
	9	19-20	第1回近畿支部主任者研究会('92ムーンライトセミナー ひらかた)をサンパレスひらかた(大阪)で開催(40名参加) ・講演 放射線と共に33年 真室哲雄(日本アイソトープ協会) ・ボイリングディスカッション 「法令取り入れへの要望等」 ・モーニングレクチャー 「酒と健康と放射線」 久保寺昭子(東京理科大学薬学部)
10	6		北海道主任者見学・勉強会を(株)日本製鋼所室蘭製作所(室蘭)で開催(参加者47名) ・講演 ベビーサイクロトロンとその応用について 戸田陽二郎((株)日本製鋼所室蘭製作所) ・見学施設 (株)日本製鋼所室蘭製作所ベビーサイクロトロンと非破壊検査施設
10	6		第2回近畿支部主任者研究会を大阪YMCA会館(大阪)で開催(参加者159名) ・法令検討委員会報告ー現行法令の課題ー 辻本忠(京都大学原子炉実験所) ・RI廃棄物の発生量をいかに減少させるかー利用者側からの工夫ー 池田正道((財)東京都中小企業振興公社) 他3件
10	9		第1回中国・四国主任者研修会を広島大学医学部(広島)で開催(参加者150名) ・特別講演 チェルノブイリ事故の実態と教訓 重松逸造((財)放射線影響研究所) ・RI施設の排水測定と浄化についての問題と経験 岩谷和男(広島大学工学部) 他3件
11	5-6		第1回九州支部主任者研究・見学会を博多サンヒルズホテル(福岡)と九州電力(株)玄海原子力発電所(佐賀)で開催(参加者45名) ・講演 水の流れを探索ーアクチバルトレサの利用ー 松岡信明((財)九州環境管理協会) 他3件 ・見学施設 九州電力(株)玄海原子力発電所
11	26-27		第33回主任者研修会(部会総会)を日本教育会館(東京)で開催(参加者538名)
12	15		近畿支部で地区の取扱事業所(931事業所)の主任者を対象に、主任者が現在抱える問題等についてアンケート調査を実施 調査結果は、「主任者の「生の声」アンケート報告」として Isotope News へ4回にわたり掲載(1993.5から)
12	18		第1回東北主任者研修会を勾当台会館(仙台)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者59名) ・放射線安全管理の問題点と対策 森川尚威((財)相模中央化学研究所) 他2件
1993	2	25	第1回関東主任者研修会をアルカディア市ヶ谷(東京)で開催(参加者137名) 「施設の点検と報告」 ・RI施設の点検と報告ー法令改正に対応してー 研究機関の例 高田茂(東京都立アイソトープ総合研究所) 大学の例 遠藤正志(東京大学アイソトープ総合センター) 他3件
	5	27	第2回関東主任者セミナーを(財)がん研究振興財団国際研究交流会館(東京)で開催(参加者172名) 「施設点検と測定の実務」 ・施設点検と放射線管理状況報告 法改正の趣旨と注意事項 近藤民夫(日本メジフィジックス(株)) 施設点検の実施と報告書の作成 加藤武雄(理化学研究所) 他4件
	5	28	第3回近畿支部主任者研究会(ガスクロの放射線管理実務研修会)を非破壊検査ビル(大阪)で開催(参加者145名) ・ECDガスクロの安全取扱のポイントと構造 安田昌門((株)島津製作所) 他2件
	6	23	中部放射線利用開発研究会を名古屋観光会館(名古屋)で開催(共催：中部原子力懇談会)(参加者39名) ・イメージングプレートの放射線計測への応用 森千鶴夫(名古屋大学工学部) 他1件
	9	9	第1回関東主任者勉強会を国立教育会館(東京)で開催(参加者107名) 「ICRP 90年勧告の法令取入れについての意見交換」 ・ICRP 90年勧告の概要 草間朋子(東京大学医学部) 他2件
	9	10-11	第4回近畿支部主任者研究会('93ムーンライトセミナー)をオオサカサンパレス(大阪)で開催(参加者164名) ・白血病はなぜ起こるか 岡田弘(国立京都病院) ・電離放射線障害の労災認定 石井義脩(労働省) 他2件 ・ボイリングディスカッション ・モーニングレクチャー 「放射線・アイソトープ昔話」 井本正介(大阪大学名誉教授)
	10	8-9	第2回中国・四国主任者研究会を広島大学医学部(広島)で開催(参加者57名) ・世界のヒバクシャを取材して 田城明(中国新聞社) 他1件

年 月 日	部 会 活 動 他
1993 10 8-9	・ 勉強会 「密封関係」, 「非密封関係」 ・ 見学施設 広島大学原爆放射能医学研究所
10 14-15	第2回バーデンゼミナール(東北支部)を古牧グランドホテル(三沢), 原子燃料サイクル施設(六ヶ所)で開催(参加者38名) ・ 低レベル放射性廃棄物埋設センターと放射線管理および線量評価 伊藤幸彦(日本原燃(株)) 他2件 ・ 見学施設 原子燃料サイクル施設とPRセンター ほか
11 8	第2回九州主任者研究会を福岡リーセントホテル(福岡)で開催 ・ アジア諸国における原子力開発と安全管理 高島良正((財)九州環境管理協会) 他2件
12 2-3	平成5年度主任者年次大会(第34回主任者研修会)を名古屋国際会議場(名古屋)で開催(参加者415名)
1994 2 1-22	第18期部会の発足に先立ち, 初めての支部委員選挙を実施
2 24	第2回関東主任者勉強会を(財)がん研究振興財団国際研究交流会館(東京)で開催(参加者73名) 「ICRP 1990年勧告の法令取入れについての意見交換」 ・ ICRP 90年勧告の概要 別所遊子(東京大学医学部) 他2件
6 1	第18期部会の発足。第8代部会長に栗原紀夫就任
6 9	アイソトープ利用講演・見学会(北海道支部)を北海道電力(株)総合研究所, アサヒビール(株)北海道工場(札幌)で開催(共催: ライフサイエンス部会)(参加者33名) ・ 講演 チョウザメの飼育実験について 前林衛(北海道電力(株)総合研究所) 植物遺伝子の機能解析 内藤哲(北海道大学農学部) 他1件 ・ 見学施設 北海道電力(株)総合研究所, アサヒビール(株)北海道工場
6 27	勉強会「研究分野の放射性廃棄物の取扱い」を東京大学山上会館(東京)で開催(主催: 理工学部会, 共催: 東京大学原子力研究総合センター, 主任者部会, ライフサイエンス部会, 医学・薬学部会) ・ 放射性廃棄物概説および研究分野から出る放射性廃棄物の特徴 小佐古敏荘(東京大学原子力研究総合センター) 他3件
10 7	第3回中国・四国主任者研修会を広島大学医学部(広島)で開催(参加者83名) ・ 講演 医療分野におけるRI・放射線利用の最先端 中西敏夫(広島大学医学部) ・ 報告 ICRP 90年勧告の国内法への取り入れについて 千坂治雄(東京都立アイソトープ総合研究所) ・ パネル討論「主任者の立場」, テーマ: 現状の問題点とそれをどう改善できるのか
10 13	勉強会「研究分野の放射性廃棄物の取扱い」をNTT大阪内本町会館(大阪)で開催(主催: 理工学部会, 共催: 主任者部会, ライフサイエンス部会, 医学・薬学部会) ・ 放射性廃棄物概説および研究分野から出る放射性廃棄物の特徴 小佐古敏荘(東京大学原子力研究総合センター) 他2件
10 14	第2回東北支部主任者見学会を山形県工業技術センター(山形)ほかで開催 見学施設 山形県工業技術センター, 山形テクノポリス財団
10 14	放射線利用開発研究会中部放射線研究会「研究分野の放射性廃棄物の取扱い」を名城会館(名古屋)で開催(主催: 中部原子力懇談会, 共催: 主任者部会中部支部, 理工学部会) ・ 放射性廃棄物の分類, 集荷, 処理 北田哲夫(日本アイソトープ協会) 他2件
10 14	第1回中部支部交流会「口を開けば誰かに伝わる」を名城会館(名古屋)で開催 ・ グループディスカッション ECD廃棄のポイントと手続き 内藤壽朗(名古屋大学農学部) 他1件
11 24-25	平成6年度主任者年次大会(第35回主任者研修会)をオオサカサンパレス(大阪)で開催(参加者520名)
12 1	主任者部会創立35周年記念特集「放射線100年と主任者」をIsotope Newsへ6回にわたって掲載
1995 1 17	兵庫県南部地震発生。放射線施設の被災状況調査を実施すると共に近畿支部が中心となって救援活動を実施
1 18	第2回東北主任者研修会を勾当台会館(仙台)で開催(共催: 東北放射線科学センター, 理工学部会)(参加者35名) 「放射性廃棄物とECDガスクロの安全取扱」 ・ 研究分野の放射性廃棄物の概説 小佐古敏荘(東京大学原子力研究総合センター) 他2件
1 20	第3回九州主任者研究会を福岡リーセントホテル(福岡)で開催(参加者21名) ・ 放射線防護とパブリックアクセプタンス 浜田達二(日本アイソトープ協会) 他2件
2 23	部会創立35周年記念講演会を(財)がん研究振興財団国際研究交流会館(東京)で開催(参加者152名) 「放射線利用100年と安全管理ー主任者が果たしてきた役割・果たすべき役割ー」

年 月 日	部 会 活 動 他
1995 2 23	・ 記念講演 放射線利用100年と健康影響評価 重松逸造((財)放射線影響研究所) 原子力の安全性をめぐる諸問題 寺島東洋三(原子力安全委員会委員) ・ 部会長報告 主任者の果たしてきた役割・果たすべき役割 栗原紀夫(京都大学放射性同位元素総合センター) ・ 記念祝賀会
5 1	「阪神・淡路大震災の被災施設状況調査」を Isotope News へ掲載
5 31	放射線施設の地震対策講習会(1)を文京シビックホール(東京)で開催(主催：主任者部会，後援：科学技術庁，放射線障害防止中央協議会)(参加者279名)(関東支部)
6 1	「そのとき主任者は一阪神・淡路大震災を体験して」を Isotope News へ3回にわたり掲載
6 6	放射線施設の地震対策講習会(2)を勾当台会館(仙台)で開催(主催：主任者部会，共催：東北放射線科学センター，後援：科学技術庁，放射線障害防止中央協議会)(参加者67名)(東北支部)
6 7	放射線施設の地震対策講習会(3)をきょうさいサロン(札幌)で開催(主催：主任者部会，後援：科学技術庁，放射線障害防止中央協議会)(参加者53名)(北海道支部)
6 12	放射線施設の地震対策講習会(4)を大阪府教育会館(大阪)で開催(参加者251名)(主催：主任者部会，後援：科学技術庁，放射線障害防止中央協議会)(近畿，中国・四国支部)
6 12	放射線管理草の根ネットワーク基調報告会を大阪府教育会館(大阪)で開催(参加者51名)
6 14	放射線施設の地震対策講習会(5)を文京シビックホール(東京)で開催(主催：主任者部会，後援：科学技術庁，放射線障害防止中央協議会)(参加者292名)(関東支部)
6 22	放射線施設の地震対策講習会(6)を名古屋国際会議場(名古屋)で開催(主催：主任者部会，後援：科学技術庁，放射線障害防止中央協議会，中部原子力懇談会)(参加者125名)(中部支部)
6 23	放射線施設の地震対策講習会(7)を福岡リーセントホテル(福岡)で開催(主催：主任者部会，共催：(財)九州環境管理協会，後援：科学技術庁，放射線障害防止中央協議会)(参加者71名)(九州支部)
6 26	第4回関東主任者セミナーをアルカディア市ヶ谷(東京)で開催(参加者69名) 「放射線管理への提言」 ・ 最近の法令・規則の改正動向 諸澄邦彦(埼玉県小原循環器病センター) ・ シンポジウム 「放射線管理への提言」
8 28-30	放射線管理実習セミナー(東北支部)を東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター(仙台)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者15名)
9 29	第5回近畿支部主任者研究会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者105名) 「法令改正の概要」 ・ 法令改正と事業所の対応 法令改正の概要 石川久(動力炉・核燃料開発事業団) 他4件
10 1	「放射線施設の地震対策講習会を終えて」を Isotope News へ掲載
10 13	中部支部「表面汚染測定技術勉強会」を愛知厚生年金会館(名古屋)で開催 ・ 表面汚染測定からデータ処理までの最近の動向 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) 他2件
10 13-14	第4回中国・四国主任者研修会・見学会を岡山大学自然科学研究科研究棟(岡山)ほかで開催 ・ 講演会 岡山周辺の環境放射線と放射能 鑛山宗利(岡山大学RI津島施設) 他2件 ・ 分科会 「密封線源」，「非密封線源」 ・ 見学施設 岡山大学遺伝子実験施設
11 1	部会活動を一般に紹介する小冊子「主任者ニュース」を創刊
11 1-2	平成7年度主任者年次大会(第36回主任者研修会)を仙台国際センター(仙台)で開催(参加者410名)
11 16	北海道支部放射線施設見学会を北海道大学(札幌)で開催(参加者17名) 見学施設 北海道大学アイソトープ総合センター，工学部，医学部附属病院
11 16-17	第4回九州支部主任者研究会・見学会を水俣市湯の尻温泉「苓州館」(熊本)ほかで開催(参加者24名) ・ 講演 放射線計量に関する最近の話題 岸川俊明(熊本大学工学部) 他3件 ・ 見学施設 国立水俣研究センター，市立水俣病資料館，県立熊本県環境センター
12 4	放射線防護講演会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(共催：中部原子力懇談会，(財)放射線影響協会，保健物理フォーラム in 中部)(参加者80名)(中部支部) ・ 放射線防護の歴史 C.B.Meinhold(米国放射線防護測定審議会会長) 他1件
12 12	第5回関東主任者セミナーを文京シビックホール(東京)で開催(参加者131名) 「BSS，法令改正要点，放射線管理Q&A」 ・ ICRP 90年勧告に基づく国際安全技術基準(BSS)について 草間朋子(東京大学医学部) 他2件

年	月	日	部 会 活 動 他
1996	1	1	第19期部会の発足に先立ち、2回目の支部委員選挙を実施
	2	16	中部支部施設見学会・第2回支部交流会を文部省核融合科学研究所(名古屋)で開催(参加者23名) ・見学施設 核融合科学研究所トリウム実験施設 ほか ・話題提供 長寿医療研究センターにおけるPET利用と放射線管理の現状 伊藤健吾(国立療養所中部病院長寿医療研究センター)
	5	1	「企画委員会報告書「21世紀の主任者部会活動に向けて」」を作成し、21世紀に向けた主任者の果たす役割と今後の主任者部会活動の進め方について提言 報告書は、平成8年度主任者年次大会(第37回主任者研修会)要旨集に収載(1996)
	6	1	第19期部会の発足。第9代部会長に西澤邦秀就任
	6	1	部会規定を一部改正し、部会員の範囲を放射線管理業務を行っている者等に拡大すると共に、法人等団体加入も可能にした。評議員は前期で廃止。
	6	1	RIの有効利用や放射線安全の確保を目的とした会員相互の交流の場として、PC通信「JRInet」を開設
	7	9	第6回関東主任者セミナーを文京シビックホール(東京)で開催(参加者52名) 「放射線計測、放射線防護機器」 ・放射線計測の最近の話題 河田燕(成蹊大学工学部) 他3件
	8	29-30	放射線管理実習セミナー(東北支部)を東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター(仙台)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者15名)
	9	27	第6回近畿支部主任者研究会(放射線業務従事者のための秋期研修会)をメルパルク大阪(大阪)で開催(参加者39名) ・放射線の人体影響－ICRP勧告の法令への取り入れ 野村大成(大阪大学医学部) 他2件
	9	27-28	東北支部第3回バーデンゼミナールを湯瀬ホテル(鹿角)、玉川温泉(秋田)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者31名) ・講演 放射線(低線量)の生物影響と玉川温泉 山下順助(秋田大学医学部) 他1件 ・玉川温泉放射能調査
	10	4	第5回中国・四国支部主任者研修会を岡山大学自然科学研究科棟(岡山)で開催(参加者46名) ・最新の放射性医薬品について 倉見美規(日本メジフィジックス(株)) ・放射線安全行政について 吉川敏彦(科学技術庁) 他2件
	10	7	北海道支部講演・見学会を北海道大学アイソトープ総合センター(札幌)で開催(参加者58名) 「これからの放射線安全管理」 ・講演会 日本の放射線安全管理、ヨーロッパ諸国の放射線安全管理 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター、主任者部会長) 他1件 ・見学会 バイオイメージングアナライザーによる遺伝子解析の実際 中川伸(北海道大学医学部) ほか
	10	19	中部支部「インターネット講習会」を名古屋大学医療技術短期大学部の協力の下に同大学部で開催
	11	1	「主任者ニュース」第2号を発刊
	11	6	「ICRP 90年勧告の国内法令取り入れに関する意見」を科学技術庁原子力安全局放射線安全課長へ提出。ICRP 1990年勧告の国内法令への取入れに際して、主任者の職務・権限を明確にする等の4項目をまとめ、主任者の意見を十分尊重してなされるように要望 ・概要 Isotope News(1997.4)
	11	14-15	平成8年度主任者年次大会(第37回主任者研修会)を学習院創立百周年記念会館(東京)で開催(参加者493名)
	12	13	第5回九州支部主任者研究会を福岡リーセントホテル(福岡)で開催(参加者42名) ・ガスクロマトグラフ用ECDの安全取扱について 吉原桃八((株)日立製作所) 他2件
1997	2	7	中部支部施設見学会・第4回支部交流会を国立療養所中部病院(愛知)で開催(参加者24名) 見学施設 国立療養所中部病院長寿医療研究センターPET施設、RI実験施設 ・話題提供 DNA修復と突然変異 高橋和彦(名古屋市立大学薬学部)
	2	28	第1回「主任者部会－21世紀のあり方勉強会」をアイソトープ協会(東京)で開催 ・21世紀の放射線計測の展望 中沢正治(東京大学工学部) ・21世紀の放射線機器の動向 大島俊則(アロカ(株))
	4	11	第2回「主任者部会－21世紀のあり方勉強会」をアイソトープ協会(東京)で開催 ・21世紀の理工学分野の放射線利用の動向 小佐古敏荘(東京大学原子力研究総合センター) ・21世紀の加速器利用の将来展望 柴田徳思(高エネルギー加速器研究機構)
	6	20	第3回「主任者部会－21世紀のあり方勉強会」をアイソトープ協会(東京)で開催 ・ライフサイエンス分野におけるRI・放射線利用の現状と問題点 中西友子(東京大学大学院農学生命科学研究科)

年	月	日	部 会 活 動 他
1997	6	20	・ 21世紀のライフサイエンス分野におけるRI・放射線利用の課題と展望 山口彦之(東京大学名誉教授)
	7	9	「ICRP 1990年勧告(Pub. 60)の国内制度等への取り入れに関する審議状況について(中間報告)(案)」に対し、関係者の意見聴取が設けられたので、放射線審議会基本部会へ23項目からなる意見を提出 ・ 概要 Isotope News(1998.4)
	7	19-27	東北支部第1回放射線展「放射線で何だろうー放射線をみつけよう」を仙台市科学館(仙台)で開催(共催:東北放射線科学センター)
	9	4-5	放射線管理実習セミナー(東北支部)を東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター(仙台)で開催(共催:東北放射線科学センター)(参加者31名)
	9	5	中部支部勉強会・第5回支部交流会を名城大学図書館(名古屋)で開催(参加者90名) 「災害が起きたら、あなたはどうか対応しますか?ー災害時の消防の活動と神戸の復旧の現状ー」 ・ RI施設における災害・緊急時の火災時の対応 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) 他2件
	9	19	第4回「主任者部会ー21世紀のあり方勉強会」をアイソトープ協会(東京)で開催 ・ 21世紀の放射性医薬品 井戸達雄(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター) ・ 21世紀の核医学 遠藤啓吾(群馬大学医学部) ・ 21世紀の放射線治療 山下孝((財)癌研究会附属病院)
	9	26-27	第7回近畿支部主任者研究会(ムーンライトセミナー)を京都大学放射性同位元素総合センター、京大会館(京都)で開催(参加者47名) ・ 講演 放射線ホルミシスと関連研究 米澤司郎(大阪府立大学先端科学研究所) 他1件 ・ 見学施設 京都大学放射性同位元素総合センター教育訓練棟 ・ ムーンライトセミナー「保健物理学の展望について」 辻本忠(若狭湾エネルギー研究センター) ・ パネル討論「RI廃棄物の現状と将来」
	11	1	「主任者ニュース」第3号を発刊
	11	13-14	平成9年度主任者年次大会(第38回主任者研修会)を岡山衛生会館、三光荘(岡山)で開催(参加者405名)
	11	17	「医療施設における放射線取扱主任者の選任について」を科学技術庁原子力安全局放射線安全課長に提出。「医療施設における主任者の選任に際して、放射線取扱主任者免状所有者の中から選任するよう指導されるよう等の3項目を要望 ・ 概要 Isotope News(1998.6)
	11	25	東北支部「放射線管理のためのインターネット講習会」(入門コース)を(株)東芝東北支社(仙台)で開催(共催:東北放射線科学センター)(参加者14名)
	11	27	東北支部「放射線管理のためのインターネット講習会」(中級コース)を(株)東芝東北支社(仙台)で開催(共催:東北放射線科学センター)(参加者20名)
	11	27	第6回九州支部主任者研究会を福岡リーセントホテル(福岡)で開催(参加者27名) ・ ICRP 1990年勧告の取り入れについて 大崎進(九州大学アイソトープ総合センター) 他2件 ・ 見学施設 九州大学アイソトープ総合センター病院地区実験室
	11	28	第5回「主任者部会ー21世紀のあり方勉強会」をアイソトープ協会(東京)で開催 ・ 21世紀における社会的な観点からのアイソトープ・放射線利用の課題 安齋育郎(立命館大学国際平和ミュージアム館)
	12	12	中部支部施設見学会・第6回支部交流会を名古屋市立大学薬学部(名古屋)ほかで開催(参加者33名) ・ 見学施設 名古屋市立大学放射線薬品学研究実習施設 ・ 話題提供 岡崎国立共同研究機構の紹介 古川和彦(岡崎国立共同研究機構基礎生物研究所)
1998	1	1	第20期部会の発足に先立ち、3回目の支部委員選挙を実施
	1	29	放射線審議会長に、基本部会が決定した過重な規制を大局的見地から斟酌し、わが国の実態に即した基準を策定されるよう要望
	1	29	放射線審議会基本部会長に、管理区域境界線量の基準の引下げに関して遺憾の意を表明し、再検討を要望 ・ 概要 Isotope News(1998.6)
	2	20	「RI・研究所等廃棄物処理処分報告書案の基本的考え方について(案)」に対し、5項目の部会の意見を原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会へ提出 ・ 概要 Isotope News(1998.6)
	4	17-18	関東支部主任者研修会「主任者湘南フォーラムー湘南の丘の上でー」を湘南国際村センター(葉山)で開催(参加者38名) ・ ICRP勧告の国内法令への取り入れおよびその日程(国内法令の変更に伴う問題点と対策) 遠藤正志(東京大学アイソトープ総合センター) ・ 変更申請および定期検査について 藤井張生(東京医科歯科大学アイソトープ総合センター) 他4件

年	月	日	部 会	活 動	他
1998	4	17-18	・ 丘の上フォーラム		
	6	1	第20期部会の発足		
	8	11	北海道支部「98原子力オープンスクール」「原子の世界を探検しよう」を北海道大学工学部(札幌)で開催(共催: 日本原子力学会北海道支部)(参加者36名)		
	9	3-4	放射線管理実習セミナー(東北支部)を東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター(仙台)で開催(共催: 東北放射線科学センター)(参加者24名)		
	9	4	東北支部「消防関係者との交流会」を東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター(仙台)で開催(参加者30名) ・ 東北大学における緊急連絡体制 中村尚司(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター) ・ 放射線施設災害における消防活動について 堀江久一(仙台市消防局)		
10	2-3		第6回中国・四国支部主任者研修会を岡山大学医学部(岡山)で開催(参加者56名) ・ 講演 放射線取扱主任者部会の活動について 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) 放射線安全行政について 植田秀史(科学技術庁) 他2件 ・ 見学施設 岡山大学アイソトープ総合センター		
10	8		北海道支部施設見学会を(株)日本製鋼所室蘭製作所, 日鋼記念病院(室蘭)で開催(参加者16名)		
10	16-17		第4回バーデンゼミナール(東北支部)を亀屋ホテル(湯野浜温泉)(鶴岡)ほかで開催(共催: 東北放射線科学センター)(参加者40名) ・ 講演 環境放射能とその測定について 石川陽一(宮城県原子力センター) 他1件 ・ 見学施設 風力発電施設(立川町), 波力発電施設(酒田市)		
10	20		第8回近畿主任者研究会(旧ムーンライトセミナー)を大阪大学レーザー核融合研究センター(大阪)ほかで開催(参加者50名) ・ 講演 最近の核融合について 中塚正大(大阪大学レーザー核融合研究センター) 他2件 ・ 見学施設 大阪大学レーザー核融合研究センター, ラジオアイソトープ総合センター, 保全科学研究センター		
10	30		「放射線施設の遮蔽能力・放射性物質飛散率評価に関する調査研究(中間報告)」(放射線管理技術検討委員会)を発表 ・ 概要 Isotope News(1999.4)		
10	31		中国・四国支部市民講座「身のまわりの放射線」を松江商工会議所(松江)ほかで開催(共催: 中国地域エネルギーフォーラム)(参加者80名) ・ 講演 身近な放射線 多田幹郎(岡山大学農学部) 他2件 ・ 見学施設 中国電力(株)島根原子力発電所		
11	1		「主任者ニュース」第4号を刊行		
11	12-13		平成10年度主任者年次大会(第39回主任者研修会)を福岡都久志会館, 福岡ガーデンパレス(福岡)で開催(参加者393名)		
12	2		東北支部「放射線管理のためのインターネット講習会」を(株)東芝東北支社で開催(共催: 東北放射線科学センター)(参加者10名)		
12	4		中部支部施設見学会・第7回支部交流会を岡崎国立共同研究機構(岡崎)で開催(参加者30名) ・ 見学施設 岡崎国立共同研究機構基礎生物学研究所アイソトープ実験施設, 分子科学研究所極端紫外光実験施設 ・ 話題提供 核融合科学研究所の紹介 佐久間洋一(核融合科学研究所)		
1999	1	25	放射線審議会基本部会「外部被ばく及び内部被ばくの評価法に係る技術的指針(案)」に対し, 21項目からなる意見を提出 ・ 概要 Isotope News(1999.4)		
	2	5	中部支部勉強会・第8回支部交流会をウィルあいち(愛知県女性総合センター)(名古屋)で開催(参加者62名) 「RI施設の廃止に際して, あなたはどのように対処しますか？」 ・ RI施設の廃止に伴う対応 山本匡吾((株)豊田中央研究所) 他2件		
	3	27-28	東北支部第2回放射線展を仙台市科学館(仙台)で開催(共催: 東北放射線科学センター)		
	6	1	「主任者部会創立40周年記念特集」を Isotope News(1999.6, 8) へ掲載		
	7	31	北海道支部「99原子力オープンスクール」を北海道大学工学部(札幌)で開催(共催: 日本原子力学会北海道支部)(参加者40名)		
	8	3, 6	「看護教育における放射線診療の取り扱いについて(要望)」を厚生省健康政策局長および文部省高等教育局長へ提出。看護教育において放射線診療の取扱を重視し, 放射線看護に対する正しい認識を教育するように要望		
	8	10	「主任者ニュース」第5号を刊行		

年	月	日	部 会 活 動 他
1999	8	20	中部支部施設見学会・第9回支部交流会を文部省核融合科学研究所(土岐)で開催(参加者28名) ・見学施設 文部省核融合科学研究所大型ヘリカル実験棟 ほか ・話題提供 日・米・英の放射線管理の違いについて 宮本公隆(ファイザー製薬(株)中央研究所)
8	26-27		平成11年度主任者年次大会(第40回主任者研修会)を札幌サンプラザ(札幌)で開催(参加者351名)
9	17		第9回近畿支部研究会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者114名) ・RI廃棄物についてのシンポジウム 科学技術庁原子力安全局放射線安全課通知について 亀井太(科学技術庁) 焼却炉対策および有機系塩化物を含む廃棄物対策－ダイオキシンに関する有機トリクロロ酢酸 使用者の立場、焼却炉メーカーの立場 短半減期廃棄物について 製造業者から、医療施設から、アイソトープ協会から、法令検討委員会から ・特別講演 「放射線施設の遮蔽能力・放射性物質飛散率評価に関する調査研究」について 西澤邦秀(名古屋 大学アイソトープ総合センター)
9	22		第7回関東主任者セミナーをアルカディア市ヶ谷(東京)で開催(参加者100名) 「放射性有機廃液の処理」 ・液シン廃液の焼却に関する安全管理について 森川尚威(元東京大学アイソトープ総合センター) ・放射性有機廃液焼却装置メーカーの対応 ・廃棄物処理の現状と今後の動向 片岡滋(日本アイソトープ協会)
10	5		東北支部サイクロترون見学会・廃棄物セミナーを東北大学サイクロترون・ラジオアイソトープ センター(仙台)で開催(共催：東北放射線科学センター、日本原子力学会東北支部)(参加者30名) ・見学施設 東北大学サイクロترون・ラジオアイソトープセンター ・廃棄物セミナー サイクロトロン解体 泉雄一((株)日本環境調査研究所) 放射線管理と廃棄物 山寺亮(東北大学サイクロترون・ラジオアイソトープセンター) 放射性廃棄物に関する最近の状況 清水雅美(日本アイソトープ協会)
11	2		中部支部勉強会「有機廃液焼却の問題点に迫る」・第10回支部交流会を名古屋大学アイソトープ総合 センター(名古屋)ほかで開催(参加者59名) ・講演 液体シンチレーター廃液の焼却に関する安全管理について 亀井太(科学技術庁) 有機廃液焼却の現状 山口良三(朝日大学) 焼却炉メーカーの立場から ・総合討論
11	10		「放射線取扱主任者部会創立40周年記念講演会」を学士会館(東京)で開催(参加者83名) 「求められる放射線取扱主任者とは」 ・特別講演 アイソトープを用いて病気の診断・治療をどのようにするか－最近の診断・治療－ 佐々木康人 (放射線医学総合研究所) ヒューマンエラーとその防止 安部北夫(聖学院大学) ・「主任者部会・21世紀のあり方」報告 菊地透(自治医科大学) ・ラウンドテーブルディスカッション「求められる主任者像」 放射線取扱主任者として 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) 放射線審議会に寄せられた意見を通して思う“求められる主任者像” 沼宮内弼雄((財)放射線 計測協会) 医学研究機関および病院における放射線取扱主任者 遠藤啓吾(群馬大学医学部) 報道機関から見た「求められる主任者像」 三島勇(読売新聞社)
11	19-20		第7回中国・四国支部主任者研修会を広島商工会議所(広島)ほかで開催(参加者52名) ・講演 緊急時医療について 衣笠達也(三菱神戸病院) 環境におけるダイオキシンの現状と問題点 河野公栄(愛媛大学農学部) 放射線の生体への影響－低線量被ばく－ 山本修(広島国際大学保健医療学部) ・見学施設 広島大学原爆放射能医学研究所
11	26-27		第7回九州支部主任者研究会・見学会をビーコンプラザ(別府)ほかで開催(参加者28名) ・講演 液シン廃液焼却に関する新指針への対応 森川尚威(元東京大学アイソトープ総合センター)

年 月 日	部 会 活 動 他
1999 11 26-27	新法令における放射線施設の遮蔽能力評価のあり方について 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) 大分県の海と魚 星野和夫(マリンパレス(大分生体水族館)) ・見学施設 三和酒類(株)(宇佐市), 九州大学生体防御医学研究所(別府市)
2000 1 28	主任者部会創立40周年記念第10回近畿支部研究会・交流会をNTT内本町会館(大阪)で開催(参加者64名) ・記念講演 近畿支部のあゆみ 真室哲雄(元関西常任委員長), 川上猛雄(元近畿支部長) ・特別講演 東海村の臨界事故から学ぶこと 鶴田隆雄(近畿大学原子力研究所) ・シンポジウム「望まれる教育・訓練のあり方」 大学・共同利用施設, 企業研究所, 非破壊検査, 医療機関, 加速器施設 ・提言「教育・訓練で協力し合おう」
3 18-19	東北支部第3回放射線展を盛岡市民文化ホール(盛岡)で開催(共催:東北放射線科学センター)(参加者約150名) 霧箱作製, さいころゲーム, ポスター展示等
6 1	第21期部会の発足
6 27	第8回関東主任者セミナーをアルカディア市ヶ谷(東京)で開催(参加者98名) ・ICRP 1990年勧告の国内法令への取り入れ 小佐古敏荘(東京大学原子力研究総合センター) ・法令改正への対応 遠藤正志(東京大学アイソトープ総合センター)
7 22	北海道支部「平成12年度原子力オープンスクール」を北海道大学大学院工学研究科(札幌)で開催(共催:日本原子力学会北海道支部, 北海道大学大学院工学研究科)(参加者35名) 「身の回りのエネルギーと放射線」 高校生中心の広い階層を対象とした参加型のオープンスクール。体験入学, パネル展示, 実験参加等を実施
7 29-30	東北支部第4回放射線展を宮城教育大学(仙台)で開催(共催:東北放射線科学センター, 日本化学会東北支部)(参加者約130名) 「化学への招待ー楽しいみんなの実験」 高校生主体の実験講座, 霧箱作製等
9 11-12	東北支部放射線管理実習セミナーを東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター(仙台)で開催(主催:東北放射線科学センター, 協賛:東北原子力懇談会)(参加者15名)
9 22	中部支部施設見学会・第11回支部交流会をファイザー製薬(株)中央研究所(愛知)ほかで開催(参加者35名) ・見学施設 ファイザー製薬(株)中央研究所RI施設 ほか ・話題提供 愛知県がんセンターの紹介 国立忠敬(愛知県総合保健センター)
9 28	「法令検討委員会報告 理想的な管理体系を目指して その1:現行法令の課題」の改訂版を発表 報告書は, 平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)要旨集に収載(2000)
9 29-30	第5回バーデンゼミナール(東北支部)を湯・遊ランド新鶴(福島)ほかで開催(共催:東北放射線科学センター)(参加者20名) ・原子力発電所における環境放射能測定 鈴木良男(東京電力(株)) ・歯を用いた被ばく線量測定の実際 岩崎みどり(奥羽大学歯学部) ・見学施設 東北電力(株)柳津西山地熱発電所, 第二沼沢発電所(揚水式)
10 20-21	第8回中国・四国支部主任者研修会を広島商工会議所(広島)ほかで開催 ・講演 放射線安全行政について 袴着実(科学技術庁) 放射線障害防止法の改正に対する実務レベルでの対応 大登邦充((株)千代田テクノル) 放射光の発生と利用 吉田勝英(広島大学放射光科学研究センター) ・見学施設 広島大学放射光科学研究センター(東広島)
11 1	「主任者ニュース」第6号を刊行
11 6	東北支部放射線管理実務セミナーを東北電力ビル(仙台)で開催(共催:東北放射線科学センター)(参加者47名) 「立入検査と安全管理」
11 16-17	平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)をつくば国際会議場(つくば)で開催(参加者416名)
12 5	第9回関東主任者セミナーをメルパルクTOKYO(東京)で開催(参加者42名) ・放射線障害防止関係法令改正について 袴着実(科学技術庁) ・法令改正への具体的対応の要点 五十嵐健治(海洋科学技術センター)
12 12	中部支部勉強会「法令改正への対応」・第12回支部交流会を名古屋大学シンポジオンホール(名古屋)で開催(参加者92名) ・放射線障害防止法関係法令の改正の主要点と留意点について 飯塚裕久(科学技術庁)

年 月 日			部 会 活 動 他
2000	12	12	・法令改正に伴う各遮蔽計算の見直し方のポイント 柴田徳思(高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター) ・法令改正への具体的対応の要点 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・総合討論・質疑応答
2001	1	11	第8回九州支部主任者研究会を福岡リーセントホテル(福岡)で開催(参加者74名) 「法令改正への対応」 ・放射線障害防止法関係法令の改正について 鈴木宏二(文部科学省) ・法令改正への具体的対応の要点 大崎進(九州大学アイソトープ総合センター)
	1	29	放射線安全管理講習会「法令改正に伴う実務勉強会」(近畿支部)を大阪科学技術センター(大阪)で開催(共催：関西原子力懇談会，(財)電子科学研究所)(参加者348名) ・改正法令の概要 放射線障害防止法関係 牧慎一郎(文部科学省) 他9件
	2	6	第10回関東主任者セミナーをアルカディア市ヶ谷(東京)で開催(参加者166名) ・放射線障害防止関係法令改正について 鈴木宏二(文部科学省) ・法令改正への具体的対応の要点 井原智(杏林大学医学部)，釜田敏光(ポニー工業(株))
	2	15	放射線障害防止関係法令セミナー(東北支部)を仙建ビル(仙台)で開催(共催：大学等放射線施設協議会東北地区，東北放射線科学センター)(参加者150名) ・放射線障害防止法関係法令の改正について 岡本浩二(文部科学省) ・法令改正への具体的対応の要点 - 遮蔽計算と被曝線量の評価について 中村尚司(東北大学大学院工学研究科) - 非密封RI取扱施設の対応 遠藤正志(東京大学アイソトープ総合センター) - 放射線障害予防規定について 森川尚威(元東京大学アイソトープ総合センター)
	2	16	法令改正対応セミナー(北海道支部研究会・北海道地区大学等放射線施設協議会研修会)をホテル札幌ガーデンパレス(札幌)で開催(共催：北海道地区大学等放射線施設協議会)(参加者54名) ・北海道地区大学等放射線施設における，放射線障害防止法関連法令の改正への準備状況について 西信三(北海道大学大学院医学研究科) ・放射線障害防止法関係法令の改正への対応について 加茂直樹(北海道大学大学院薬学研究科) ・大学等放射線施設における，文部科学省への申請内容の見直し等について 遠藤正志(東京大学アイソトープ総合センター)
	2	16	関東支部法令改正セミナーをアイソトープ協会で開催(参加者57名) ・法令改正への具体的対応の要点Ⅰ 杉浦紳之(東京大学原子力研究総合センター) ・法令改正への具体的対応の要点Ⅱ 大登邦充((株)千代田テクノル)
	3	27	放射線安全管理講習会「法令改正に伴う実務勉強会」(part-2)(近畿支部)を大阪科学技術センター(大阪)で開催(主催：関西放射線ネットワーク，後援：(財)電子科学研究所，関西原子力懇談会，保健物理学会，製薬放射線コンファレンス，安心科学アカデミー，主任者部会近畿支部)(参加者121名) ・障害防止法と関係法令の整合性－基調講演 「電離則」，「人事院規則」，「医療法」を中心として 井深啓次郎(近畿医療技術専門学校) ・法令改正に関する質問コーナー各種質問・疑問を確定してゆきましょう！－ - パネリスト 川上猛雄(製薬放射線コンファレンス) ほか ・遮へい計算実務－遮へい計算マニュアルの使い方 - 簡易遮へい計算ソフトの紹介(主として非密封，密封事業所を中心に) 五十棲泰人(京都大学放射性同位元素総合センター) ・メーカー対応
	6	1	中部支部勉強会「改正法令への対応の現状と問題点」(大学等放射線施設協議会第3回北陸・東海支部研修会)を電気文化会館イベントホール(名古屋)で開催(主催：大学等放射線施設協議会北陸・東海支部，名古屋大学アイソトープ総合センター，後援：主任者部会中部支部，中部原子力懇談会)(参加者61名) ・法令改正の施行状況(最近の放射線安全管理行政の動向) 鈴木宏二(文部科学省) ・遮蔽計算法の概要およびデータの現状 坂本幸夫(日本原子力研究所東海研究所) ・マニュアルに沿った遮蔽計算方法 五十棲泰人(京都大学放射性同位元素総合センター) ・排気・排水計算のポイント注意点 小島久(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・総合討論
	7	19	シンポジウム「放射線・RI施設における情報公開のあり方と問題点」を名古屋大学シンポジオンホール(名古屋)で開催(主催：名古屋大学アイソトープ総合センター，名古屋大学原子力委員会，共催：大学等放射線施設協議会北陸・東海支部，主任者部会中部支部，日本原子力学会中部支部)(参加者91名) ・シンポジウムについて 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター)

年 月 日	部 会 活 動 他
2001 7 19	・ 情報公開法の概要について 伊藤高義(名古屋大学大学院法学研究科) ・ 一般市民, マスコミから見た放射線・RI施設における情報公開の受け止め方 大森雅弥(中日新聞社) ・ 名古屋大学における放射線・RI施設における情報公開の取り組み 河出清(名古屋大学原子力委員会) ・ 総合討論
7 29	北海道支部「平成13年度原子力オープンスクール」を北海道大学大学院工学研究科(札幌)で開催(主催:日本原子力学会北海道支部, 共催:主任者部会北海道支部, 協賛:北海道大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻)(参加者21名) 「ミクロの世界を探検しよう」 高校生中心の広い階層を対象とした参加型のオープンスクール ・ 講演 身近な放射線 佐藤正知(北海道大学大学院工学研究科) ・ パネル展示 ・ 実験 「霧箱の作製と放射線の観測」, 「放射線を止めるのに役立つ物質は」
8 3-4	東北支部第5回放射線展を「青少年科学の祭典」山形会場(山形)で開催(主催:(財)日本科学技術振興財団)(参加者約200名) さいころゲーム, ポスター展示, 霧箱等の出展に協力
8 21	中国・四国支部「夏休み子供理科教室」を中国電力(株)松江営業所(松江)で開催(共催:中国地域エネルギーフォーラム, 日本原子力学会中国・四国支部)(参加者102名) 霧箱を使った放射線観測
8 21-25	東北支部第6回放射線展を仙台市科学館(仙台)で開催(主催:日本化学会, 化学工学会, 仙台市科学館)(参加者約500名) 化学展「2001年なぞとき体験の旅」 霧箱作製, 展示の出展に協力
6 30	北海道支部見学会を北海道電力(株)泊発電所(泊)で開催(参加者40名)
9 14	中部支部施設見学会・第13回支部交流会を愛知県がんセンター(名古屋)で開催(参加者28名) ・ 見学施設 愛知県がんセンター放射線治療施設, RI実験施設
9 27-28	第6回バーデンゼミナール(東北支部)をむつグランドホテル(斗南温泉)(青森)ほかで開催(共催:東北放射線科学センター)(参加者21名) ・ 人工放射性核種の物質循環研究への適用 島茂樹(日本海洋科学振興財団むつ海洋研究所) ・ 低線量放射線の寿命に与える影響の研究 佐藤文昭((財)環境科学技術研究所) ・ 見学施設 むつ科学技術館, (財)環境科学技術研究所, 日本原燃(株)PRセンター・六ヶ所サイクル施設
10 2	第9回九州支部主任者研究会を福岡リーセントホテル(福岡)で開催(参加者27名) 「法令改正への対応」 ・ 放射線の臨床応用ー最近の進歩ー 増田康治(九州大学大学院医学研究院) ・ 法令改正に伴う遮へい計算の実際 五十棲泰人(京都大学放射性同位元素総合センター) ・ 内部被ばくの評価について 赤羽恵一(大分県立看護科学大学)
10 19-20	第9回中国・四国支部主任者研修会を広島商工会議所(広島)ほかで開催 ・ 講演 - 最近の放射線安全行政の動向 古田光子(文部科学省) - 法令改正に伴う施設見直しについて 森一幸((株)イング) - 原爆線量再評価の最近の動向 星正治(広島大学原爆放射能医学研究所) ・ 見学施設 広島大学アイソトープ総合センター(東広島)
10 28	九州支部「身近な放射線と科学実験講座」を福岡三越前ライオン広場(福岡)で開催(共催:アジア-太平洋放射化学シンポジウム現地組織委員会, 後援:(社)九州山口経済連合会, 九州エネルギー問題懇話会, (財)九州環境管理協会) 一般市民に対し, 簡単な実験器具や説明パネルを用いて, 支部部会員が放射線・放射能に関する実験並びに説明を行う。 食品・岩石等の放射線測定やポスター展示, サイコロゲーム等を実施
11 1	「主任者ニュース」第7号を刊行
11 8-9	平成13年度主任者年次大会(第42回主任者研修会)を名古屋市中小企業振興会館(名古屋)で開催(参加者429名)
11 24-25	中国・四国支部「青少年のための科学の祭典第7回広島大会」に出展(日本原子力学会中国・四国支部, 中国地域エネルギーフォーラムとの合同出展) 「霧箱を使って放射線・宇宙線を見てみよう」
11 27	東北支部放射線管理実務セミナーを東北電力ビル(仙台)で開催(共催:東北放射線科学センター)(参加者57名)

年 月 日			部 会 活 動 他
2001	11	27	「立ち入り検査と安全管理」 ・ 最近の立入経験から その1 秋葉健一(東北大学多元物質科学研究所) ・ 最近の立入経験から その2 大槻勤(東北大学大学院理学研究科附属原子核理学研究施設) ・ 健康診断等の管理について 野村紀男(核燃料サイクル開発機構大洗工学センター) ・ 活性炭素フィルターによる空气中RI濃度の測定 泉雄一((株)日本環境調査研究所)
12	19		第11回関東主任者研修会をアイソトープ協会(東京)で開催(参加者14名) 「しゃへい計算見直し演習」 ・ 変更申請時における注意点 渡辺雄三(順天堂大学医学部) ・ 非密封施設におけるしゃへい計算の要点と計算実務演習 遠藤正志(東京大学アイソトープ総合センター) 野川憲夫(東京大学アイソトープ総合センター)
2002	1	29	近畿支部「法令改正に伴う実務勉強会」を中央電気倶楽部大ホール(大阪)で開催(主催：大学等放射線施設協議会近畿支部，協賛：主任者部会近畿支部)(参加者200名) ・ 放射線施設の安全管理 吉田重信(文部科学省) ・ 遮へい及び濃度計算の見直し 五十棲泰人(京都大学放射性同位元素総合センター) ほか ・ 「空間線量測定マニュアル」について 中村尚司(東北大学大学院工学研究科) ・ パネル討論「測定マニュアルへの対応」 ガラス線量計，光刺激ルミネッセンス，半導体とTLD，サーバイメータ
	2	27	第12回関東主任者セミナーを文京グリーンコートセンターオフィス(東京)で開催(共催：企画委員会，放射線計測分科会)(参加者76名) 「外部・内部被ばく線量の評価―法令改正1年後の対応―」 ・ 挨拶 吉田重信(文部科学省) ・ 教育講演 放射線管理における防護量と実用量―実効線量と1cm線量当量― 中村尚司(東北大学大学院工学研究科) ・ テーマ1「空間線量の測定と測定器の校正」 トレーサビリティと2次標準 清水滋(日本原子力研究所東海研究所) 管理現場における実用校正 山口喜朗(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター) ・ テーマ2「個人被ばく線量の評価と記録・記帳」 外部被ばく 寿藤紀道(個人線量測定機関協議会) 内部被ばく 鈴木崇彦(東京大学医学部附属放射線研究施設) ・ 総合討論
	3	1	中部支部勉強会「法令改正に伴う変更申請書類作成の実例」・第14回支部交流会を東桜会館(名古屋)で開催(参加者64名) ・ 変更申請書類作成の概略 五十嵐敏美((株)千代田テクノル) ・ 遮へい計算の実例 非密封・密封施設 桑原茂生((株)千代田テクノル) サイクロトロン施設 三村功一((株)千代田テクノル) 医療用治療装置施設 石田三太郎((株)イング) ・ RI空気中および排気中濃度計算の実例 森一幸((株)イング) ・ RIの排水中濃度計算の実例 森一幸((株)イング) ・ 「最近の文部科学省の指導傾向」 山口哲郎((株)千代田テクノル)
	3	8	北海道支部「放射線施設の事故対策に関する勉強会」を北海道大学アイソトープ総合センター(札幌)で開催(共催：北海道地区大学等放射線施設協議会)(参加者37名) ・ 話題提供 「主任者としての各施設における事故時の対応、問題点、今後の検討課題等」 放射線施設の事故時に対する対策の整備状況 宮坂和男(北海道大学アイソトープ総合センター) 他3件 ・ 特別講演 「札幌市が策定予定の札幌市地域防災総合計画の一部の放射線事故に対する消防局の対応について」 札幌市における放射性同位元素等事故対策 御園生和義(札幌市消防局)
	6	1	第22期の発足。第10代部会長に大崎進就任
	6	8	北海道支部「平成14年度原子力オープンスクール」を北海道大学大学院工学研究科(札幌)で開催(主催：日本原子力学会北海道支部，共催：主任者部会北海道支部，北海道大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻) ・ 講演 とっても身近な放射線 岡田往子(武蔵工業大学) ・ 霧箱実験 ・ 45MeV直線型電子加速装置および電子顕微鏡見学

年 月 日	部 会 活 動 他
2002 6 28	東北支部放射線管理実務セミナーを仙建ビル(仙台)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者21名) 「密封線源施設の測定・管理」 ・ 管理・密封線源取扱施設の測定 馬場護(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター) ・ 密封線源取扱施設の管理事例紹介 板倉廣隆(丸三製紙(株)) ・ 密封線源の供給について 五味邦博(日本アイソトープ協会) ・ 話題提供 ECDガスクロマトグラフの開発 安田昌門((株)島津製作所)
7 1	委員会活動報告「組織化推進委員会の役割を終えて―主任者アンケート調査結果を中心に―」をIsotope Newsへ掲載
8 23	放射線審議会基本部会報告書(案)「規制免除について―国際基本安全基準における規制免除レベルの国内制度への取り入れ検討結果―」に対し、5項目の意見を文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室基準係へ提出 ・ 概要 Isotope News(2002.11)
9 20	中部支部施設見学会・第15回支部交流会を(財)若狭湾エネルギー研究センター、核燃料サイクル開発機構高速増殖炉もんじゅ建設所(敦賀)で開催(参加者21名)
9 27	北海道支部施設見学会を北海道電力(株)泊発電所(泊村)、北海道原子力防災センター(共和町)で開催(参加者29名)
10 1	委員会活動報告「放射線管理技術検討委員会 透過率ワーキンググループ報告および飛散率ワーキンググループ報告」をIsotope Newsへ掲載
10 18-19	第10回中国・四国支部主任者研修会を四国電力(株)総合研修所(高松)ほかで開催 ・ 最近の放射線安全行政の動向 吉田重信(文部科学省) ・ 主任者部会の今後の方向 大崎進(九州大学アイソトープ総合センター) ・ 特別講演 環境放射線の計測―徳島大学での試み― 桑折範彦(徳島大学総合科学部) ・ 見学施設 原子力発電技術機構多度津工学試験所(香川)
11 1	「主任者ニュース」第8号を刊行
11 7-8	平成14年度主任者年次大会(第43回主任者研修会)をメルパルク大阪(大阪)で開催(参加者421名)
11 29	第10回九州支部主任者研修会を長崎大学アイソトープ総合センター(長崎)で開催(参加者37名) ・ 放射性同位元素等取扱事業所での火災等事故への備え 西垣好和(旭化成(株)) ・ 法人化により放射線管理はどのように変わるか? 遠藤正志(東京大学アイソトープ総合センター) ・ 放射線内部被ばくと甲状腺がん; チェルノブイリの教訓 山下俊一(長崎大学医学部附属原爆後障害医療研究施設) ・ 見学施設 長崎大学アイソトープ総合センター
12 13	第13回関東主任者セミナーを一橋記念講堂(東京)で開催(共催：RI廃棄物分科会)(参加者47名) 「RI廃棄物管理の現状と動向」 ・ 協会を中心としたRI廃棄物管理の現状と動向 古川修(日本アイソトープ協会) ・ RI廃棄物処分の現状と動向 北田哲夫((財)原子力研究バックエンド推進センター) ・ 原子力発電所から発生する低レベル廃棄物の処理処分技術 小林康利(日本原燃(株)) ・ クリアランスの現状と動向 大越実(日本原子力研究所) ・ 今後のRI廃棄物分科会運営方法について (会場参加者によるフリーディスカッション)
2003 1 16	第11回近畿支部主任者研修会・交流会をエルおおさか(大阪)で開催(参加者53名) 「事故・トラブル発生時の対応」―事例に学ぶ― ・ 事例紹介 線源所在不明事故における対応 高淵雅廣(大阪医科大学機器共同利用センター) 他3件 ・ 総合討論 ・ 話題提供 人は誰でも間違える 大崎進(九州大学アイソトープ総合センター) ・ ディスカッション
1 24	中部支部勉強会「放射線取扱施設内で事故や火災が発生したときの対応について」・第16回支部交流会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(参加者50名) ・ 最近の事例と届け出事故について 石田正美(文部科学省) ・ 平常時の事故に対する心構え 角田成正(元 山之内製薬(株)) ・ 事故が起きたときの対応 川上猛雄((株)日本ラジオアイソトープ実験支援機構) ・ 総合討論
1 31	東北支部放射線管理実務セミナーを東北学院同窓会館(仙台)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者20名) 「放射線測定器(個人線量計・サーバイメータ)による測定」

年 月 日			部 会 活 動 他
2003	1	31	・ガラス線量計による個人被ばく線量の測定及び管理 寿藤紀道((株)千代田テクノル) ・OSLによる個人被ばく線量の測定及び管理 鈴木朗史(長瀬ランダウア(株)) ・サーベイメータ・ポケット線量計の使用方法和点検校正 梁田哲夫(アロカ(株)) ・サーベイメータ・環境線量計を用いた環境測定 石倉剛(富士電機(株))
	2	19	第14回関東主任者セミナーを一橋記念講堂(東京)で開催(共催：放射線計測分科会)(参加者73名) ・独立行政法人化に伴う電離則による管理について 榎野順三(厚生労働省) ・管理に相応しい作業環境放射能計測機器とは 鈴木崇彦(東京大学医学部附属放射線研究施設) ・最近の作業環境放射能計測機器① 青木功二(アロカ(株)) ・最近の作業環境放射能計測機器② 高橋修一(セイコー・イージーアンドジー(株)) ・作業環境放射能測定の実際 松村一博((株)日本環境調査研究所)
	3	26	平成14年度北海道地区放射線安全管理研究会(北海道支部)を札幌ガーデンパレス(札幌)で開催(共催：北海道地区大学等放射線施設協議会，大学等放射線施設協議会北海道支部，後援：日本放射線安全管理学会)(参加者42名) ・電離放射線障害防止法等の諸手続きについて 田中国司(北海道労働局) ・北海道地区の大学における定義数量(3.7MBq)以下の密封線源の保有状況 宮坂和男(北海道地区大学等放射線施設協議会会長) ・現在規制されていない3.7MBq以下の密封線源の管理 大西俊之(大学等放射線施設協議会北海道支部長) ・放射性同位元素等取扱事業所での火災事故等への備え 西垣好和(旭化成(株))
	5	23	近畿支部勉強会「法令改正により何かわかるか？(法令改正の最新情報)」を非破壊検査ビル(大阪)で開催(主催：(財)電子科学研究所ほか，後援：主任者部会近畿支部ほか)(参加者160名) ・基調講演 法令改正の概要 石田正美(文部科学省) ・何が変わり今後の対応はどうすればよいか - 大学関係 五十棲泰人(京都大学放射性同位元素総合センター) - 病院関係 井深啓次郎(近畿医療技術専門学校) - 製薬関係 大河原賢一(塩野義製薬(株)) - 密封小線源関係 東泰彦(富士電機(株)) - 非破壊検査関係 鈴木力雄(日本工業検査(株)) - 予防規定・行為基準・廃棄物・検査体制等 辰巳奇男(近畿大学医学部) ・パネル・ディスカッション
	6	7	北海道支部「平成15年度原子力オープンスクール」を北海道大学大学院工学研究科(札幌)で開催(主催：日本原子力学会北海道支部，共催：主任者部会北海道支部，北海道大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻) ・講義 放射線の医療への応用 志賀哲(北海道大学医学部附属病院)(参加者26名) ・体験実験 「放射線が目に見える」霧箱の作製と放射線の観察(参加者31名) ・公開実験 「放射線を止めるのに役立つ物質は？」
	6	17	放射線安全規制検討会中間報告書(案)「国際免除レベルの法令への取り入れの基本的考え方について」に対し，4項目の意見を文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全法制準備室へ提出 ・概要 Isotope News(2003.8)
	8	7-8	中国・四国支部「青少年のための科学の祭典第9回広島大会」に出展(日本原子力学会中国・四国支部，中国地域エネルギーフォーラムとの合同出展) 「霧箱を使って放射線・宇宙線を見てみよう」
	8	25	近畿支部「放射性物質災害時における警備活動研修会」を高槻市消防本部(高槻)で開催(受講者50名) ・放射線・放射能の基礎 矢鋪祐司(日本たばこ産業(株)) ・放射線測定と人体への影響 高淵雅廣(大阪医科大学機器共同利用センター) ・放射線関連法令 川上猛雄((株)日本ラジオアイソトープ実験支援機構) ・質疑応答とフリートーク 木村捷二郎(大阪薬科大学)
	9	1	「主任者ニュース」第9号を刊行
	9	19	中部支部施設見学会・支部交流会を国立療養所中部病院長寿医療研究センター(愛知)ほかで開催(参加者27名) ・見学施設 国立療養所中部病院長寿医療研究センター サイクロトロン，PET施設 ほか
	10	3-4	第7回バーデンゼミナール(東北支部)を東北大学，秋保グランドホテル(秋保温泉)(仙台)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者19名) ・核理学研究と放射線管理について 笠木治郎太，大槻勤(東北大学大学院理学研究科) ・東北大学における放射線管理について 山本政彦(東北大学医学部ラジオアイソトープセンター) ・見学施設 東北大学大学院理学研究科原子核理学研究施設，医学部ラジオアイソトープセンター

年 月 日			部 会 活 動 他
2003	10	10	第11回九州支部主任者研修会を熊本大学生命資源研究・支援センター、アイソトープ総合施設(熊本)で開催 ・挨拶 堀内正公(熊本大学アイソトープ総合施設長) ・遺伝子改変マウスについて 荒木正健(熊本大学生命資源研究・支援センター) ・国際基準取り入れに伴う放射線障害防止法の改正について 斉藤卓也(文部科学省) ・九州における環境放射能のレベルと変動 百島則幸(熊本大学理学部) ・見学施設 熊本大学生命資源研究・支援センター
10	17		第11回中国・四国支部主任者研修会(中国・四国地区放射線安全研修会)を広島商工会議所(広島)で開催(共催：大学等放射線施設協議会中国・四国地区) ・最近の放射線安全行政の動向 斉藤卓也(文部科学省) ・国際免除レベル等の法令取り入れ 山本幸佳(大阪大学名誉教授) 他3件 ・特別講演 地球環境下における放射線壊変生成物ならびに核分裂生成物の移行挙動 日高洋(広島大学大学院理学研究科) ・総合討論
11	7		北海道支部主任者研修会を北海道大学アイソトープ総合センター(札幌)ほかで開催(参加者21名) ・札幌市防災計画について 的場忠敏(札幌市消防局) ・放射線の医療への利用 加藤千恵次(北海道大学医学部) ・見学施設 北海道大学附属病院PET施設
11	13-14		平成15年度主任者部会年次大会(第44回放射線管理研修会)をタワーホール船堀(東京)で開催(参加者453名)
12	8		近畿支部「放射性物質災害時における警備活動研修会」を高槻市消防本部(高槻)で開催 放射能の基礎, 人体への影響, 関係法令, 測定器実習
2004	1	30	中部支部勉強会「国際免除レベルの法令への取り入れについて」・支部交流会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(参加者55名) ・法令改正の最新情報について 石田正美(文部科学省) ・自然放射線源(NORM)の規制について 小佐古敏荘(放射線審議会基本部会長) ・法令改正および自然放射線源規制の影響について 西澤邦秀(日本放射線安全管理学会) ・総合討論
2	14		「医療における放射線安全・防護についてのパネル討論会」を国立保健医療科学院白金庁舎(東京)で開催(主催：日本保健物理学会, 共催：日本放射線技術学会, 日本医学物理学会, 日本医学放射線学会, 日本放射線安全管理学会, 主任者部会) ・我が国における放射線の事故・トラブル統計の報告 石田正美(文部科学省) ・医学放射線物理連絡協議会の活動報告 遠藤真広(放射線医学総合研究所) ・パネル討論「医療における放射線安全・防護について考える」 太田勝正(長野県看護大学, 日本保健物理学会) ほか
3	12		東北支部放射線管理実務セミナーをメルパルク仙台(仙台)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者70名) ・国際規制免除取り入れによる法改正について 山本幸佳(大阪大学名誉教授) ・事業所における労働安全衛生法への対応について 本田一明(東北電力(株)女川原子力発電所) ・個人管理における法律(電離則, 医療法, 障防法)への対応について 大登邦充((株)千代田テクノル)
3	16		北海道支部主任者研修会を北海道大学アイソトープ総合センター(札幌)で開催(共催：北海道地区大学等放射線施設協議会, 大学等放射線施設協議会, 日本放射線安全管理学会)(参加者43名) ・挨拶 加茂直樹(主任者部会北海道支部長, 北海道大学大学院薬学研究科) ・講演 作業環境測定に係わる各大学の取組みについて 大崎進(主任者部会部会長, 九州大学アイソトープ総合センター) ・討論
6	1		第23期の発足。第11代部会長に片田元己就任
6	5		北海道支部「平成16年度原子力オープンスクール」を北海道大学大学院工学研究科(札幌)で開催(主催：日本原子力学会北海道支部, 共催：主任者部会北海道支部, 北海道大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻)(参加者19名) ・講演 知っていますか？市民生活とエネルギー 島津洋一郎(北海道大学大学院工学研究科) ・実験 霧箱の作製 ・見学施設 電子線加速器, 電子顕微鏡, MHD発電実験装置
7	1		法令検討委員会報告書「放射線取扱主任者のあり方」を Isotope News へ掲載
7	6		障害防止法改正セミナー(近畿支部)を大阪科学技術センター(大阪)で開催((財)原子力安全技術センターと共同主催, 協賛：放射線障害防止中央協議会)(参加者277名)

年 月 日	部 会 活 動 他
2004 7 6	・放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律の改正について 石田正美(文部科学省) ・放射線取扱主任者部会員によるパネル報告 川上猛雄((株)日本ラジオアイソトープ実験支援機構) ほか
7 15	障害防止法改正セミナー(関東支部)を日本科学未来館みらいCANホール(東京)で開催((財)原子力安全技術センターと共同主催, 協賛:放射線障害防止中央協議会)(参加者291名) ・放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律の改正について 茶山秀一(文部科学省) ・放射線取扱主任者部会員によるパネル報告 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ほか
8 9	中国・四国支部「青少年のための科学の祭典第10回広島大会」に出展(日本原子力学会中国・四国支部, 中国地域エネルギーフォーラムとの合同出展) 「霧箱を使って放射線・宇宙線を見てみよう」
8 23	近畿支部「放射性物質災害時における警備活動研修会」を高槻市消防本部(高槻)で開催 放射能の基礎, 人体への影響, 関係法令, 測定器実習
9 1	「主任者ニュース」第10号を刊行
9 24	中部支部施設見学会・第17回支部交流会を核燃料サイクル開発機構東濃鉱山と核融合科学研究所(土岐)で開催(参加者27名)
9 28	「政省令改正への要望」を文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室へ提出 ・概要 Isotope News(2004.12)
10 15	第12回中国・四国支部主任者研修会を広島国際学院大学立町キャンパス(広島)で開催 ・放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律の改正について 小原薫(文部科学省) ・放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律の改正に対するメーカーの対応 青木功二(アロカ(株)) ・主任者部会の今後の方向と中国・四国支部に期待すること 斎藤直(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター) ・特別講演 人体模擬ファントム中におけるHIMAC炭素線生成フラグメントのマイクロドシメトリ 遠藤暁(広島大学原爆放射線医科学研究所)
10 22	第12回九州支部主任者研修会を九州大学アイソトープ総合センター(福岡)で開催 ・挨拶 松田尚樹(長崎大学先端生命科学研究支援センター) ・放射線治療における過剰・過小照射事故の経験は今後のリスクマネジメントにどう生かせるか 早瀬尚文(久留米大学医学部) ・放射線を利用した納豆樹脂の開発とその応用展開 原敏夫(九州大学大学院農学研究院) ・ICRP新旧勧告の相違点 宮崎振一郎(関西電力(株)) ・見学施設 九州大学アイソトープ総合センター箱崎地区実験室, 理学部附属タンデム加速器実験室, 量子線照射実験室 ほか
11 4-5	平成16年度主任者部会年次大会(第45回放射線管理研修会)を岩手県民会館(盛岡)で開催(参加者377名)
11 19	北海道支部施設見学会を北海道電力(株)総合研究所(江別)で開催(参加者23名)
11 30	近畿支部「放射性物質災害時における警備活動研修会」を高槻市消防本部(高槻)で開催(受講者50名) 放射能の基礎, 人体への影響, 関係法令, 測定器実習
2005 1 28	中部支部研修会「未登録放射性物質等の対応および管理について」・第18回支部交流会を名古屋商工会議所(名古屋)で開催(後援:中部原子力懇談会)(参加者62名) ・放射性同位元素等に関する保管管理の徹底に関する通知に基づく点検結果及び今後の対応について 松室寛治(文部科学省) ・未登録放射性同位元素の発見-2つの事例における事業所の対応- 庄司美樹(富山医科薬科大学生命学実験センター) ・少量の核燃料物質の管理について 葛谷暢重(文部科学省) ・名古屋大学における核燃料物質の管理 柚原淳司(名古屋大学核燃料管理施設) ・事前質問に対する質疑応答
2 22	北海道支部講演会を北海道大学アイソトープ総合センター(札幌)で開催(主催:北海道地区大学等放射線施設協議会, 共催:主任者部会北海道支部)(参加者46名) ・最近の放射線安全行政の動向-新法令の動向と線源の管理- 小原薫(文部科学省)
3 4	第15回関東主任者セミナー「法令改正を目前にして」をタワーホール船堀(東京)で開催(参加者241名) ・法令改正の概要 茶山秀一(文部科学省) ・法令改正への対応(法的手続き等) 遠藤正志(文部科学省) ・対応の要点整理と担当官との質疑 杉山芳徳(全国検査サービス(株)) ほか

年 月 日			部 会 活 動 他
2005	3	18	第12回近畿支部主任者研修会(大学等放射線施設協議会近畿地区研修会)・交流会を京都大学放射性同位元素総合センター教育訓練棟(京都)で開催(共催：大学等放射線施設協議会近畿支部)(参加者142名) 「国際基準取り入れに伴う放射線障害防止法の改正の要点－理解と対応策の検討のため－」 ・法改正の根拠：国際基本安全基準の免除レベルについて 山本幸佳(大阪大学名誉教授) ・放射線障害防止法の改正について 茶山秀一(文部科学省) ・法改正に伴う放射線施設の対応 - 液体シンチレーションカウンターの校正線源に対する対応 青木功二(アロカ(株)) - 密封小線源に対する対応 木村俊夫(日本アイソトープ協会) - 放射線取扱主任者がなすべきこと 川上猛雄(主任者部会近畿支部長) ・変更承認申請書等に対する対応(遮へい・濃度計算の方法) 戸崎充男(京都大学放射性同位元素総合センター)
5	10		中部支部研修会(放射線障害防止法改正に関する研修会)を名古屋大学野依記念学術交流館(名古屋)で開催(主催：大学等放射線施設協議会北陸・東海支部，共催：中部原子力懇談会，主任者部会中部支部)(参加者88名) ・放射線障害防止法改正に伴う具体的手続きについて 遠藤正志(文部科学省) ・改正法令の運用事例 杉山和幸(文部科学省) ・改正法令下におけるRIの頒布と旧法令下における規制対象外密封線源の扱い 木村俊夫(日本アイソトープ協会)
6	4		北海道支部「平成17年度原子力オープンスクール」を北海道大学大学院工学研究科(札幌)で開催(主催：日本原子力学会北海道支部，共催：主任者部会北海道支部，北海道大学大学院工学研究科量子理工学専攻)(来訪者238名) ・講演 スイスにおけるエネルギーと環境の考え方 杉山憲一郎(北海道大学大学院工学研究科)(参加者16名) ・実験 霧箱の作製 ・見学施設 電子線加速器，電子顕微鏡，MHD発電実験装置
7	29		第16回関東主任者セミナー「法令改正が施行されて」をタワーホール船堀(東京)で開催(参加者84名) ・改正の概要 杉山和幸(文部科学省) ・実際の手続き 遠藤正志(文部科学省) ・検認制度 近藤龍雄((財)原子力安全技術センター) ・販売と集荷 二ツ川章二(日本アイソトープ協会) ・各事業所の対応と質疑 - 鈴木崇彦(東京大学大学院医学系研究科) ほか
9	1		「主任者ニュース」第11号を刊行
9	2		東北支部放射線管理実務セミナーを宮城県民会館(仙台)で開催(共催：大学等放射線施設協議会東北地区，東北放射線科学センター)(参加者55名) ・放射線障害防止法及び関係政省令等の改正について 塚本圭二(文部科学省) ・改正法令への具体的対応 - 非密封同位元素使用施設での対応 佐山洋(弘前大学) - 密封線源使用施設での対応 齋藤実(東北電力(株)) - 加速器使用施設での対応 大槻勤(東北大学) - アイソトープ協会での対応 木村俊夫(日本アイソトープ協会)
9	30		中部支部施設見学会・支部交流会を中部電力(株)浜岡原子力発電所(静岡)ほかで開催(参加者22名)
10	14-15		第8回バーデンゼミナール(東北支部)をホテル大観(磐温泉)(盛岡)ほかで開催(共催：東北放射線科学センター) ・高温超電導技術の最近の進展について 腰塚直己((財)国際超電導産業技術研究センター) ・寒冷環境に生きる生物の適応機構を探る－岩手大学COEプログラムの挑戦－ 上村松生(岩手大学農学部) ・放射線安全行政について 小原薫(文部科学省) ・岩手山麓の湧水及び温泉水に含まれる微量元素・ラドン濃度について 二ツ川章二(日本アイソトープ協会) ・見学施設 (財)国際超電導産業技術研究センター超電導工学研究所盛岡超電導技術応用研究所 日本アイソトープ協会滝沢研究所(滝沢村)
10	28		第13回九州支部主任者研修会を大分県立看護科学大学(大分)で開催 ・放射線防護の現状と課題 甲斐倫明(大分県立看護科学大学) ・PET検査の実際 金子憲一郎((社)上人会メディカルイメージングセンター) ・法令改正後の対応状況について 遠藤正志(文部科学省)

年	月	日	部 会 活 動 他
2005	10	28	・ 見学施設 大分県立看護科学大学
	11	11	北海道支部施設見学会を日本メジフィジックス(株)札幌PETラボ工場(札幌)で開催(参加者30名)
	11	17-18	平成17年度主任者部会年次大会(第46回放射線管理研修会)を広島県民文化センター(広島)で開催(参加者433名)
2006	1	17	日本アイソトープ協会主催による第1回「放射線取扱主任者定期講習(使用、販売・賃貸)」を文京グリーンコート(東京)で開催(受講者46名)
2006	1	20	平成17年度中部支部研修会「法令改正への対応と最近の放射線防護の話題について」・第19回支部交流会を東桜会館(名古屋)で開催(後援：中部原子力懇談会)(参加者48名) ・ 法令改正後の現場における問題点とその対応について 岩田順一(文部科学省) ・ 定期確認の概要、その留意点と対応について 阿南徹((財)原子力安全技術センター) ・ 医療放射線防護の現状と課題 大野和子(愛知医科大学) ・ ICRP 2005 会合の概要 石樽信人(名古屋大学医学部)
	2	3	北海道支部講演会を北海道大学百年記念会館(札幌)で開催(主催：北海道地区大学等放射線施設協議会、共催：主任者部会北海道支部、日本放射線安全管理学会)(参加者45名) ・ 法改正に伴う具体的な現場の対応 宮田仁(文部科学省)
	2		法令検討委員会報告書「事業所における放射線障害の防止のために一事業主の責務と放射線取扱主任者のあり方について」をまとめ、全国の事業所長宛に配布 ・ 概要 Isotope News(2006.4)
	3	3	第13回近畿支部主任者研修会・交流会を大阪大学ラジオアイソトープ総合センター(吹田)ほかで開催(共催：大阪大学ラジオアイソトープ総合センター)(参加者68名) ・ 下限数量活用の実状と現時点での国内の動き 杉山和幸(文部科学省) ・ RIの入手から廃棄まで ニツ川章二、樋脇修一(日本アイソトープ協会) ・ 湧き出し線源の後処理やその他のトラブルへの対応 斎藤直(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター) ・ ボイリング・ディスカッション
	6	1	第24期の発足
	6	3	北海道支部「平成18年度原子力オープンスクール」を北海道大学大学院工学研究科(札幌)で開催(主催：日本原子力学会北海道支部、共催：主任者部会北海道支部、北海道大学大学院工学研究科量子理工学専攻)(来訪者239名) ・ 講演 身近な放射線のはなし 住吉孝(北海道大学大学院工学研究科)(参加者22名)
	9	1	「主任者ニュース」第12号を刊行
10	13		第13回中国・四国支部主任者研修会・情報交換会をピュアリティまきび(岡山)で開催(参加者41名) ・ 法改正後の状況と安全規制の状況について 岩田順一(文部科学省) ・ 教育訓練の計画・実施・効果一徳島大学の場合 三好弘一(徳島大学アイソトープ総合センター) ・ 食品照射の現状と課題 多田幹郎(中国学園大学) ・ 原子物理学の父・仁科芳雄博士一郷土の先人、今ふるさとに生きる一 佐藤泰徳(科学振興仁科財団仁科会館) ・ インターネットによる発注システム(J-RAM)の紹介 (日本アイソトープ協会)
10	16		平成18年度中部支部施設見学会・支部交流会を浜松ホトニクス(株)(静岡)で開催(共催：理工学部会)(参加者27名) ・ 見学施設 浜松ホトニクス(株)豊岡製作所(磐田)、中央研究所、PETセンター(浜松)
11	9-10		平成18年度主任者部会年次大会(第47回放射線管理研修会)を長崎ブリックホール(長崎)で開催(参加者369名)
2007	1	26	平成18年度中部支部研修会「放射線取扱い施設の防災・テロ対策」・第20回支部交流会を東桜会館で開催(後援：中部原子力懇談会)(参加者40名) ・ 放射線源の安全とセキュリティに係る検討について 岩田順一(文部科学省) ・ 放射線施設へのテロ攻撃に備えて(警備の現状と今後の対応) 和智勉(警察庁警備局) ・ 近畿支部における災害・テロ対策活動の紹介 赤木清(関西医科大学) ・ 放射線利用施設における緊急連絡網と防災訓練ビデオ上映 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・ インターネットによる発注システム(J-RAM)の紹介 (日本アイソトープ協会)
	2	2	北海道支部講演会(北海道地区大学等放射線施設協議会講演会)を北海道大学アイソトープ総合センター(札幌)で開催(主催：北海道地区大学等放射線施設協議会、共催：主任者部会北海道支部、北海道大学アイソトープ総合センター、後援：日本放射線安全管理学会)(参加者46名) ・ 放射線源障害防止法の施行状況について 渡邊英一郎(文部科学省)
	2	22	東北支部放射線管理実務セミナーを仙台市情報産業プラザ アエル(仙台)で開催(共催：大学等放射線施設協議会、東北放射線科学センター)(参加者29名)

年 月 日			部 会 活 動 他
2007	2	22	・宮城県沖地震に対する危機管理 太田千尋(仙台市消防局) ・最近の変更申請と管理区域外使用の現状について 佐藤伊佐務(東北大学金属材料研究所), 太田正市(東北大学医学部RIセンター), 山下順助(秋田大学医学部) ・定期確認の内容と経験 宮田孝元(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター), 高橋義則(東北大学大学院工学研究科) ・インターネットによる発注システム(J-RAM)の紹介 山本周子(日本アイソトープ協会)
6	9		北海道支部「平成19年度原子力オープンスクール」を北海道大学工学部(札幌)で開催(主催:日本原子力学会北海道支部, 共催:主任者部会北海道支部, 北海道大学大学院工学研究科)(来訪者139名) ・講演 エネルギーと原子力 板垣正文(北海道大学大学院工学研究科)(参加者38名)
7	27		大学等放射線施設協議会第3回九州・沖縄地区研修会を産業医科大学龍ヶ池会館(北九州)で開催(主催:大学等放射線施設協議会, 共催:主任者部会)(参加者44名) 「放射性物質取扱作業室の作業環境測定—その合理的な実施を考える」 ・教育講演 放射線安全行政について 梶田啓悟(文部科学省) 産業医学から見た作業環境測定 樫田尚樹(産業医科大学産業保健学部) ・作業環境測定機関による作業環境測定の現状 アイソトープ施設の作業環境測定(現状報告) 一見芳明((株)千代田テクノル) 作業環境測定の現状 古賀喜代治((株)アトックス) ・放射性物質取扱作業室の現場における作業環境測定の意義 鳥取大学における作業環境測定 木村宏二(鳥取大学生命機能研究支援センター) 法人化に伴う作業環境測定の実施—その意義と戸惑い— 福徳康雄(鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター) 定期的な作業環境測定の結果及び実験中における空气中濃度の解析 高椋光博(熊本大学生命資源研究・支援センター) 使用実績に基づく作業室中放射能濃度算出結果から作業環境測定を考える 吉田正博(長崎大学先端生命科学支援センター) ・法の精神を遵守した合理的な作業環境測定を考える(パネルディスカッション)
8	1		「主任者ニュース」第13号を刊行
9	7		平成19年度中部支部施設見学会・支部交流会を日本メジフィジックス(株)愛知ラボ(豊田)で開催
9	14-15		第9回バーデンゼミナール(東北支部)をアイソトープ協会滝沢研究所(滝沢村), 八幡平ハイツ(岩手)で開催(共催:東北放射線科学センター) ・PET施設の改修と変更許可申請 畠山智(日本アイソトープ協会) ・生命・環境・地球科学におけるPIXEの役割—世界的環境問題を中心に— 世良耕一郎(岩手医科大学) ・イメージングプレートによる線量測定 大内浩子(東北大学大学院薬学研究科) ・見学施設 日本アイソトープ協会滝沢研究所
10	4-5		平成19年度主任者部会年次大会(第48回放射線管理研修会)をかでの2.7(道民活動センタービル)(札幌)で開催(参加者341名)
10	26		第14回中国・四国支部主任者研修会・情報交換会を岡山大学創立五十周年記念館(岡山)で開催(参加者34名) ・放射線安全規制の現状と課題 梶田啓悟(文部科学省) ・管理区域外での低レベルRIの研究使用・許可申請と運用 長谷川豊司((株)大塚製薬工場) ・定期検査・定期確認のポイント 須田博文(香川大学研究推進機構総合生命科学研究センター) ・抗酸化食品(薬)と生活習慣病予防 高山房子(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(薬学系)) ほか
11	2		第14回九州支部主任者研修会・交流会を鹿児島大学医学部鶴稜会館(鹿児島)で開催(参加者35名) ・放射線安全規制の現状と課題 梶田啓悟(文部科学省) ・低線量放射線被ばくの健康影響 秋葉澄伯(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科) ・宇宙環境医学 馬嶋秀行(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科) ・見学施設 鹿児島大学病院
2008	1	18	中部支部研修会「放射線取扱い施設における作業環境測定の現状と問題点」・支部交流会を東桜会館(名古屋)で開催(後援:中部原子力懇談会)(参加者47名) ・教育講演 最近の放射線安全行政について 渡邊英一郎(文部科学省) ・作業環境測定について 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・作業環境測定機関の立場から 泉雄一((株)日本環境調査研究所)

年 月 日			部 会 活 動 他
2008	1	18	・大学における作業環境測定の一例 鑛山宗利(岡山大学) ・名古屋大学病院から医療施設の例 亀山裕司(名古屋大学) ・作業環境測定(空气中濃度)アンケート調査 河野孝央(核融合科学研究所)
2	1		近畿支部主任者研修会・懇親会を大阪科学技術センター(大阪)で開催(参加者74名) ・放射線管理行政の最新の動向 梶田啓悟(文部科学省) ・ICRP新勧告一作成の経緯と放射線防護の枠組 佐々木康人(ICRP主委員会委員, 国際医療福祉大学) ・RIの供給から廃棄までの諸問題 ニツ川章二(日本アイソトープ協会) ・パネル1「現場管理の話題から一日頃の疑問・悩みを語り尽くそう」 少量非密封の管理区域外使用 木村捷二郎(大阪薬科大学名誉教授) 定期確認を受けるポイント 須田博文(香川大学) 地震時の対応(阪神淡路大震災の経験と震度4以上の自主点検) 安岡由美(神戸薬科大学) 作業環境測定(空气中濃度測定)と内部被ばく線量の算定 倉橋和義(京都大学) ・パネル2「主任者には何が求められ、何をすべきか」 主任者の責任と役割(病院) 赤木清(関西医科大学) 主任者の責任と役割(工業利用, 非破壊検査) 釜田敏光(ポニー工業(株)) 主任者の責任と役割(大学, 研究所) 杉浦紳之(近畿大学原子力研究所) 主任者部会に求められるもの 豊田亘博(主任者部会近畿支部長)
2	8		北海道支部講演会を北海道大学アイソトープ総合センター(札幌)で開催(主催:北海道地区大学等放射線施設協議会, 共催:北海道大学アイソトープ総合センター, 主任者部会北海道支部)(参加者47名) ・アイソトープ利用研究の新しい潮流 分子イメージング 久下裕司(北海道大学大学院医学研究科) 有効で安全なアイソトープ内用療法実現のために 秋澤宏行(千葉大学薬学部) ・最近の放射線安全行政の動向 梶田啓悟(文部科学省)
3	14		東北支部放射線管理実務セミナーを仙台商工会議所(仙台)で開催(共催:大学等放射線施設協議会, 東北放射線科学センター)(参加者34名) ・最近の文科省立入について 山本政彦(東北大学医学部RIセンター), 大内浩子(東北大学大学院薬学研究科) ・定期確認の内容と経験 大槻勤(東北大学原子核理学研究施設) ・大学等放射線施設協議会「緊急時対応マニュアル作成の手引き」 馬場護(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター) ・放射性廃棄物の処理処分の現状 古川修(日本アイソトープ協会) ・地震予知研究の現状と宮城県沖地震 松澤暢(東北大学大学院理学研究科)
6	1		第25期の発足。第12代部会長に斎藤直就任
6	7		北海道支部「平成20年度原子力オープンスクール」を北海道大学工学部(札幌)で開催(主催:日本原子力学会北海道支部, 共催:主任者部会北海道支部, 北海道大学大学院工学研究科) ・講演 地球環境形成の物語 佐藤正知(北海道大学大学院工学研究科)
9	1		「主任者ニュース」第14号を刊行
9	12		中部支部施設見学会・支部交流会を名古屋大学医学部保健学科(名古屋)で開催(参加者29名) ・あなたも検査官 ガイド:緒方良至, 青山隆彦, 津坂昌利, 小山修司(名古屋大学医学部保健学科) 講評:高橋範行(日本アイソトープ協会) ・J-RAM, J-FORUMの紹介 鴨下彰範, 余吾和光(日本アイソトープ協会)
10	9		第15回中国・四国支部主任者研修会・情報交換会を岡山大学創立五十周年記念館(岡山)で開催(参加者28名) ・最近の放射線安全行政について 前田洋介(文部科学省) ・非破壊検査とトラブル対応例 堀田雅雄((株)シーエックスアール) ・重イオンビーム育種技術の開発とそれを用いた新品種育成 阿部知子(理化学研究所仁科加速器センター) ・ラジオ波治療の最先端 金澤右(岡山大学医歯薬学総合研究科)
10	31		第15回九州支部主任者研修会・交流会を宮崎大学医学部総合教育研究棟(宮崎)で開催(参加者35名)「放射線施設の危機管理」 ・放射線源のセキュリティと放射線源登録管理制度について 石井忠(文部科学省) ・NBCテロの危機管理ー放射線の専門家はどのように関わっていくべきかー 郡山一明((財)救急振興財団救急救命九州研修所)

年	月	日	部 会 活 動 他
2008	10	31	・パネルディスカッション「宮崎大学で発生した管理区域外での放射性同位元素による汚染について」 - 事例報告ー管理区域外の汚染の発見 - 後藤稔男(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター) - 大学側の対応報告 - 水井義武(宮崎大学学術研究協力部) - 事件の経緯説明 - 黒岩誠(宮崎県警) ほか ・見学施設 宮崎大学医学部附属病院リニアック室, PET検査室, RI検査室
11	7		北海道支部施設見学会を北海道電力(株)泊発電所3号機(泊)で開催(参加者27名)
11	13-14		平成20年度主任者部会年次大会(第49回放射線管理研修会)を中電ホール(名古屋)で開催(参加者356名)
2009	1	30	平成20年度中部支部研修会「放射線施設における地震体験と対策について」・支部交流会を東桜会館(名古屋)で開催(後援:中部原子力懇談会)(参加者51名) ・放射性同位元素等の規制に関わる最近の動向 川末朱音(文部科学省) ・緊急地震速報! 20秒後に震度6強の地震が来ますーあなたは、どう対応しますか? 宮武秀男(京都大学放射性同位元素総合センター) ・新潟県中越沖地震に伴う原子力発電所での放射線管理上の教訓 鈴木晃(東京電力(株)) ・最近の地震と活断層研究ー原子力との関わり合い 山崎晴雄(首都大学東京) ・総合討論
	2	6	北海道支部講演会(北海道地区大学等放射線施設協議会アイソトープ利用研究会放射線安全管理研修会)を北海道大学百年記念会館(札幌)で開催(主催:北海道地区大学等放射線施設協議会, 共催:北海道大学アイソトープ総合センター, 主任者部会北海道支部, 後援:日本放射線安全管理学会)(参加者44名) ・アイソトープ利用研究会 - 放射性同位元素の医薬品開発への利用: マイクロドージング 佐治英郎(京都大学大学院薬学研究科) - 高レベル放射性廃棄物の地層処分と課題 佐藤正知(北海道大学大学院工学研究科) ・放射線安全管理研修会 - 放射線規制, 最近の話題 村上恭司(文部科学省)
	3	16	東北支部放射線管理実務セミナーを東京エレクトロンホール宮城(仙台)で開催(共催:大学等放射線施設協議会, 東北放射線科学センター)(参加者42名) ・最近の文部科学省立入について 山下順助(秋田大学医学部放射性同位元素センター) ・六ヶ所再処理工場における環境放射能測定 瀧田昭久(日本原燃(株)) ・施設の廃止・改修工事の経験 佐藤和則(東北大学加齢医学研究所) ・最近の事故事例に学ぶ 佐山洋(弘前大学アイソトープ総合実験室) ・大学等放射線施設協議会の活動報告 大内浩子(東北大学大学院薬学研究科) ・電離放射線健康診断の解釈と取扱者の健康管理 色川俊也(東北大学保健管理センター)
	6	6	北海道支部「平成21年度原子力オープンスクール」を北海道大学工学部(札幌)で開催(主催:日本原子力学会北海道支部, 共催:主任者部会北海道支部, 北海道大学大学院工学研究科) ・講演 エネルギーって何 島津洋一郎(北海道大学大学院工学研究科) ・原子の不思議体験コーナー(来訪者182名) ・アトムスクール(参加者38名)
	7	14	部会内規を改正し, 第26期支部委員の選出方法を選挙から推薦に変更
	9	1	「主任者ニュース」第15号を刊行
	10	2	平成21年度中部支部施設見学会・支部交流会を名古屋放射線診断財団 東名古屋画像診断クリニック(名古屋)ほかで開催(参加者34名)
	10	16	第16回中国・四国支部主任者研修会・情報交換会を岡山大学自然生命科学研究支援センター光・放射線情報解析部門鹿田施設(岡山)ほかで開催 ・最近の放射線安全行政の動向について 村上恭司(文部科学省) ・日常の放射線安全管理での情報技術の活用 坂口修一(山口大学総合科学実験センター) ・元素マッピング画像解析によるゴッホ<ドービニーの庭>に隠された“黒猫”の発見 下山進(吉備国際大学大学院文化財保存修復学研究科) ・原爆ドームの残留放射能 静間清(広島大学大学院工学研究科)
	10	30	第16回九州支部主任者研修会・交流会を佐賀県立九州シンクロトン光研究センター(鳥栖)で開催 ・最近の放射線安全行政の動向について 遠藤正志(文部科学省)

年 月 日	部 会 活 動 他
2009 10 30	・ 粒子線治療：兵庫の経験 菱川良夫(兵庫県立粒子線医療センター) ・ SAGA-LS光源加速器の現状と今後の計画 江田茂(佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター) ・ 産業分野におけるシンクロトロン光の利用 岡島敏浩(佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター) ・ 見学施設 佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター
10 30-31	第10回バーデンゼミナール(東北支部)をホテル瑞鳳(秋保温泉)(仙台)で開催(共催：東北放射線科学センター)(参加者18名) ・ 放射線計測に関する最近の研究と放射線審議会の最近の動き 中村尚司(東北大学名誉教授) ・ 核医学とNeuroimaging 木之村重男(特定非営利活動法人画像医学と脳健診) ・ 大学における安全衛生について－東北大学医学部研究安全管理室の役割－ 山本政彦(東北大学) ・ 話題提供：各種様式の改正について 佐々木博之((株)日本環境調査研究所) ・ 放射線利用と安全管理 馬場護(東北大学)
11 12-13	平成21年度主任者部会年次大会(第50回放射線管理研修会)をタワーホール船堀(東京)で開催(参加者367名)
2010 1 29	平成21年度中部支部研修会「ICRP 2007年勧告と自然放射線」・支部交流会を東桜会館(名古屋)で開催(後援：中部原子力懇談会)(参加者51名) ・ 最近の放射線安全行政の動向について 村上恭司(文部科学省) ・ ICRP 2007年勧告について 石樽信人(名古屋大学医学部保健学科) ・ 宇宙線による被ばくとその管理 保田浩志(放射線医学総合研究所) ・ NORM/TENORMによる被ばくとその管理 飯本武志(東京大学環境安全本部)
2 8	放射線安全管理研修会・アイソトープ利用研究会を北海道大学学術交流会館(札幌)で開催(主催：北海道大学アイソトープ総合センター，共催：主任者部会北海道支部)(参加者42名) ・ 放射線安全管理研修会 最近の放射線安全行政の動向について 村上恭司(文部科学省) 放射性同位元素等の事故対策 東村丞(北海道総務部危機対策局) ・ アイソトープ利用研究会 地球温暖化に果たす海洋の役割－放射性同位元素を用いた海洋研究の重要性－ 工藤勲(北海道大学大学院水産科学研究院)
3 19	東北支部放射線管理実務セミナーを東北大学金属材料研究所(仙台)で開催(共催：大学等放射線施設協議会東北地区，東北放射線科学センター)(参加者41名) ・ 最近の放射線安全行政の動向について 佐山洋(文部科学省) ・ 東北大学でのRI等一斉点検について 結城秀行(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター) ・ 個人被ばく線量計の原理と取扱 小林育夫(長瀬ランダウア(株)) ・ アルファ線を利用した核医学治療について 鷺山幸信(金沢大学医薬保健研究域保健学科)
注)「主任者部会年次大会」の詳細および「放射線業務従事者のための教育訓練講習会」については、別表に収載した。	

表4. 3 主任者部会総会・年次大会等の開催記録
《第1回（1960（昭和35）年～第50回（2009（平成21）年）》

会 期・会 場・内 容 他	
放射線取扱主任者部会第1回部会総会	
会期	1960(昭和35)年10月11日(火)
会場	学士会館(東京)
内容	1 開会の辞 笥弘毅部会長 2 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長 3 記念講演 1) 改正法律について 亘理信一(科学技術庁原子力局放射線安全課長) 2) 国際アイソトープ会議に出席して 鈴木嘉一(科学技術庁原子力局アイソトープ課長) 4 パネル討論会 1) 安全取扱について 線源利用, 診療, 小規模トレーサー実験室, 野外使用 2) 廃棄物処理について 集荷, 保管, 動物, 廃液・廃気 5 昼食懇談会 事故対策, 教育訓練, 主任者の責務, 記帳 6 映画上映 Living with Radiation (米国大使館提供) 7 昼食懇談会のまとめ 8 事業報告, 新事業計画 笥弘毅部会長 9 懇親会
参加者	350名
概要報告	協会ニュース(1960.10～12)(No.75～77),「第1回部会総会の状況」ほか
放射線取扱主任者部会第2回部会総会	
会期	1961(昭和36)年10月13日(金)
会場	大阪府立放射線中央研究所(大阪)
内容	1 大放研所長挨拶 木村毅一(大阪府立放射線中央研究所長) 2 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長 3 記念講演 1) オークリッジ国立研究所における廃棄物処理状況について 藤井正一(建設省建築研究所) 2) 放射線生物学の諸問題 本城市次郎(大阪大学理学部) 4 昼食懇談会(11:50～13:10, 2会場に分かれて昼食をとりながら討議) 事故対策, 教育訓練, 主任者の責務ほか 5 討論会 1) 被曝線量の管理について 2) 廃棄物処理について 6 昼食懇談会のまとめ 1)個人被曝線量測定についての問題, 2)管理機構上の問題, 3)事故対策の問題, 4)アイソトープ医薬品取扱いの問題, 5)その他 7 見学会(16:45～17:30) 大阪府立放射線中央研究所本館放射実験棟, 線源棟等
参加者	約270名
概要報告	協会ニュース(1961.10～11)(No.87～88),「放射線取扱主任者部会第2回総会の状況」ほか
放射線取扱主任者部会第3回部会総会	
会期	1962(昭和37)年11月9日(金)
会場	私学会館(東京)
内容	1 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長 2 講演会 1) ICRPの新勧告(1962年)について 伊沢正実(放射線医学総合研究所) 2) 関係法令の改正などについて

会 期・会 場・内 容 他

・「医療法施行規則」の考え方および要旨 月橋(厚生省医療局)

・「電離放射線障害防止規則」の改正 土川(労働省労働基準局)

3 安全課長挨拶 吉田正樹(科学技術庁原子力局放射線安全課長)

4 昼食懇談会(11:50~13:40, 参加者の意見を基にして5会場に分かれて討議。昼食付)

5 討論会

1) 現場における放射線管理のあり方(とくに組織機構に関する問題について)

2) 火災対策(「放射線施設の火災対策」手引書を中心として)

6 出版物(手引書)紹介(20分)

放射線とアイソトープ, 密封小線源の取扱

7 昼食懇談会のまとめ(20分)

1)法律関係について(国家試験, 使用許可の迅速化, 主任者の兼任, 原子力局の出先機関), 2)測定器について(一般測定器類, フィルムバッジ), 3)放射線管理について(健康診断の期間などの統一, 健康管理), 4)教育訓練について(従事者教育, 教育訓練場の注意事項), 5)施設の整備について, 6)廃棄物について, 7)主任者手当について, 8)協会および部会に対して

参加者 約250名

概要報告 協会ニュース(1962.11~1963.2)(No.100~103),「放射線取扱主任者部会第3回総会の状況」ほか

放射線取扱主任者部会第4回部会総会

会期 1963(昭和38)年11月5日(火)

会場 私学会館(東京)

内容

1 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長

2 パネル討論会

1) 放射線障害防止法について 丸尾文治(東京大学応用微生物研究所)ほか

2) 中小施設における放射線管理 藤井正一(建設省建築研究所)ほか

3 昼食懇談会(12:40~14:00)

現行法令の問題点など

4 部会員の交歓(自由時間)および法律相談 原子力局係官

5 講演会

1) 放射線障害 山下久雄((財)癌研究会附属病院)

2) 個人被曝線量の測定 宮永一郎(日本原子力研究所保健物理部)

3) 放射線障害防止の現状 松友信寿(科学技術庁原子力局放射線安全課長)

6 昼食懇談会のまとめ(10分)

7 見学会(11/6(水))

放射線医学総合研究所

参加者 約250名

概要報告 協会ニュース(1963.11, 1964.2)(No.112, 115),「放射線取扱主任者部会第4回総会の概況」ほか

放射線取扱主任者部会第5回部会総会

会期 1964(昭和39)年11月20日(金)

会場 東医健保会館(東京)

内容

1 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長

2 経過報告 藤井正一部会長

3 講演

1) 環境放射線の現状と将来 田島英三(立教大学)

2) 放射線障害防止業務の現状 松友信寿(科学技術庁原子力局放射線安全課長)

4 パネル討論「外部被曝線量の測定について」

協会編「個人被曝モニタリングの手びき」をテキストとして

5 昼食懇談会(12:10~13:40)

1) 法令関係を主とする懇談

2) 事故対策関係を主とする懇談

3) 放射線取扱主任者の地位に関する問題を主とする懇談

6 報告

1) 障害防止法に関する法令について 守屋忠雄(法令小委員会, 自治省消防庁消防研究所)

2) 従事者教育について 東俊雄(関西常任委員長, 大阪府立放射線中央研究所)

7 昼食懇談会のまとめ(20分)

8 見学会(11/21(土) 9:30~16:00)

東京都立アイソトープ総合研究所, サントリー(株)多摩川工場

参加者 約290名

概要報告 協会ニュース(1964.12, 1965.3)(No.125, 128),「第5回総会の報告」ほか

放射線取扱主任者部会第6回部会総会

会期 1965(昭和40)年10月18日(月)

会場 大阪科学技術センター(大阪)

内容

- 1 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)佐々木秋生常務理事
- 2 部会経過報告 藤井正一 部会長
- 3 放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法令の改正について 守屋忠雄(自治省消防庁消防研究所)
- 4 地位小委員会報告 吉沢康雄(東京常任委員, 東京大学医学部)
- 5 昼食懇談会(12:00~13:30, 2会場に分かれて討議。軽食付)
- 6 講演
 - ・ ICRP新勧告とその後の動き 伊沢正実(放射線医学総合研究所)
- 7 パネル討論「放射線管理測定の盲点」
 - 1) トリチウム, 炭素-14
 - 2) ソフトエックス線
 - 3) 中性子線
 - 4) ガスと水
- 8 昼食懇談会のまとめ(15分)
 - 1)放射線取扱手当について, 2)障害防止法改正について, 3)主任者試験について, 4)身体検査について,
 - 5)緊急時の処置およびフィルムバッジの結果の取扱いについて, 6)地位小委員会報告について, 7)ラドン
 - の許容量について, 8)地方グループの懇親会について, 9)病院の放射線管理について

9 見学会(10/19(火) 11:00~13:30)

京都大学原子炉実験所

参加者 約180名

概要報告 協会ニュース(1965.11)(No.136),「第6回総会の報告」

放射線取扱主任者部会第7回部会総会

会期 1966(昭和41)年11月9日(水)

会場 東医健保会館(東京)

内容

- 1 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長
- 2 部会長挨拶 一宮虎雄部会長
- 3 講演
 - 1) 国際放射線防護学会に出席して 西脇安(東京工業大学)
 - 2) 放射線障害防止業務の現状について 山中和(科学技術庁原子力局放射線安全課長)
- 4 パネル討論「主任者の地位と予防規定」
- 5 懇談会(13:20~14:50, 理工会場, 農・生会場, 医・薬会場)
- 6 主任者放談(15:00~16:00)
 - 黒川良康(東京常任委員, 三菱原子力工業(株))
 - 大塚巖(東京常任委員, 理化学研究所)
 - 桂山幸典(関西常任委員, 京都大学原子炉実験所)
- 7 懇談会のまとめ(30分)
 - 理工会場: 1)主任者の地位, 2)機器の一時使用, 3)密封線源, 4)その他
 - 農生会場: 1)作業手当, 2)小さな共同実験室機器, 3)インフォメーション
 - 医薬会場: 1)立入検査, 2)フィルムバッジ, 3)防護のための予算, 4)RIの大量投与

8 見学会(11/10(木) 9:30~16:00)

(株)東京原子力産業研究所, 武蔵工業大学原子力研究所, キヤノンカメラ(株)

参加者 約200名

概要報告 協会ニュース(1966.12, 1967.2~3)(No.149, 151~152),「第7回総会の報告」

放射線取扱主任者部会第8回部会総会

会期 1967(昭和42)年11月13日(月)

会場 東医健保会館(東京)

内容

- 1 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)佐々木秋生常務理事
- 2 部会長挨拶 一宮虎雄部会長
- 3 放射線安全課長挨拶 山中和(科学技術庁原子力局放射線安全課長)
- 4 関西懇話会報告「放射線管理の組織と機構」
わが国の状況、米・仏の状況 中井洋太(日本原子力研究所大阪研究所)ほか
- 5 地位小委員会報告「放射線取扱主任者の地位」
アンケートのまとめ、予防規定のまとめ、主任者の地位 一宮虎雄(部会長、地位小委員長、理化学研究所)
- 6 主任者懇談会(12:50~14:40, 理工会場, 農・生会場, 医・薬会場)
- 7 パネル討論「放射線事故と主任者」
 - 1) ^{60}Co 輸送中の事故
 - 2) 病院における ^{226}Ra の紛失
 - 3) ^{90}Y 実験中の汚染
- 8 主任者懇談会のまとめ(20分)
- 9 懇親会(16:30~18:00)

参加者 230名

概要報告 協会ニュース(1967.12, 1968.2~4) (No.161, 163~165), 「第8回総会の報告」

放射線取扱主任者部会第9回部会総会

会期 1968(昭和43)年11月12日(火)

会場 薬業健保会館(東京)

内容

- 1 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長
- 2 部会長挨拶 一宮虎雄部会長
- 3 放射線安全課長挨拶 児崎宣夫(科学技術庁原子力局放射線安全課長)
- 4 講演
 - 1) 放射線の生物学的影響について(国連科学委員会の活動) 塚本憲甫(国立がんセンター病院長)
 - 2) 環境放射線について 山崎文男(日本放射性同位元素協会常務理事)
- 5 主任者懇談会(13:00~14:30, 理工会場, 農・生・薬会場, 病院会場)
- 6 パネル討論「放射線管理の現実をめぐって」
- 7 主任者懇談会のまとめ(20分)
- 8 懇親会(16:30~18:00)
- 9 見学会(11/13(水) 9:30~16:00)

理化学研究所大和研究所, 本田技研工業(株)狭山工場

参加者 約230名

概要報告 協会ニュース(1968.12~1969.1) (No.173~174), 「放射線取扱主任者部会第9回総会報告」ほか

放射線取扱主任者部会第10回部会総会

会期 1969(昭和44)年10月30日(木)

会場 薬業健保会館(東京)

内容

- 1 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長
- 2 部会長挨拶 一宮虎雄部会長
- 3 放射線安全課長挨拶 児崎宣夫(科学技術庁原子力局放射線安全課長)
- 4 功労者表彰
第10回総会を記念して、歴代部会長の寛弘毅、藤井正一両氏を功労者として表彰
- 5 記念講演
 - 1) アイソトープ診療と放射線管理の問題点 寛弘毅(千葉大学医学部)
 - 2) 放射線施設の変遷 藤井正一(芝浦工業大学)
- 6 主任者懇談会(12:50~14:50)
 - 1) 理・工会場 野外使用ほか
 - 2) 農・生・薬会場 廃棄物処理ほか
 - 3) 医・病院会場 放射線施設ほか
- 7 講演
 - ・アメリカ原子力学会放射線部会プエルトリコ会議に出席して 東俊雄(関西常任委員長, 大阪府立放射線中央研究所)

- 8 主任者懇談会のまとめ(40分)
- 9 懇親会(16:30～18:00)
- 10 見学会(10/31(金) 9:00～16:00)

日本原子力事業(株)NAIG総合研究所, 日本航空(株)整備工場

参加者 約200名

概要報告 協会ニュース(1969.12)(No.185),「RI協会放射線取扱主任者部会総会のまとめ」

放射線取扱主任者部会第11回部会総会

会期 1970(昭和45)年7月14日(火)

会場 大阪科学技術センター(大阪)

内容

- 1 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長
- 2 部会活動報告 一宮虎雄部会長
- 3 講演
 - 1) 個人被曝線量登録制度(主として欧米の現状) 児崎宣夫(科学技術庁原子力局放射線安全課長)
 - 2) フィンオ化学(核分裂片のエネルギーを利用する化学) 品川睦明(大阪大学工学部)
- 4 主任者懇談会(12:40～14:00)
 - 1) 第1会場 非破壊検査, 放射線応用計測, 大線量照射などに関する話題
 - 2) 第2会場 食品照射, 医療器具滅菌, 放射性医薬品などに関する話題
- 5 パネル討論「RI利用発展期における主任者」
 - 1) 地域社会と主任者 東俊雄(大阪府立放射線中央研究所)
 - 2) 医療と主任者 安河内浩(東京大学医学部)
 - 3) 照射利用と主任者 真室哲雄(大阪府立放射線中央研究所)
 - 4) トレーサー利用と主任者 遠藤道雄(住友化学工業(株))
 - 5) 非破壊検査と主任者 宮下泰一(三菱電機(株))
- 6 主任者懇談会のまとめ(20分)
- 7 見学会(7/15(水) 12:10～16:10)

関西電力(株)美浜原子力発電所(福井)

参加者 175名

概要報告 Isotope News(1970.8～9)(No.193～194),「第11回RI協会放射線取扱主任者部会総会のまとめ(I)～(II)」

放射線取扱主任者部会第12回部会総会

「放射線管理技術の向上」

会期 1971(昭和46)年7月6日(火)

会場 薬業健保会館(東京)

内容

- 1 日本放射性同位元素協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長
- 2 放射線安全課長挨拶 児崎宣夫(科学技術庁原子力局放射線安全課長)
- 3 部会活動報告 一宮虎雄部会長
- 4 講演
 - 1) 個人被曝線量とTLD 立田初巳(日本原子力研究所保健物理部)
 - 2) 放射線による細胞の死 岡田重文(東京大学医学部)
- 5 主任者懇談会(13:00～14:50)

法令・行政関係, 教育・訓練関係, 管理・組織関係
- 6 職場における教育訓練モデル
 - 1) 火災について
 - 2) 床の汚染について
- 7 主任者懇談会のまとめ(20分)
- 8 見学会(7/7(水) 10:00～15:30)

東京大学本郷地区放射線施設
新設されたアイソトープ総合センターの建物, 工学部原子力教育施設(ヒューマンカウンター, タンデム加速装置など), 総合研究資料館および放射性炭素年代測定装置, 医学部医用電子研究施設 ほか

参加者 約300名

概要報告 Isotope News(1971.8～9, 1972.1～3)(No.205～206, 210～212),「放射線取扱主任者部会総会(第12回)のまとめ(I)～(V)」

放射線取扱主任者部会第13回部会総会

「現場における放射線防護と主任者」

会期 1972(昭和47)年7月5日(水)

会場 薬業健保会館(東京)

内容

- 1 日本アイソトープ協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長
- 2 放射線安全課長挨拶 児崎宣夫(科学技術庁原子力局放射線安全課長)
- 3 部会活動報告 藤田順一郎会長
- 4 講演
 - 1) 火災と放射線施設 関根孝(建築研究所)
 - 2) 最近のICRP報告書について 伊沢正実(放射線医学総合研究所)
- 5 主任者懇談会(13:00~14:50)
法令・行政関係, 教育・訓練関係, 管理・組織関係
- 6 パネル討論「ラジオグラフィの現場における放射線管理」
 - 1) 発注者側の対策について 吉田登(石川島播磨重工業(株))
 - 2) 請負者側の処置について 森川泰汎((株)検査研究所)
 - 3) 検査技術上の観点から 古田純一郎(大阪府立放射線中央研究所)
 - 4) 放射線管理上の観点から 黒川良康(動力炉・核燃料開発事業団)
- 7 主任者懇談会のまとめ(20分)
- 8 見学会(7/6(木) 11:00~15:00)
石川島播磨重工業(株)横浜第二, 第三工場

参加者 約250名

概要報告 Isotope News(1972.8~9)(No.217~218),「放射線取扱主任者部会総会(第13回)のまとめ(1)~(2)」

放射線取扱主任者部会第14回部会総会

会期 1973(昭和48)年7月11日(水)

会場 全電通労働会館(東京)

内容

- 1 日本アイソトープ協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長
- 2 放射線安全課長挨拶 中沢幸一(科学技術庁原子力局放射線安全課長)
- 3 部会活動報告 藤田順一郎会長
- 4 講演
 - 1) 放射線施設の環境問題 桂山幸典(京都大学原子炉実験所)
 - 2) 放射線生物学からみた放射線障害の問題点 菅原努(京都大学医学部)
- 5 パネル討論「放射線取扱主任者に期待すること」
 - 1) 厚生省 尾崎明(厚生省医務局)
 - 2) 労働省 山崎柳太郎(労働省労働基準局)
 - 3) 科学技術庁 近藤民夫(科学技術庁原子力局)
- 6 見学会(7/12(木) 10:30~17:20)
日本原子力研究所高崎研究所, ラジエ工業(株), 麒麟麦酒(株)総合研究所・高崎工場

参加者 約400名

概要報告 Isotope News(1973.8~10)(No.229~231),「放射線取扱主任者部会総会(第14回)のまとめ(1)~(3)」

放射線取扱主任者部会第15回部会総会

会期 1974(昭和49)年7月15日(月)

会場 大阪科学技術センター(大阪)

内容

- 1 日本アイソトープ協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長
- 2 部会活動報告 藤田順一郎会長
- 3 協会各部会の部会活動紹介—理工, 農生, 医薬学部会— 吉川春寿(日本アイソトープ協会常務理事)
- 4 講演
 - I) 放射線障害防止法—施行の現状と将来の展望 近藤民夫(科学技術庁原子力局放射線安全課)
 - II) 除染上の諸問題—施設の放射線管理を中心として 国分守信(日本原子力研究所東海研究所)
- 5 パネル討論「安全対策—経験を中心にして—」
 - 1) 事故とは何か—その原因と対策 吉沢康雄(東京大学医学部)
 - 2) 所在不明と異常被曝—必要なRIの実態の把握 斉藤哲夫(名古屋大学農学部)
 - 3) 一つの被曝例から—モニター網を完備して対処 桂山幸典(京都大学原子炉実験所)
 - 4) RG作業時の被曝量—線量の推定計算例 仙田富男(大阪大学工学部)
 - 5) 汚染事故例から—常時の検査と管理体制を強化 松村隆(大阪府立放射線中央研究所)

6 見学会(7/16(火) 9:15~17:10)

日本原子力研究所大阪研究所, サントリー(株)桂ブルーワリイ工場, 宇治公園(自由見学), 京都大学原子エネルギー研究所

参加者 約350名

概要報告 Isotope News(1974.8~10, 1975.2) (No.241~243, 247), 「放射線取扱主任者部会総会(第15回)のまとめ(1)~(3)」ほか

放射線取扱主任者部会第16回部会総会

会期 1975(昭和50)年7月17日(木)

会場 野口英世記念会館(東京)

内容

- 1 日本アイソトープ協会会長挨拶 (代理)中泉正徳副会長
- 2 放射線安全課長挨拶 小林直之(科学技術庁原子力局放射線安全課長)
- 3 部会活動報告 藤田順一 部会長
- 4 講演
・安全管理と精神衛生—恐怖は取れるが不安は残る 逸見武光(東京大学医学部)
- 5 スライド(12:50~13:20)
RIの安全取扱法—RI取扱を始めるにあたって知っておくべきこと 東俊雄(関西常任委員長, 大阪工業大学)
- 6 パネル討論「現場教育における問題点—主任者の立場から」
 - 1) 医療関係 飯尾正宏(東京都立養育院付属病院)
 - 2) 大学の研究所 久保寺昭子(東京理科大学薬学部)
 - 3) 学生教育 三木良太(近畿大学原子力研究所)
 - 4) 民間企業の研究所 林伸宣(武田薬品工業(株))
 - 5) 企業の現場教育 三宅敏雄(東京芝浦電気(株))
- 7 懇親会(立食パーティ)(16:30~18:00)
- 8 見学会(7/18(金) 11:10~15:30)

日本原子力研究所東海研究所

参加者 約200名

概要報告 Isotope News(1975.8~10, 1976.2~3) (No.253~255, 259~260), 「放射線取扱主任者部会総会(第16回)の概況」, 「放射線取扱主任者部会総会(第16回)のまとめ(1)~(2)」ほか

放射線取扱主任者部会第17回部会総会

会期 1976(昭和51)年7月14日(水)

会場 野口英世記念会館(東京)

内容

- 1 日本アイソトープ協会会長挨拶 (代理)山崎文男常務理事
- 2 放射線安全課長挨拶 小林直之(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
- 3 部会活動報告 藤田順一 部会長((代理)河野宗治東京常任委員), 東俊雄(関西常任委員長, 大阪工業大学)
- 4 講演
・作業環境測定法 後藤博俊(労働省労働基準局)
- 5 パネル討論「放射性廃棄物の処理処分」
東内隆治(科学技術庁原子力安全局), 桂山幸典(京都大学原子炉実験所), 黒崎浩巳((株)第一ラジオアイソトープ研究所), 有水昇(千葉大学医学部), 古畑武(日本アイソトープ協会), 阪田貞弘(日本原子力研究所)
- 6 懇親会(立食パーティ)(16:30~18:00)
- 7 見学会(7/15(木) 10:00~16:30)

筑波大学加速器センター, 文部省高エネルギー物理学研究所

参加者 約300名

概要報告 Isotope News(1976.8~9, 1977.1~3) (No.266~267, 271~273), 「放射線取扱主任者部会第17回部会総会の概況」, 「放射線取扱主任者部会総会(第17回)のまとめ(1)~(3)」ほか

放射線取扱主任者部会第18回部会総会

会期 1977(昭和52)年7月13日(水)

会場 野口英世記念会館(東京)

内容

- 1 日本アイソトープ協会会長挨拶 (代理)山崎文男常務理事
 - 2 放射線安全課長挨拶 金平隆弘(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - 3 部会活動報告 藤田順一 部会長((代理)菱田豊彦東京常任委員)
-

4 講演

- ・ ICRPの最近の考え方 伊沢正実(放射線医学総合研究所)

5 パネル討論「施設の放射線モニタリング」

南賢太郎(日本原子力研究所大洗研究所), 中村愛子(東京大学アイソトープ総合センター), 葉杖正昭(日本メジフィジックス(株)), 横島徹熹(第一化学薬品(株)東海研究所), 古賀佑彦(名古屋保健衛生大学)

6 主任者懇談(12:00~13:30), 映画「生活と放射線」(日本原子力研究所)(12:00, 13:00 2回上映)

7 展示会(モニタリング関係機器)

8 見学会(7/14(木) 10:00~16:00)

(財)実験動物中央研究所, 聖マリアンナ医科大学核医学部門施設, 中央実験動物飼育管理研究施設

参加者 317名

概要報告 Isotope News(1977.8~9, 1978.1)(No.278~279, 284),「放射線取扱主任者部会第18回部会総会の概況」,
「放射線取扱主任者部会第18回部会総会のまとめ」

放射線取扱主任者部会第19回部会総会

会期 1978(昭和53)年7月17日(月)

会場 大阪科学技術センター(大阪)

内容

1 日本アイソトープ協会会長挨拶 (代理)山崎文男常務理事

2 放射線安全課長挨拶 金平隆弘(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)

3 部会活動報告 大野明部会長

4 講演

- ・ 放射性廃棄物処理に関する最近の研究と動向 松村隆(大阪府立放射線中央研究所)

5 パネル討論「放射線管理における測定の基準化とトレーサビリティ」

川島勝弘(放射線医学総合研究所), 南賢太郎(日本原子力研究所), 林伸宣(武田薬品工業(株)), 辻本忠(京都大学原子炉実験所)

6 主任者懇談(12:45~14:00)(従来の昼食懇談会に代わるもの)

7 見学会(7/18(火) 9:20~17:30)

大阪大学核物理センター, 松下電器産業(株)テレビ工場, 朝日麦酒(株)吹田工場, 国立民族学博物館(自由見学)ほか

参加者 約200名

概要報告 Isotope News(1978.8~9, 11~12)(No.290~291, 293~294),「放射線取扱主任者部会第19回部会総会の概況」,
「放射線取扱主任者部会第19回部会総会のまとめ(1)~(3)」

放射線取扱主任者部会第20回部会総会(主任者研修会)

会期 1979(昭和54)年11月15日(木)

会場 野口英世記念会館(東京)

内容

1 協会常務理事挨拶 山崎文男常務理事

2 部会活動報告 大野明部会長

3 講演

- 1) 放射線障害防止法と安全行政一法令改正を中心として 松本邦宏(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
- 2) 有機廃液の焼却処理一炉の設置と管理 長野健一(科学技術庁原子力安全局放射線安全課)

4 課題発表「主任者と放射線管理」

- 1)主任者のあり方, 2)RI施設の地震対策

5 パネル討論「教育訓練」

伊藤和男(建築研究所), 那波克己(慶應義塾大学医学部), 武藤正信(非破壊検査(株))

6 スライド(12:45~13:15)

放射線取扱のアイディア集 東俊雄(関西常任委員長, 大阪工業大学)

7 主任者懇談(昼食時), 機器展示会

8 見学会(11/16(金) 9:20~17:00)

国立療養所中野病院, シチズン時計(株)田無製造所

参加者 354名

概要報告 Isotope News(1979.12~1980.2)(No.306~308),「放射線取扱主任者部会第20回部会総会の概況」,
「放射線取扱主任者部会第20回部会総会のまとめ(1)~(2)」

放射線取扱主任者部会第21回部会総会(主任者研修会)

会期 1980(昭和55)年11月17日(月)

会場 野口英世記念会館(東京)

内容

- 1 協会常務理事挨拶 山崎文男常務理事
- 2 部会活動報告 大野明部会長
- 3 講演
 - I 放射線障害防止法の改正について 松本邦宏(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - II 有機廃液の焼却処理について 中埜榮三(中部常任委員長, 名古屋大学理学部)
- 4 課題発表「放射線管理体制―事故の再発を防ぐために」
- 5 パネル討論「RI装備機器の管理」
鷲見哲雄(愛知工業大学), 富永洋(日本原子力研究所), 宮川一男(新日本製鐵(株)), 清水雅美(富士電機製造(株))
- 6 主任者懇談(昼食時), 機器展示会
- 7 見学会(11/18(火) 9:30~18:00)
キッコーマン醤油(株)野田工場, (財)日本分析センター

参加者 約460名

概要報告 Isotope News(1980.12~1981.2) (No.318~320), 「放射線取扱主任者部会第21回部会総会の概況」, 「放射線取扱主任者部会第21回部会総会のまとめ(1)~(2)」

放射線取扱主任者部会第22回部会総会(主任者研修会)

会期 1981(昭和56)年11月19日(木)

会場 明治生命名古屋ビル16階ホール(名古屋)

内容

- 1 部会活動報告 大野明部会長
- 2 講演
 - I) 放射線障害防止法について 佐藤元之介(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - II) ICRP勧告の法令への取入れの検討について 吉沢康雄(東京大学医学部)
- 3 課題発表「放射線施設の火災対策」
- 4 パネル討論「法改正への対応」
本間清(科学技術庁原子力安全局放射線安全課), 森竜二(日本核燃料開発(株)), 南賢太郎(日本原子力研究所東海研究所), 松村隆(大阪府立放射線中央研究所), 佐藤乙丸(東京大学生産技術研究所)
- 5 主任者懇談・相談コーナー(昼食時)
- 6 見学会(11/20(金) 8:30~21:00頃)
(社)日本アイソトープ協会甲賀研究所, 日本IBM(株)野洲工場

参加者 約370名

概要報告 Isotope News(1982.1~3) (No.331~333), 「放射線取扱主任者部会第22回部会総会の概況」, 「放射線取扱主任者部会第22回部会総会のまとめ(1)~(2)」

放射線取扱主任者部会第23回部会総会(主任者研修会)

会期 1982(昭和57)年11月16日(火)

会場 野口英世記念会館(東京)

内容

- 1 協会常務理事挨拶 浜田達二常務理事
- 2 部会活動報告 大野明部会長
- 3 報告「火災時における部会委員の協力体制について」(中間発表) 河村正一(火災対策小委員会, 放射線医学総合研究所)
- 4 講演
 - ・放射線障害防止法について 佐藤元之介(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
- 5 課題発表「作業従事者等の教育訓練」
 - 1)大学関係, 2)共同利用施設関係, 3)医療関係, 4)民間企業関係, 5)非破壊検査関係
- 6 パネル討論「記帳・記録について」
 - 1)大学関係: 山本定明(名古屋大学アイソトープ総合センター), 2)病院関係: 平林久枝(東京女子医科大学), 3)非破壊検査関係: 岡本次郎(日本航空(株)), 4)ECDガスクロマト関係: 色摩信義((株)日立製作所那珂工場), 5)電子計算機によるRI管理: 新谷聖法(動力炉・核燃料開発事業団大洗事業所)
- 7 主任者懇談(昼食時), 相談コーナー, 機器展示会
- 8 見学会(11/17(水) 10:00~18:00)
(株)第二精工舎亀戸工場, (株)ダイナボットRI研究所松戸第二工場

参加者 377名

概要報告 Isotope News(1982.12～1983.2) (No.342～344), 「放射線取扱主任者部会第23回部会総会の概況」, 「放射線取扱主任者部会第23回部会総会のまとめ(1)～(2)」

放射線取扱主任者部会第24回部会総会 (主任者研修会)

会期 1983(昭和58)年11月21日(月)

会場 大阪科学技術センター(大阪)

内容 (今回より要旨集を作成)

- 1 協会常務理事挨拶 浜田達二常務理事
- 2 部会活動報告 大野明部会長
- 3 特別講演
 - I アトムのひとりごと—ラザフォード卿のこと 木村毅一(京都大学名誉教授)
 - II 放射線障害防止について 佐藤元之介(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
- 4 課題発表「放射線施設の点検と保全—定期検査に対応して」
- 5 パネル討論「アイソトープ廃棄物の現状と将来」
 - 1) 使用施設の立場から
大学関係：栗原紀夫(京都大学放射性同位元素総合センター), 病院関係：加藤武司(大阪大学医学部), 研究所関係：石山稔雄(大阪府立放射線中央研究所), 小野泰道(日本新薬(株))
 - 2) 集荷の立場から
菊地晟(日本アイソトープ協会)
 - 3) 処理の立場から
伊藤尚徳(日本原子力研究所東海研究所)
- 6 主任者懇談, 法律相談コーナー(昼食時)
- 7 見学会(11/22(火) 8:30～17:00)
京都大学ヘリオトロン核融合研究センター, サントリー(株)山崎ディスティラリー

参加者 297名

概要報告 Isotope News(1984.1～3) (No.355～357), 「放射線取扱主任者部会第24回部会総会の概況」, 「放射線取扱主任者部会第24回部会総会のまとめ(1)～(2)」

放射線取扱主任者部会第25回部会総会 (主任者研修会)

会期 1984(昭和59)年11月21日(水)

会場 野口英世記念会館(東京)

内容

- 1 部会活動報告 池田長生部会長
- 2 講演
 - I 放射線障害防止について 早坂信弘(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - II 国際放射線防護委員会の動向—ICRP勧告26から35までの流れについて 吉沢康雄(東京大学医学部)
- 3 課題発表「被曝線量の測定から評価まで」
 - 1) 外部被曝, 2) 体内被曝の観点から
- 4 パネル討論「RI使用施設に用いる資材・器材の諸問題」
桜井仙三郎((株)大林組), 細田敏和(千代田保安用品(株)), 辻本忠(京都大学原子炉実験所), 豊田亘博(日本メジフィジックス(株))
- 5 相談コーナー(昼食時), 機器展示「放射線管理関係機器・測定器」
- 6 見学会(11/22(木) 8:30～17:30)
富士電機(株)東京工場, 日産自動車(株)村山工場

参加者 371名

概要報告 Isotope News(1985.1, 3～10) (No.367, 369～376), 「放射線取扱主任者部会第25回部会総会の概要」ほか

放射線取扱主任者部会第26回部会総会 (主任者研修会)

会期 1985(昭和60)年11月21日(木)

会場 日本大学会館(東京)

内容

- 1 部会活動報告 池田長生部会長
 - 2 講演
 - I 放射線障害防止について 早坂信弘(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - II 放射線と生命 近藤宗平(大阪大学医学部)
 - 3 課題発表「放射性有機廃液に関する諸問題」
 - 4 パネル討論「パソコンによる放射線管理」
利波修一(富山医科薬科大学), 平井昭司・鈴木章吾(武蔵工業大学), 藤井正昭((株)日立製作所), 遠藤正志(東京大学アイソトープ総合センター)
-

会 期・会 場・内 容 他

5 相談コーナー(昼食時), 機器展示「放射線管理関係機器・測定器」

6 見学会(11/22(金) 8:00~18:00)

(株)東芝那須工場

参加者 407名

概要報告 Isotope News(1986.1~11)(No.379~389),「放射線取扱主任者部会第26回部会総会・見学会の概要」ほか

放射線取扱主任者部会第27回部会総会(主任者研修会)

会期 1986(昭和61)年11月20日(木)

会場 名古屋商工会議所ホール(名古屋)

内容

1 部会活動報告 池田長生部会長

2 講演

I 放射線障害防止について 佐竹宏文(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)

II ミリレムシンドローム 栗冠正利(東北放射線科学センター)

3 課題発表「放射線管理—最近の話題から—」

1) 実効線量当量 古賀佑彦(藤田学園保健衛生大学)

2) ライフサイエンスの現場から 井川洋二(理化学研究所)

4 パネル討論「安全教育のあり方」

1) 安全の心理学 木下富雄(京都大学教養部)

2) 安全教育に関する手法 谷村富男(東京安全衛生教育センター)

5 ポスター発表 昼食時(11:40~13:00), 休憩時(14:45~15:00) 今回初めて実施

6 相談コーナー(昼食時)

7 見学会(11/21(金) 8:00~18:00)

浜松ホトニクス(株)豊岡製作所, 日本国有鉄道浜松工場

参加者 約300名

概要報告 Isotope News(1987.1~4)(No.391~394),「放射線取扱主任者部会第27回部会総会・見学会の概要」

放射線取扱主任者研修会(放射線取扱主任者部会第28回部会総会)

会期 1987(昭和62)年11月18日(水)~19日(木) 今回から会期2日間となる

会場 日本大学会館(東京)

内容

1 部会活動報告 池田長生部会長

2 特別講演

I 放射線障害防止について 末広恵雄(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)

II ソ連原子力発電所事故とセイフティカルチャー 御園生圭輔(原子力安全委員会委員長)

III 第五世代のコンピュータ 溝口文雄(東京理科大学理工学部)

3 課題発表「効果的な教育訓練について」

4 シンポジウム「安全管理の取り組み方」

小木曾千秋(横浜国立大学), 加藤十四弘(全日本空輸(株)), 伊藤喜八((株)日立物流), 高木雅晴(清水建設(株))

5 一般発表 今回初めて口頭発表を実施

【口頭発表】 (1日目 15:15~16:15 ; 2日目 13:30~15:30)

【ポスター発表】 (2日目 11:30~12:30)

6 相談コーナー, パソコン実演, VTR上映:(2日目昼食時), 機器展示(両日)

7 懇親会(1日目 18:00~20:00)

8 見学会(11/20(金) 9:30~16:30)

東海大学電子計算センター(平塚)

参加者 408名

概要報告 Isotope News(1988.1~3)(No.403~405),「放射線取扱主任者部会第28回部会総会の概要」

放射線取扱主任者研修会(第29回部会総会)

会期 1988(昭和63)年11月14日(月)~15日(火)

会場 日本大学会館(東京)

内容

1 部会活動報告 池田長生部会長

2 講演

I 放射線障害防止について 末広恵雄(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)

会 期・会 場・内 容 他

Ⅱ ヨーロッパにおける加速器施設の安全管理について 上養義朋(東京大学原子核研究所)

Ⅲ 国際放射線防護委員会について 田島英三(原子力安全研究協会理事長)

3 課題発表

Ⅰ 改正法令が現場の放射線管理に迫るもの—理想と現実のはざままで主任者はどう対処すればよいか—

Ⅱ 法改正の理解と事業所の対応—3省庁の見解

4 一般発表

【口頭発表】 (1日目 13:00～15:45)

【ポスター発表】 (2日目 11:00～12:00)

5 相談コーナー、パソコン実演：(2日目昼食時)、機器展示(両日)

6 懇親会(1日目 18:10～20:00)

参加者 478名

概要報告 Isotope News(1989.1) (No.415),「放射線取扱主任者部会第29回部会総会の概要」

第30回主任者研修会(部会総会)—設立30周年記念—

会期 1989(平成元)年11月14日(火)～15日(水)

会場 大阪科学技術センター(大阪)

内容

1 部会活動報告 池田長生部会長

2 講演

Ⅰ 放射線障害防止について 吉田哲彦(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)

Ⅱ 内部被曝線量当量評価の考え方—ICRP Publ.54の立案と解釈 藤田稔(千代田保安用品(株))

Ⅲ 猿は集団の中でどう生きているか? 加納隆至(京都大学霊長類研究所)

3 課題発表

Ⅰ 放射線管理における実効線量当量評価の実際

Ⅱ 改正法令施行半年を経過して

4 一般発表

【口頭発表】 (1日目 11:30～12:50 ; 2日目 11:10～12:30)

5 相談コーナー(2日目昼食時)、機器展示(両日)

6 30周年記念懇親会(1日目 17:30～19:30)

参加者 388名

概要報告 Isotope News(1990.1) (No.427),「第30回主任者研修会印象記」

第31回主任者研修会(部会総会)

会期 1990(平成2)年11月21日(水)～22日(木)

会場 日本大学会館(東京)

内容

1 部会活動報告および活動方針 池田長生部会長

2 特別講演

Ⅰ ICRP 1990年勧告について—1990年10月ドラフトから— 松平寛通(放射線医学総合研究所)

Ⅱ 最近の放射線安全行政の動向について 吉田哲彦(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)

Ⅲ 主任者必携 主任者のための問題解決入門 佐藤允一(帝京大学、自己啓発協会)

3 課題発表

Ⅰ あいつが法改正に主任者はどのように対応すべきか

Ⅱ 主任者のための線量測定の実際—事業所の境界レベルまでどう測るか

4 指定演題発表

1) 内部被ばく測定の実際 稲葉次郎(放射性医学総合研究所)

2) 健康診断における医師の診断省略基準 古賀佑彦(藤田学園保健衛生大学)

5 ラウンドテーブルディスカッション「主任者に求められるもの—21世紀への展望」

6 一般演題発表

1) 短半減期核種の合理的な廃棄物処理の提案 那波克己(慶應義塾大学医学部)

2) 排気浄化装置についての諸問題と解決法 大竹信義(日本無機(株))

3) 放射線モニタの自動化と障害防止法 ○増子捷二, 野矢洋一, 大西俊之(北海道大学アイソトープ総合センター)

7 相談コーナー、放射線管理パソコン実演：(2日目昼食時)、機器展示(両日)

8 懇親会(1日目 18:10～19:30)

参加者 575名

概要報告 Isotope News(1991.1～5) (No.439～443),「第31回主任者研修会概要報告」ほか

第32回主任者研修会(部会総会)

「新しい主任者部会をめざして」

会期 1991(平成3)年11月28日(木)～29日(金)

会場 日本教育会館(東京)

内容

- 1 部会総会
 - 部会活動報告 池田長生部会長
- 2 報告 「新しい主任者部会をめざして」
 - 基盤整備委員会報告 池田長生委員長
 - 新体制移行委員会報告 小山雄生委員長
 - 支部設立のための中間報告 各常任委員長, 各地方委員
- 3 特別講演
 - I 法令改正等について 高木譲一(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - II 「寝たきり老人」と放射能 大熊由紀子(朝日新聞社論説委員)
- 4 特別報告
 - 現行法令の課題 法令検討専門委員会
- 5 ポスターセッション(1日目)
- 6 分科会(2日目 10:00～16:00)
 - 分科会 I 「非密封RI施設」
 - 1) 各国の非密封RIの管理についてのパネルディスカッション
栗原紀夫(京都大学放射性同位元素総合センター), 黒羽巖夫(ロース・プーラン・アグロ筑波明野中央研究所), 久保寺昭子(東京理科大学薬学部)
 - 2) ICRP勧告に関する講演
ICRP 1990年勧告の要点と対応について 草間朋子(東京大学医学部)
 - 3) 非密封RI管理の日常業務にかかわる問題点及び解決策についてのパネルディスカッション
北田哲夫(日本アイソトープ協会), 山林尚道(日本原子力研究所東海研究所), 藤井張生(東京医科歯科大学アイソトープセンター)
 - 分科会 II 「医療施設」
 - 1) 医療放射線での異常事例
木下勝美(科学技術庁原子力安全局放射線安全課), 菊地透(自治医科大学RIセンター), 長谷川武(川崎市立川崎病院), 諸澄邦彦(埼玉県循環器病センター)
 - 2) 医療放射性廃棄物
古川修(日本アイソトープ協会)
 - 3) 放射線安全管理の実際
五十嵐健治((財)原子力安全技術センター), 土器屋卓志(国立東京第二病院), 西川潤一(東京大学医学部附属病院)
 - 4) 放射線障害防止法と医療
太田勝正(東京大学医学部), 科学技術庁, 厚生省, 神奈川県
 - 分科会 III 「ガスクロマトグラフィ／密封RI施設」
 - 1) ECDガスクロマトグラフィ関連
辻井弘次((株)柳本製作所), 板屋宗明(東京島津科学サービス(株)), 志賀直史((財)残留農薬研究所), 小松一裕((財)日本食品分析センター多摩研究所)
 - 2) 密封RI施設関連
 - ・事業所境界等の線量当量測定の実際
綿貫孝司(日本原子力研究所高崎研究所), 白川芳幸(新日本製鐵(株)君津製鐵所), 釜田敏光(ポニー原子工業(株))
 - ・線量測定器について
松本健(電子技術総合研究所), 田中守(アロカ(株)), 増井馨(富士電機(株))
 - ・密封線源使用の記帳の例
河野悦雄(富士電機(株))
- 7 相談コーナー(1日目昼食時), 機器展示(両日)
- 8 懇親会(1日目 18:00～20:00)(喜山倶楽部)

参加者 609名

概要報告 Isotope News(1992.3～5)(No.453～455), 「第32回主任者部会総会研修会概要報告」ほか

平成4年度主任者研修会(第33回部会総会)

会期 1992(平成4)年11月26日(木)～27日(金)

会場 日本教育会館(東京)

内容

- 1 部会総会(1日目 16:20～17:50)
「部会活動報告」,「支部の活動方針」ほか
- 2 特別講演
 - 1) 放射線安全規制をめぐる国際的動向 高木譲一(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - 2) ライフスタイルと健康 森本兼囊(大阪大学医学部)
- 3 特別報告
放射線安全規制のあり方―法令検討専門委員会報告を中心に― 千坂治雄(法令検討委員会委員長)
- 4 シンポジウム「効果的な放射線安全教育とは」
 - 第1部 安全教育の現状と問題点
〔医療機関の場合〕,〔密封アイソトープ使用の場合〕,〔大学研究機関の場合〕
 - 第2部 効果的な安全教育
- 5 ポスターセッション(質疑:1日目昼食時, 展示:両日)
- 6 業態別分科会(2日目 9:30～11:30)
「施設点検の実際」
 - I 非密封RI施設
 - II 医療施設
 - III ガスクロ・密封RI施設
- 7 相談コーナー(1日目昼食時), 機器展示(両日)
- 8 懇親会(1日目 18:10～19:00)(学生会館)
- 9 大会アピール採択

参加者 538名

概要報告 Isotope News(1993.2, 4)(No.464, 466),「平成4年度主任者研修会(第33回部会総会)概要報告」ほか

平成5年度主任者年次大会(第34回主任者研修会)

会期 1993(平成5)年12月2日(木)～3日(金)

会場 名古屋国際会議場(名古屋)

内容

- 1 部会総会
「部会活動報告」,「委員会報告」,「各支部報告」ほか
- 2 特別講演
 - 1) 放射線障害防止法をとりまく状況について 本間清(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - 2) ニューロ・ファジィ技術の最近の動向 内川嘉樹(名古屋大学工学部)
 - 3) アフリカ熱帯雨林のヒトと生活―農耕民と狩猟採集民の場合― 佐藤弘明(浜松医科大学)
- 3 シンポジウム「年線量限度20mSvの現場への波及効果とその対応」
古賀佑彦(藤田保健衛生大学), 多田順一郎(筑波大学), 砂屋敷忠(広島大学歯学部)
- 4 分科会(2日目 10:00～11:30)
「教育訓練(おもに再教育)について―現状と問題点そして解決に向けて―」
 - 1) 大学・研究機関
 - 2) 医療機関
 - 3) 民間(企業)機関
- 5 ポスターセッション(質疑:1日目昼食時, 展示:両日)
- 6 相談コーナー(両日昼食時), 機器展示(両日)
- 7 懇親会(1日目 17:20～19:00)
- 8 年次大会まとめ, ポスター表彰等
- 9 大会アピール採択

参加者 415名

概要報告 Isotope News(1994.1～2)(No.475～476),「平成5年度主任者年次大会を終えて」,「平成5年度主任者年次大会(第34回主任者研修会)概要報告」

平成6年度主任者年次大会(第35回主任者研修会)

「勉強しまっせ放射線」

会期 1994(平成6)年11月24日(木)～25日(金)

会場 オオサカサンパレス(大阪)

内容

- 1 部会総会
「部会活動報告」,「各支部活動報告」ほか

- 2 特別講演
 - 1) 放射線障害防止法をとりまく最近の課題 近藤龍雄(科学技術庁原子力安全局放射線安全課)
 - 2) 宇宙飛行でショウジョウバエに誘発される突然変異 池永満生(京都大学放射線生物研究センター)
特別コメンテーター 「宇宙メダカ」 井尻憲一(東京大学アイソトープ総合センター)
- 3 特別報告

ICRP新勧告の国内法令取入れに関する主任者の立場からの検討 諸澄邦彦(法令検討委員会委員長)
- 4 シンポジウム「放管実務のそこが知りたい」
 - 1) 放管Qと実用(解答)モデル
 - 2) 草の根ネットワークの今後
- 5 昼食交流会(1日目 12:50～14:50)
共通テーマ「主任者および放管実務者の今後のあり方」について、各テーブルを囲んで自由討論
- 6 放射線管理のための五味の市(1日目 15:00～16:45 ; 2日目 11:30～13:30)
 - 1) 教育訓練用ビデオ発表・放映
 - 2) 放管グッズ発表・展示
 - 3) パソコンソフト発表
 - 4) 草の根ネットワーク：グループ結成
製菓交流会，教育研究会，医系グループ，ECDガスクログループ，パソコン通信JRInetの旗揚げ
 - 5) ポスター発表
 - 6) 相談コーナー：法律・実務相談
- 7 機器展示，書籍販売(両日)
- 8 懇親会(1日目 17:45～19:00)
- 9 年次大会まとめ
- 10 大会アピール採択

参加者 520名

概要報告 Isotope News(1995.2～3)(No.488～489)，「平成6年度主任者年次大会印象記」，「蒔かれたタネとその育て方—平成6年度主任者年次大会(第35回主任者研修会)から—」ほか

平成7年度主任者年次大会(第36回主任者研修会)

「語ろう東北で！！」

会期 1995(平成7)年11月1日(水)～2日(木)

会場 仙台国際センター(仙台)

内容

- 1 部会総会

「部会・委員会の活動報告」，「支部の活動報告」，「阪神・淡路大震災における放射線施設救援活動について」ほか
- 2 特別講演
 - I 放射線安全行政について 森田健二(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - II 縮み嗜好の放射線防護 栗冠正利(東北放射線科学センター会長，東北大学名誉教授)
- 3 シンポジウム
 - I 放射線に係わる緊急時の対応
川上猛雄(武田薬品工業(株))，鈴木英世(元日本アイソトープ協会)，吉田史郎(東京消防庁警防部特殊災害課)
 - II 法規制の合理化
栗原紀夫(部会長，京都大学放射性同位元素総合センター)，西澤邦秀(中部支部長，名古屋大学アイソトープ総合センター)
- 4 昼食交流会(草の根ネットワーク)(1日目 12:00～14:00)
- 5 ポスター発表(説明：1日目 15:45～16:45)(展示：1日目 11:45～16:45)
- 6 相談コーナー(1日目 11:45～13:15，15:45～16:45)，機器展示
- 7 物産展(1日目 10:30～17:00)
- 8 懇親会(1日目 18:00～20:00)
- 9 年次大会まとめ
- 10 大会アピール採択
- 11 視察調査(見学会)(2日目全日 8:00～18:00)
 - コース1 東北電力(株)女川原子力発電所，マリンパル
 - コース2 日本アイソトープ協会滝沢研究所，平泉・中尊寺
 - コース3 東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター，松島

参加者 410名

概要報告 Isotope News (1996.2, 3) (No.500, 503), 「平成7年度主任者年次大会 (第36回主任者研修会) 概要報告」ほか

平成8年度主任者年次大会 (第37回主任者研修会)

「あなたが主役！」

会期 1996 (平成8) 年11月14日 (木)～15日 (金)

会場 学習院創立百周年記念会館 (東京)

内容

- 1 部会総会
「部会の活動報告」, 「今後の活動計画」ほか
- 2 科学技術庁講演
放射線安全行政について 森田健二 (科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
- 3 特別講演
I 私の放射線：ビキニからチェルノブイリまで 熊取敏之 ((財)放射線影響協会理事長)
II 白血病, 骨髄移植, そしてボランティア 大谷貴子 (全国骨髄バンク推進連絡協議会副会長)
- 4 シンポジウム「私の放射線管理学」
草間朋子 (東京大学医学部), 古賀佑彦 (藤田保健衛生大学), 池田正道 (日本アイソトープ協会), 中村尚司 (東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター)
- 5 セミナーQ&A「放射線管理の悩みと解決」
遠藤正志 (東京大学アイソトープ総合センター), 小野健司 (第一製薬(株)), 藤井張生 (東京医科歯科大学アイソトープセンター), 本田憲業 (埼玉医科大学総合医療センター), 杉浦紳之 (東京大学原子力研究総合センター)
- 6 一般発表
1) 口頭発表 (2日目 10:00～10:50)
2) ポスター発表 (2日目 10:00～15:00) (討論：奇数番 10:30～10:50, 偶数番 13:00～13:20) (展示：両日)
3) パソコン・ビデオ発表, グッズ展示 (討論：2日目 10:00～11:00) (展示：両日)
4) パソコン発表 (通信関係) (討論：2日目 9:30～11:00) (展示：両日)
5) 製品紹介 (2日目 9:30～11:00)
- 7 合同昼食会 (放管草の根ネットワーク) (1日目 12:00～14:00)
製薬放射線コンファレンス (PRC), ECD・ガスクロ管理者交流会, 教育訓練研究交流会, 医科系 (医療関係者を含む) グループ, 非密封・大学・研究グループ, RI_net, JRInet (パソコン関係) グループ
- 8 相談コーナー (1日目 13:00～14:15, 2日目 13:00～14:15)
- 9 機器展示, 書籍販売 (両日)
- 10 交流会 (1日目 17:30～19:30) (輔仁会館)
- 11 年次大会まとめ
- 12 大会アピール採択
- 13 見学会 (11/15 (金) 13:00～15:00)
学習院大学年代測定室および生命分子科学研究所

参加者 493名

概要報告 Isotope News (1997.3～4) (No.514～515), 「平成8年度主任者年次大会 (第37回主任者研修会) 概要報告」ほか

平成9年度主任者年次大会 (第38回主任者研修会)

「正しい理解を求めて」

会期 1997 (平成9) 年11月13日 (木)～14日 (金)

会場 岡山衛生会館, 三光荘 (岡山)

内容

- 1 部会総会
「本部員会活動報告」, 「支部活動報告」ほか
- 2 科学技術庁講演
放射線安全行政について 植田秀史 (科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
- 3 特別講演
1) 医療の場における放射能・放射線利用の現状と将来の展望 平木祥夫 (岡山大学医学部) 《市民参加》
2) 産業の場における放射能・放射線利用の現状と将来の展望 古田雅一 (大阪府立大学先端科学研究所) 《市民参加》
3) マスメディアから見た放射線安全 山土雅弥 (中国新聞社松江総局)
- 4 シンポジウム「放射線に関する教育についての問題点」
鈴木征四郎 (日本原子力発電(株)), 宮武秀男 (京都大学放射性同位元素総合センター), 平田俊治 (岡山県吉永町立吉永中学校), 大海義男 (中国電力(株))

会 期・会 場・内 容 他

- 5 特別展示「放射線って何だろうー放射線を見つけようー」 東北支部
パネル展示, サイコロゲーム, 霧箱作製
- 6 ポスター発表・デモンストレーション(21題目)(説明: 1日目 17:20~17:50, 2日目 9:00~10:00)(展示: 両日)
- 7 草の根分科会(昼食会)(2日目 12:00~13:50)(三光荘)
製菓放射線コンファレンス, 教育訓練研究交流会, 医系グループ, 大学グループ, JRInet, RI_netグループ
- 8 パソコンコーナー(通信等)(説明: 1日目 14:50~17:50, 2日目 9:00~10:00)(展示: 両日)
- 9 質問・相談コーナー(1日目 14:50~15:30, 2日目 9:00~10:00)
- 10 機器展示, 書籍コーナー(両日)
- 11 情報交換会(1日目 18:00~20:00)(三光荘)
- 12 年次大会まとめ
- 13 大会アピール採択

参加者 405名

概要報告 Isotope News(1998.6)(No.529), 「平成9年度主任者年次大会(第38回主任者研修会)概要報告」ほか

平成10年度主任者年次大会(第39回主任者研修会)

「低レベルの放射線や放射性物質の安全管理」

会期 1998(平成10)年11月12日(木)~13日(金)

会場 都久志会館(福岡)

内容

- 1 部会総会
「本部員会活動報告」, 「支部活動報告」ほか
- 2 特別講演
 - 1) 放射線安全行政について 植田秀史(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - 2) 放射線リスクにしきい値がある科学的証拠—人体の防衛機構はすばらしい— 近藤宗平(大阪大学名誉教授)
 - 3) エネルギー・環境をめぐる最近の諸問題 高島良正(九州大学名誉教授, (財)九州環境管理協会理事長)《一般公開》
- 3 シンポジウム「今, 考えよう! 低レベル放射性廃棄物」
行政: 森山善範(科学技術庁原子力局), 廃棄物事業者: 清水雅美(日本アイソトープ協会), 一般廃棄物研究: 松藤康司(福岡大学), リスク研究: 武田篤彦((財)体質研究会), マスコミ: 井手俊作(西日本新聞社)
- 4 ポスター発表(19題目)(説明: 1日目 16:30~17:30)(展示: 1日目 14:00~18:00, 2日目 9:00~13:00)
- 5 ポスター紹介(希望者のみ)(1日目 16:00~16:30)
- 6 分科会(昼食会)(2日目 11:30~13:30)
製菓放射線コンファレンス(PRC), 医系グループ, 教育訓練研究交流会, 大学グループ
- 7 相談コーナー(1日目 16:00~17:30, 2日目 12:30~13:30)
- 8 機器展示, 書籍コーナー(両日)
- 9 交流会(1日目 18:00~20:00)(ホテル福岡ガーデンパレス)
- 10 年次大会まとめ
- 11 大会アピール採択
- 12 見学会(11/14(土))

九州電力(株)玄海原子力発電所, 曳き山会館(唐津), 吉野ヶ里遺跡

参加者 393名

概要報告 Isotope News(1999.4~5)(No.539~540), 「平成10年度主任者年次大会分科会概要報告」, 「平成10年度主任者年次大会(第39回主任者研修会)概要報告」ほか

平成11年度主任者年次大会(第40回主任者研修会)

「主任者よ! 大志を抱け」

会期 1999(平成11)年8月26日(木)~27日(金)

会場 札幌サンプラザ(札幌)

内容

- 1 部会総会
「本部員会活動報告」, 「支部活動報告」ほか
- 2 科学技術庁講演
放射線安全行政について 下村和生(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
- 3 特別講演
 - 1) ICRP 1990年勧告の国内制度への取入れについて 小佐古敏荘(東京大学原子力研究総合センター)

会 期・会 場・内 容 他

- 2) 放射線影響研究の最近の話題 佐藤文昭((財)環境科学技術研究所)
- 3) 脂質分析を通して縄文人の生活環境を探る 中野益男(帯広畜産大学生物資源科学科)
- 4 主任者部会創立40周年記念シンポジウム
基調講演
主任者部会-21世紀のあり方-20世紀の反省と共にー 菊地透(主任者部会-21世紀のあり方検討委員長, 自治医科大学RIセンター)
シンポジウム「主任者部会よ! 大志を抱けー主任者部会の21世紀への提言ー」
 - 1) 主任者部会の役割と展望 西澤邦秀(主任者部会長, 名古屋大学)
 - 2) 主任者部会活動の動向と将来 野村貴美(企画委員長, 東京大学)
 - 3) 主任者に求められているもの 右藤文彦(広報委員長, 浜松医科大学)総合討論
コメンテータ: 川上猛雄(製薬放射線委員長, (株)新日本科学)ほか
- 5 分科会(2日目 9:30~11:00)
製薬放射線コンファレンス, 医系グループ, 病院グループ, 教育訓練研究交流会, 大学グループ
- 6 ポスター発表(30題目)(展示: 1日目 14:00~17:30, 2日目 9:00~13:00)
- 7 ポスター紹介(希望者のみ)(1日目 15:00~15:30)
- 8 相談コーナー(1日目 15:00~15:30, 2日目 9:00~10:00)
- 9 機器展示, 書籍コーナー(両日)
- 10 交流会(1日目 18:00~20:00)
- 11 年次大会まとめ
- 12 大会アピール採択

参加者 351名

概要報告 Isotope News(1999.12)(No.547),「平成11年度主任者年次大会(第40回主任者研修会)概要報告」ほか

平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)

「21世紀への発信ー安全カルチャーのリーダーとしてー」

会期 2000(平成12)年11月16日(木)~17日(金)

会場 つくば国際会議場(つくば)

内容

- 1 部会総会
「支部活動報告」,「本部員会活動報告」ほか
- 2 特別講演
 - 1) 放射線安全行政について 袴着実(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - 2) 宇宙での暮らしと宇宙放射線ー国際宇宙ステーション計画と宇宙放射線被ばく管理ー 込山立人(宇宙開発事業団 宇宙環境利用推進部) 《一般公開》
- 3 シンポジウム「法令改正について」
 - 1) 非密封RI取扱施設の対応 遠藤正志(東京大学アイソトープ総合センター)
 - 2) 放射線発生装置取扱施設の対応 平山英夫(高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター)
 - 3) 密封RI取扱施設の対応 仁神鉄人(横河電機(株))総合討論
コメンテータ: 杉山芳徳(全国検査サービス(株))
- 4 分科会(1日目 13:30~15:00)(内規に基づき発足した新分科会等をパネル討論会方式で紹介)
PET施設管理研究会(佐々木将博), 教育訓練問題検討分科会(山本幸佳), 製薬分科会(川上猛雄), 選任主任者分科会(菊地透)
- 5 ポスター発表(47題目)(1日目 16:30~18:00)(展示: 1日目 12:30~18:00)
- 6 相談コーナー(1日目 16:30~18:00, 2日目 9:00~10:00)
- 7 機器展示, 書籍コーナー(両日)
- 8 交流会(1日目 18:10~20:00)
- 9 年次大会まとめ
- 10 大会アピール採択
- 11 見学会(11/17(金) 13:30~16:00)
コース1 宇宙開発事業団つくば宇宙センター
コース2 高エネルギー加速器研究機構ニュートリノ実験施設など
コース3 筑波大学加速器センターおよび陽子線医学利用研究センター
コース4 理化学研究所組換えDNA実験P4施設

参加者 416名

概要報告 Isotope News(2001.4~6)(No.563~565),「平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)概要報告」ほか

平成13年度主任者年次大会(第42回主任者研修会)

「主任者からの「発信」」

会期 2001(平成13)年11月8日(木)～9日(金)

会場 名古屋市中心企業振興会館(名古屋)

内容

- 1 協会学術担当常務理事挨拶 池田長生常務理事
- 2 部会総会
「支部活動報告」,「本部員会活動報告」ほか
- 3 特別講演
 - I 放射線安全行政について 吉田重信(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室)
 - II 原子力発電所の緊急時対応 福井県における原子力防災訓練—緊急時モニタリング訓練を中心として— 長嶋純一(福井県原子力環境監視センター)
- 4 シンポジウム「法令改正への対応その後」
 - 1) 空間線量測定関連 中村尚司(東北大学大学院工学研究科)
 - 2) 遮蔽再計算関連 五十棲泰人(京都大学放射性同位元素総合センター)
 - 3) 個人管理健康診断関連 古賀佑彦((財)原子力安全研究協会)総合討論
コメンテータ:遠藤正志(東京大学アイソトープ総合センター), 廣瀬一男(東芝メディカル(株)), 釜田敏光(ポニー工業(株))
- 5 分科会(1日目)
 - Aグループ(14:10～15:50)
放射線計測, 製菓, 選任主任者分科会, PET施設管理研究会
 - Bグループ(16:00～17:40)
立入検査, 教育訓練問題検討, RIの飛散率・透過率検討, 放射線取扱主任者制度検討分科会
- 6 分科会討論内容のとりまとめ(各分科会報告)(2日目 11:10～11:40)
放射線計測分科会(野村貴美), 製菓分科会(川上猛雄), 選任主任者分科会(菊地透), PET施設管理研究会(佐々木将博), 立入検査分科会(久保剛), 教育訓練問題検討分科会(山本幸佳), RIの飛散率・透過率検討分科会(西澤邦秀), 放射線取扱主任者制度検討分科会(加藤和明)
- 7 ポスター発表(32題目)(1日目)(展示:1日目 13:00～17:45)
 - I グループ(14:10～15:10)
 - II グループ(16:00～17:00)
- 8 相談コーナー(1日目 14:00～15:50, 16:00～17:45)
- 9 機器展示, 書籍コーナー(両日)
- 10 交流会(1日目 18:00～20:00)
- 11 年次大会まとめ
- 12 大会アピール採択
- 13 見学会(11/9(金) 13:00～)
 - コース1 トヨタ博物館と愛知県立陶磁資料館
 - コース2 ノリタケクラフトセンターと産業技術記念館
 - コース3 日本医学放射線学会秋季臨床大会傍聴(白鳥国際会議場)

参加者 429名

概要報告 Isotope News(2002.4)(No.576),「平成13年度主任者年次大会(第42回主任者研修会)概要報告」ほか

平成14年度主任者年次大会(第43回主任者研修会)

「21世紀の放射線教育」

会期 2002(平成14)年11月7日(木)～8日(金)

会場 メルパルク大阪(大阪)

内容

- 1 部会総会
「支部活動報告」,「本部員会活動報告」ほか
 - 2 特別講演
 - 1) 放射線安全行政について 吉田重信(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室)
 - 2) 微量の放射線の人体影響—あるとすればどのくらいか— 武部啓(近畿大学理工学部)
 - 3 基調講演「21世紀の放射線教育」
学校・社会における放射線教育の重要性とそのあり方 松浦辰男(NPO法人放射線教育フォーラム, 立教大学名誉教授)
-

4 シンポジウム

1) 専門家を対象とした放射線教育

大学研究施設：大西俊之(北海道大学アイソトープ総合センター)，医療機関：赤木清(関西医科大学)，
非密封RI使用施設：矢鋪祐司(日本たばこ産業(株))，密封RI使用施設：釜田敏光(ポニー工業(株))

2) 学校の中での放射線教育

(1)今北真奈美(兵庫県川西市教育委員会)，(2)内山雅淑(岸和田市立桜台中学校)，(3)大平雅子(兵庫県立
姫路飾西高等学校)，(4)須田博文(香川医科大学)

3) 報道と放射線

(1)五十棲泰人(京都大学放射性同位元素総合センター)，(2)朝野武美(大阪府立大学先端科学研究所)，(3)
川上猛雄((株)日本ラジオアイソトープ実験支援機構)

5 分科会(活動報告・活動予定の発表)(1日目 14:00～16:30)

PET施設管理研究会(佐々木将博)，製薬分科会(川上猛雄)，RI廃棄物分科会(野村貴美)，放射線計測分
科会(野村貴美)，選任主任者分科会(菊地透)，放射線取扱主任者制度検討分科会(加藤和明)，RIの飛散
率・透過率検討分科会(西澤邦秀)，立入検査分科会(久保剛)，教育訓練問題検討分科会(山本幸佳)

6 ポスター発表(30題目)(1日目 16:30～17:30)(展示：1日目 12:00～17:30)

7 相談コーナー(1日目 12:00～13:00，16:30～17:30)

8 機器展示，書籍コーナー(両日)

9 交流会(1日目 18:00～20:00)

10 年次大会まとめ

11 大会アピール採択

参加者 421名

概要報告 Isotope News(2003.1, 4) (No.585, 588)，「平成14年度主任者年次大会(第43回主任者研修会)概要報告」ほ
か

平成15年度主任者部会年次大会(第44回放射線管理研修会)

「放射線安全管理のプロとは」

会期 2003(平成15)年11月13日(木)～14日(金)

会場 タワーホール船堀(東京)

内容

1 部会総会

「支部活動報告」，「本部員会活動報告」ほか

2 特別講演

I 国際免除レベルの法令への取り入れの基本的考え方について 斉藤卓也(文部科学省科学技術・学術政策
局原子力安全課放射線規制室)

II 低レベル放射線に対する生体応答とその疾患治療への応用を探る 小島周二(東京理科大学薬学部)
《市民参加》

III 化学物質による環境リスクとコミュニケーション 安井至(東京大学生産技術研究所) 《市民参加》

3 シンポジウム「放射線安全管理のプロとは」

1) プロとしての放射線安全管理 大崎進(放射線取扱主任者部会長，九州大学)

2) 放射線安全管理のあり方―主に主任者制度との関連において 小佐古敏荘(文部科学省放射線審議会基本部会
長，東京大学)

3) 再びスペシャル・ジェネラリスト―放射線安全管理のプロとは 西澤邦秀(日本放射線安全管理学会会長，名古屋大
学)

4 分科会活動

(1日目 15:30～18:00)

1) RI廃棄物分科会・PET施設管理研究会(合同企画討論会) 「廃棄物の現状と問題」

2) 選任主任者分科会(円卓会議形式) 「21世紀の選任主任者の改革と展望」―法令改正の動きの中で―

3) 立入検査分科会(討論会) 「主任者にとって立入検査とは？」

(2日目 10:00～12:00)

4) 教育訓練問題検討分科会(討論会) 「教育訓練資料のVR化と今後の活動について」

5) 放射線計測分科会(講演会) 「BSSの法令取り入れ」と「簡易校正」

6) RIの飛散率・透過率検討分科会(発表会) 「分科会テーマに沿った研究結果の発表」

分科会主査：RI廃棄物分科会(野村貴美)，PET施設管理研究会(二ツ川章二)，選任主任者分科会(菊地透)，
立入検査分科会(久保剛)，教育訓練問題検討分科会(山本幸佳)，放射線計測分科会(野村貴美)，RIの飛散
率・透過率検討分科会(西澤邦秀)

5 ポスター発表(28題目)(展示：1日目 10:00～17:45，2日目 9:00～16:00)

A(奇数番)グループ(1日目 12:30～13:15)

B(偶数番)グループ(2日目 12:30～13:15)

会 期・会 場・内 容 他

- 6 市民向け展示(24題目)(1日目 10:00～随時, 2日目 9:00～随時)
- 7 相談コーナー(1日目 12:00～14:00, 15:00～17:00)(2日目 11:00～13:00)
- 8 機器展示, 書籍コーナー(両日)
- 9 交流会(1日目 18:15～20:15)
- 10 年次大会まとめ
- 11 大会アピール採択

参加者 453名

概要報告 Isotope News(2004.4)(No.600),「平成15年度主任者年次大会(第44回放射線管理研修会)概要報告」ほか
平成16年度主任者部会年次大会(第45回放射線管理研修会)

「サウイフモノニワタシハナリタイー主任者と放射線の未来ー」

会期 2004(平成16)年11月4日(木)～5日(金)

会場 岩手県民会館(盛岡)

内容

- 1 部会総会
「支部活動報告」,「本部員会活動報告」ほか
- 2 特別講演
 - I 放射線安全行政について 小原薫(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室長)
 - II 最先端医療における核医学検査の意義と展望 小川彰(岩手医科大学医学部長)
 - III 極低放射能ニュートリノ検出器による素粒子・地球・太陽の謎の究明 鈴木厚人(東北大学大学院附属ニュートリノ科学研究センター長)
- 3 シンポジウム「放射線取扱主任者のあり方」
 - 1) 主任者のあり方について 宮越順二(弘前大学医学部)
 - 2) 医学・医療分野における放射線と主任者の未来,そして「夢」 菊地透(自治医科大学RIセンター)
 - 3) 加速器施設における放射線取扱主任者 柴田徳思(高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター)
 - 4) 大学・研究施設における主任者の未来,そして主任者部会への期待 大西俊之(北海道大学名誉教授)
- 4 分科会活動(1日目 15:00～15:30)
選任主任者分科会(講演・討論会)
 - ・ 今回の法令改正で選任主任者はここが変わる 菊地透(自治医科大学RIセンター)
 - ・ 選任主任者が準備すべき対応と問題点 井原智(杏林大学医学部)
- 5 分科会報告
[A](1日目 16:00～16:30)
 - 1) 放射線計測分科会(野村貴美(東京大学))
 - 2) RI廃棄物分科会(松下幹夫(日本アイソトープ協会))
[B](2日目 9:30～11:00)
 - 3) PET施設管理研究会(二ツ川章二(日本アイソトープ協会))
 - 4) 教育訓練問題検討分科会(宮武秀男(京都大学))
 - 5) 立入検査分科会(久保剛(大分大学))
 - 6) 選任主任者分科会(菊地透(自治医科大学))
- 6 ポスター発表(17題目)(展示:1日目 11:00～17:30, 2日目 9:30～12:00)(分科会活動・報告と並行して実施)
[A](奇数番)(1日目 15:00～15:45)
[B](偶数番)(1日目 15:45～16:30)
- 7 相談コーナー(1日目 15:00～16:30)
- 8 機器展示, 書籍コーナー(両日)
- 9 交流会(1日目 18:00～20:00)(ホテルロイヤル盛岡)
- 10 年次大会まとめ
- 11 大会アピール採択
- 12 見学会(11/5(金) 13:30～15:30)
日本アイソトープ協会茅記念滝沢研究所, 仁科記念サイクロトロンセンター, 武見記念館

参加者 377名

概要報告 Isotope News(2005.4)(No.612),「平成16年度主任者年次大会(第45回放射線管理研修会)概要報告」ほか
平成17年度主任者部会年次大会(第46回放射線管理研修会)

「放射線利用の安全性」

会期 2005(平成17)年11月17日(木)～18日(金)

会場 広島県民文化センター(広島)

内容

- 1 部会総会
「支部活動報告」,「本部員会活動報告」ほか
- 2 特別講演
 - I 放射線安全行政について 小原薫(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室長)
 - II 新しい原爆線量評価体系DS02とセミパラチンクスの被曝調査 星正治(広島大学原爆放射線医科学研究所)
 - III 緊急被ばく医療ネットワークと新しい放射線障害医療の研究 神谷研二(広島大学原爆放射線医科学研究所)
- 3 シンポジウム「新法令への対応の実際」
 - 1) 法令対応の要点 江田和由(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室)
 - 2) 管理区域外でのRIの取扱いー広島大学の場合 井出利憲(広島大学大学院医歯薬総合研究科)
 - 3) 新しい点検制度と定期講習制度について 阿南徹((財)原子力安全技術センター)
 - 4) 表示付認証機器の取扱い 安田昌門((株)島津製作所)
 総合討論
- 4 分科会活動
(1日目 15:35~16:50)
 - 1) 放射線計測分科会(野村貴美)
 - 2) 選任主任者分科会(菊地透)
 - 3) PET施設管理研究会(佐々木將博)
 (2日目 9:30~10:45)
 - 4) 教育訓練問題検討分科会(高淵雅廣)
 - 5) 立入検査分科会(須田博文)
- 5 ポスター発表(26題目)(展示:1日目 12:00~17:30, 2日目 9:00~12:00)

[A(奇数番)グループ](1日目 12:00~13:15)(昼食時間帯)

[B(偶数番)グループ](1日目 15:35~16:50)(分科会時間帯)
- 6 相談コーナー(1日目 15:35~16:50, 2日目 9:30~10:45)
- 7 機器展示, 書籍コーナー(両日)
- 8 交流会(1日目 18:30~20:30)(鯉城会館)
- 9 年次大会まとめ
- 10 大会アピール採択
- 11 見学会(11/18(金) 13:30~15:30)
 - 1 (財)放射線影響研究所
 - 2 仁科芳雄博士の生家と仁科会館(岡山)

参加者 433名

概要報告 Isotope News(2006.4)(No.624),「平成17年度主任者年次大会(第46回放射線管理研修会)概要報告」ほか
平成18年度主任者部会年次大会(第47回放射線管理研修会)

「九州よかとこⅡーナガサキからの発信」

会期 2006(平成18)年11月9日(木)~10日(金)

会場 長崎ブリックホール(長崎)

内容

- 1 部会総会
「支部活動報告」,「本部員会活動報告」ほか
- 2 特別講演
 - 1) 放射線安全管理行政について 梶田啓悟(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室長)
 - 2) 新超重113番元素の合成 森田浩介(理化学研究所仁科加速器研究センター)
 - 3) WHOの放射線安全プログラム 山下俊一(世界保健機関(WHO)放射線プログラム専門科学官, 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
- 3 セッション
 - 1) 改正放射線障害防止法施行から1年半ー運用状況はどのようなになっているか(共催:立入検査分科会, 選任主任者分科会)
 - ・放射線障害防止法への対応状況と問題点 久保剛(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室)
 - ・非密封RIの管理区域外使用ー許可事業所の事例 加留部善晴(福岡大学RIセンター)

会 期・会 場・内 容 他

- ・非密封RIの管理区域外使用－非許可事業所への販売方針 二ツ川章二(日本アイソトープ協会)
- ・定期確認の実施状況アンケート結果について 須田博文(香川大学医学部)

総合討論

- 2) 放射線教育－社会における主任者の役割(共催：PET施設管理研究会)
 - ・社会における主任者の位置付け 井上浩義(久留米大学医学部)
 - ・地方自治体への特殊教育 川上猛雄((株)日本ラジオアイソトープ実験支援機構)
 - ・PET施設における放射線教育 佐々木将博(姫路中央病院)
 - ・小中学校生徒及び教員への放射線教育 福德康雄(鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター)
- 3) 放射線安全管理技術のフロンティア(共催：放射線計測分科会)(ランチョンセミナー)
 - ・放射線安全管理と先端技術 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター)
 - ・画像認識自走式スマロボット 實吉敬二(東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター)
 - ・次世代型バイオドシメトリー 達家雅明(広島大学原爆放射線医科学研究所)
 - ・RFIDの現状と展望 丸山智弘(富士電機システムズ(株))
 - ・放射線計測技術 馬場護(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター)

4 ポスター発表(34題目)(展示：1日目 13:00～17:20, 2日目 9:00～12:00)

奇数番号(1日目 14:40～15:30)

偶数番号(1日目 15:30～16:20)

5 分科会(5つの分科会がセッション共催やポスター発表を行う)

分科会主査：立入検査分科会(須田博文)，選任主任者分科会(菊地透)，PET施設管理研究会(佐々木将博)，放射線計測分科会(野村貴美)，教育訓練問題検討分科会(高淵雅廣)

6 相談コーナー(1日目 14:40～16:20, 2日目 9:15～10:40)

7 機器展示(両日)

8 交流会(1日目 18:00～20:00)(長崎新聞文化ホール)

9 年次大会まとめ

10 大会アピール採択

参加者 369名

概要報告 Isotope News(2007.4)(No.636),「平成18年度主任者年次大会(第47回放射線管理研修会)概要報告」ほか
平成19年度主任者部会年次大会(第48回放射線管理研修会)

「主任者はいかにして使用者と放射線・放射性同位元素との間の架け橋になるか」

会期 2007(平成19)年11月4日(木)～5日(金)

会場 かでる2.7(道民活動センタービル)(札幌)

内容

1 部会総会

「支部活動報告」，「本部員会活動報告」ほか

2 特別講演

- 1) 放射線安全行政について 梶田啓悟(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室長)
- 2) 知床の生態系とその保全 大泰司紀之(北海道大学名誉教授)
- 3) ここまで来た重粒子線治療：13年間の経験 辻井博彦(放射線医学総合研究所重粒子医科学センター長)

3 セッション

- 1) 下限数量以下非密封放射性同位元素の管理区域外使用の現状と将来像－制度の意図と普及の難しさ－(共催：選任主任者分科会，立入検査分科会)
 - ・下限数量以下の非密封放射性同位元素の管理区域外使用について 前田洋介(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室)
 - ・下限数量以下の非密封放射性同位元素の販売について－最近の状況 二ツ川章二(日本アイソトープ協会)
 - ・大学における現状と将来 馬場護(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター)
 - 2) 放射線に関する啓発活動
 - ・日本放射線影響学会として行っている社会への啓発活動 大西武雄(奈良県立医科大学医学部)
 - ・発電所従事者への放射線安全教育 石田光生(北海道電力(株)泊発電所)
 - ・「みんなのくらしと放射線展」24年の歩み 八木孝司(大阪府立大学産学官連携機構放射線研究センター)
 - ・原子力オープンスクール－北海道地区の活動 板垣正文(北海道大学大学院工学研究科)
 - 3) 測定技術の向上と安全管理への応用(共催：放射線計測分科会，PET施設管理研究会)
 - ・放射線測定器の最近の技術動向 松原昌平(アロカ(株))
 - ・放射線可視化システムの検証(PET施設での測定例) 浅見文克((株)千代田テクノル)
-

会 期・会 場・内 容 他

・医薬品としてのFDG-PET製剤の合成製造と放射線管理 末永浩(日本メジフィジックス(株)札幌ラボ)

4 ポスター発表(26題目)(展示:1日目 12:00~17:20, 2日目 9:00~12:00)

奇数番号(1日目 14:40~15:30)

偶数番号(1日目 15:30~16:20)

5 分科会(5つの分科会がセッション共催やポスター発表を行う)

分科会主査:選任主任者分科会(菊地透), 立入検査分科会(須田博文), 放射線計測分科会(野村貴美), PET施設管理研究会(佐々木将博), 教育訓練問題検討分科会(高淵雅廣)

6 相談コーナー(1日目 14:30~16:20)

7 機器展示(両日)

8 交流会(1日目 18:00~20:00)(札幌ガーデンパレス)

9 年次大会まとめ

10 大会アピール採択

参加者 341名

概要報告 Isotope News(2008.4)(No.648),「平成19年度主任者年次大会(第48回放射線管理研修会)概要報告」ほか

平成20年度主任者部会年次大会(第49回放射線管理研修会)

「モノづくり中部からの発信ー安全・安心の放射線利用と主任者の役割ー」

会期 2008(平成20)年11月13日(木)~14日(金)

会場 中電ホール(名古屋)

内容

1 部会総会

「支部活動報告」,「本部員会活動報告」ほか

2 特別講演

1) 最近の放射線安全行政について 前田洋介(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室)

2) ものづくり現場改善の真髄とはーJコスト論ー 田中正知((株)Jコスト研究所・代表, ものづくり大学名誉教授)

3) 間もなく稼動開始「J-PARC」が生み出す大強度中性子ビームー最先端の産業研究開発への活用ー 鈴木國弘(日本原子力研究開発機構J-PARCセンター)

4) 放射線取扱主任者部会創立50周年から100周年に向かって 菊地透(自治医科大学RIセンター)

3 セッション

1) 放射線施設のセキュリティと安全管理(共催:企画委員会, 選任主任者分科会)

・医療施設における放射線源のセキュリティ 成田浩人(東京慈恵会医科大学附属病院)

・非密封RI使用施設のセキュリティートラブル対応事例報告ー 後藤稔男(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター)

・密封線源施設におけるセキュリティ確保に向けた取り組み 鈴木力雄((社)日本非破壊検査工業会)

・放射線源のセキュリティと放射線源登録管理制度 石井忠(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室)

2) 廃棄物処理の将来とクリアランス(共催:法令検討委員会クリアランスWG)

・クリアランスを巡る最近の動き 山本英明(日本原子力研究開発機構原子力科学研究所)

・加速器放射化物の取扱についての検討状況 榎本和義(高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター)

・アイソトープ廃棄物の処理・処分における将来展望 林健一(日本アイソトープ協会)

3) RI・放射線の利用と発展的未來

・RI利用の発展的開拓に向けてーWGの活動ー 井戸達雄(日本アイソトープ協会常務理事)

・放射性薬剤の新しい展開:内用療法用放射性医薬品 佐治英郎(京都大学大学院薬学研究科)

・PET用分子プローブの製造とその利用 鈴木和年(放射線医学総合研究所)

・高エネルギーガンマ線イメージングを用いた先進非破壊検査技術 井口哲夫(名古屋大学大学院工学研究科)

4 ポスター発表(30題目)(展示:1日目 12:00~17:20, 2日目 9:00~12:00)

奇数番号(1日目 14:40~15:30)

偶数番号(1日目 15:30~16:20)

5 分科会(5つの分科会がセッション共催やポスター発表を行う)

分科会主査:選任主任者分科会(菊地透), PET施設管理研究会(佐々木将博), 教育訓練問題検討分科会(高淵雅廣), 放射線計測分科会(野村貴美), 立入検査分科会(須田博文)

6 相談コーナー(1日目 14:40~16:20)

7 機器展示, 書籍コーナー(両日)

会 期・会 場・内 容 他

8 交流会(1日目 18:00～20:00)(東桜会館)

9 年次大会まとめ

10 大会アピール採択

参加者 356名

概要報告 Isotope News(2009.4)(No.660),「平成20年度主任者年次大会(第49回放射線管理研修会)概要報告」ほか

平成21年度主任者部会年次大会(第50回放射線管理研修会)ー主任者部会設立50周年記念大会ー

「温故知新ーこれからの主任者」

会期 2009(平成21)年11月12日(木)～13日(金)

会場 タワーホール船堀(東京)

内容

1 部会総会

「支部活動報告」,「本部員会活動報告」ほか

2 特別講演

1) 最近の安全規制の動向について 中矢隆夫(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室長)

2) 放射線,放射能についての教育 有馬朗人(日本アイソトープ協会会長)

3) 宇宙・人間・素粒子 小柴昌俊(平成基礎科学財団理事長,東京大学特別荣誉教授)

3 50周年記念講演

1) 主任者部会50年の歩みの中で 池田長生(筑波大学名誉教授,元日本アイソトープ協会常務理事,元部会長)

2) 放射線取扱主任者との関わりを振り返る 繁田道男(前(株)コーガアイソトープ社長)

3) 主任者の現在とこれから 斎藤直(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター,主任者部会長)

4 50周年記念シンポジウム「主任者と危機管理」(共催:企画委員会)

1) 主任者から見た危機管理 斎藤直(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター,主任者部会長)

2) リスクのマネジメント 木下富雄(国際高等研究所,京都大学名誉教授)

3) 放射線施設の危機管理 石井忠(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室)

4) 近畿支部における社会的活動の紹介 赤木清(関西医科大学,主任者部会近畿支部長)

5 グループ別討論会「主任者大いに語りあうー放射線管理のノウハウ」

密封使用グループ,非密封使用グループ,放射線発生装置使用グループ,医療関連グループ
総合討論

4 ポスター発表(21題目)(展示:1日目 12:00～17:40,2日目 9:00～12:00)

奇数番号(1日目 16:10～16:55)

偶数番号(1日目 16:55～17:40)

5 分科会(5つの分科会がポスター発表を行う)

分科会主査:PET施設管理研究会(佐々木将博),教育訓練問題検討分科会(高淵雅廣),選任主任者分科会(菊地透),放射線計測分科会(野村貴美),立入検査分科会(須田博文)

6 市民向け展示(1日目 9:30～17:30,2日目 9:30～12:00)

7 相談コーナー(2日目 11:30～12:50)

8 機器展示,書籍コーナー(両日)

9 交流会(1日目 18:00～20:00)

10 年次大会まとめ

11 大会アピール採択

参加者 367名

概要報告 Isotope News(2010.4)(No.672),「平成21年度主任者年次大会(第50回放射線管理研修会)主任者部会設立50周年記念大会概要報告」ほか

表4. 4 周年記念として実施された講演会・特集等

実 施 内 容 他

放射線取扱主任者部会設立10周年記念

放射線取扱主任者部会第10回総会を記念して、歴代部会長(第1代 笥弘毅, 第2代 藤井正一)の功労者表彰と記念講演が行われた。

☆ 放射線取扱主任者部会第10回総会 [Isotope News (1969.12, No.185)]

記念講演

- 1) アイソトープ診療と放射線管理の問題点 笥弘毅(千葉大学医学部)
- 2) 放射線施設の変遷 藤井正一(芝浦工業大学工学部)

放射線取扱主任者部会設立25周年記念

部会が発足して25年という一つの節目を迎えたのを機会に、若い部会員の方にこれまでの部会の歩みを知っていただき、かつ現在抱えている課題と一緒に考えていただきたいということで座談会が企画され、その内容は、特集としてIsotope Newsに掲載された。

☆ 放射線取扱主任者部会設立25周年記念特集 [Isotope News (1985.3, No.369)]

- 1) 巻頭言 (p1)
 - 主任者部会25周年を迎えて思うこと 笥弘毅(帝京大学医学部)
- 2) 座談会 主任者部会設立25周年を迎えて
 - ・第一部 主任者部会の歩み (p2～p9)
 - 出席者: 大野明¹⁾, 笥弘毅²⁾, 藤井正一³⁾, 司会: 池田長生⁴⁾
 - 1)(株)日発グループ中央研究所, 2)帝京大学医学部, 3)芝浦工業大学工学部, 4)筑波大学化学系
 - ・第二部 将来に向かって (p9～p16)
 - 出席者: 油井多丸¹⁾, 池田勲夫²⁾, 河村正一³⁾, 久保寺昭子⁴⁾, 中埜榮三⁵⁾, 司会: 真室哲雄⁶⁾
 - 1)日本原子力研究所ラジオアイソトープ・原子炉研修所, 2)ダイナボット(株), 3)放射線医学総合研究所, 4)東京理科大学薬学部, 5)名古屋大学理学部, 6)日本アイソトープ協会

放射線取扱主任者部会設立30周年記念

設立30周年を記念して、Isotope Newsに記念特集(1)～(3)が掲載された。

1 放射線取扱主任者部会30周年記念特集(1) [Isotope News (1990.7, No.433)] (p57～p61)

- 1) 主任者部会設立30年に思う 池田長生(部会長, 日本アイソトープ協会)
- 2) 主任者部会30周年を祝す 吉田哲彦(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
- 3) 30年をふり返って 笥弘毅(帝京大学医学部)
- 4) 放射線取扱主任者部会と私 藤井正一(芝浦工業大学名誉教授)
- 5) 主任者部会のもう一つの役割 大野明(日本発条(株))

2 放射線取扱主任者部会30周年記念特集(2) [Isotope News (1990.8, No.434)] (p51～p57)

- 1) ご挨拶 三木良太(関西常任委員会委員長, 近畿大学原子力研究所)
- 2) 主任者部会関西常任委員会委員長を5期務めて 真室哲雄(日本アイソトープ協会甲賀研究所)
- 3) 委員からの一言
 - ・副委員長となって 森五彦(神戸女子薬科大学薬学部)
 - ・放射線取扱主任者部会関西常任委員としての思い出 石山稔雄(大阪府立大学附属研究所)
 - ・若い主任者の活躍を期待して 大熊重三(大阪大学産業科学研究所)
 - ・「放射線のABC」の編集に携わって 高淵雅廣(大阪医科大学中央研究室)
 - ・ひょんなことから委員に 田中芳正(日本メジフィジックス(株)宝塚工場)
 - ・七夕様への願いごと 三奈木康夫(マルホ(株)大淀研究所)
 - ・委員の一人として 山下仁平(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター)
 - ・放射線取扱主任者部会30周年に寄せて 豊田亘博(日本メジフィジックス(株)体外試薬部)
 - ・人通り 林伸宜(生体機能研究所)
 - ・放射線取扱主任者部会関西常任委員会のお世話を終えて 友定昭宏(日本アイソトープ協会医療一課)

3 放射線取扱主任者部会30周年記念特集(3) [Isotope News (1990.9, No.435)] (p46～p50)

- 1) 中部常任委員会も10周年を迎えて 上西時司(中部常任委員会委員長, 岐阜医療技術短期大学)
- 2) RIとの付き合い35年 及川淳(東北地方委員会委員, 東北大学抗酸菌病研究所)
- 3) 九州地区での部会活動の問題点 高島良正(九州地方委員会委員, 九州大学理学部)
- 4) 北海道地区委員会 大西俊之(北海道地方委員会委員, 北海道大学アイソトープ総合センター)
- 5) 中部常任委員会の活動
 - ・中部常任委員会設立の頃 中埜榮三(前中部常任委員会委員長, 名古屋大学名誉教授)
 - ・名古屋での主任者部会総会 越野雅夫(前中部常任委員, 元名古屋工業技術試験所)
 - ・放射線研究会の開催2人3脚 荒井友光(中部原子力懇談会事業部)

放射線取扱主任者部会設立35周年記念

主任者部会創立35周年と同時に、放射線利用100年を迎えることの節目の年に因み、企画委員会・広報委員会の共同企画により、各層からの寄稿や当部会が主催する記念行事の紹介などを中心に記念特集記事を組み、編集してIsotope Newsに記念特集(1)～(6)が掲載された。

- 1 主任者部会創立35周年記念特集「放射線100年と主任者」(1) [Isotope News (1994.12, No.486)] (p43～p53)
 - 1) 放射線取扱主任者部会の35周年を祝して 藤井正一(第2代部会長)
 - 2) 組織強化に向けて 大野明(第5代部会長)
 - 3) 放射線利用100年と主任者 池田長生(第6代部会長)
 - 4) 主任者部会35周年に寄せて 池田正道(第7代部会長)
 - 5) 主任者部会への期待 栗原紀夫(部会長, 京都大学放射性同位元素総合センター)
 - 6) 国際放射線防護委員会と放射線取扱主任者 佐藤文昭(北海道支部長, 北海道大学獣医学部)
 - 7) 主任者部会とお付合いして 中村尚司(東北支部長, 東北大学サイクロトン・ラジオアイソトープセンター)
 - 8) 放射線取扱主任者の社会的地位向上の確立を目指して 野村貴美(関東支部長, 東京大学工学部)
 - 9) 部会活動を一層活発にするために考えていること 西澤邦秀(中部支部長, 名古屋大学アイソトープ総合センター)
 - 10) 研究用RI利用の危機 川上猛雄(近畿支部長, 武田薬品工業(株)創薬研究本部)
 - 11) 放射線利用者・選任主任者・部会員として 井出利憲(中国・四国支部長, 広島大学医学部)
 - 12) 主任者部会創立35周年・放射線利用100年に寄せて 高島良正(九州支部長, (財)九州環境管理協会)
- 2 主任者部会創立35周年記念特集「放射線100年と主任者」(2) [Isotope News (1995.1, No.487)] (p49～p57)
 - 1) 部会員の増員について 大西俊之(北海道支部選出評議員, 北海道大学アイソトープ総合センター)
 - 2) 放射線利用100年に寄せて 清野浩(東北支部選出評議員, 東北大学医療技術短期大学部)
 - 3) 部会創立35年に寄せて 上養義朋(関東支部選出評議員, 理化学研究所)
 - 4) 大黒柱 久保寺昭子(東京常任委員(1970年4月～1976年3月および1980年4月～1990年3月), 東京理科大学薬学部)
 - 5) 地方における主任者部会活動を振り返って 上西時司(中部支部選出評議員, 中部常任委員会委員長(1988年4月～1992年3月))
 - 6) 主任者部会への要望, 期待 森厚文(中部支部選出評議員, 金沢大学アイソトープ総合センター)
 - 7) 放射線利用100年に寄せて 田中芳正(近畿支部選出評議員, 日本メジフィジックス(株))
 - 8) 医療放射線管理に主任者部会の支援を期待 砂屋敷忠(中国・四国支部選出評議員, 広島大学歯学部附属病院)
 - 9) 放射線利用100年に寄せて 増田康治(九州支部選出評議員, 九州大学医学部)
- 3 主任者部会創立35周年記念特集「放射線100年と主任者」(3) [Isotope News (1995.2, No.488)] (p49～p59)
 - 1) これからの放射線取扱主任者および主任者部会の活動に対する期待 矢野周作(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)
 - 2) 主任者部会に期待する 飯田博美(放射線障害防止中央協議会会長)
 - 3) 主任者部会と私 真室哲雄(日本アイソトープ協会顧問)
 - 4) 主任者部会活動を振り返って 盛光亘(神奈川県技術研修センター)
 - 5) 若手主任者の声
 - ・ ご指導よろしくお願ひいたします 大石小太郎(横須賀共済病院)
 - ・ 放射線管理を行う者として 酒井俊也(日本原子力研究所)
 - ・ 理想を知った現実側の人間として 重田典子(日本原子力研究所アイソトープ部)
 - ・ 主任者部会に入会して 土屋卓義(エスエス技研(株)放射線管理部)
 - ・ 主任者部会に加入して 平岡和佳子(明治大学理工学部)
 - 6) 部会員の声
 - ・ 主任者としての30年を振り返って 青木敦(京都府立大学名誉教授)
 - ・ 選任されずも主任者としての自覚を持って 川崎英弘(群馬県立医療短期大学)
 - ・ 診療放射線技師が主任者となって 堤直葉(越谷市立病院)
 - ・ 使用者, 規制者, 主任者を歩いて 齡亀一郎
- 4 主任者部会創立35周年記念特集「放射線100年と主任者」(4) [Isotope News (1995.3, No.489)] (p47～p56)
 - 1) 主任者部会創立35周年・放射線利用100年によせて 沼宮内弼雄(日本保健物理学会会長, (財)放射線計測協会)
 - 2) 放射線取扱主任者部会創立35周年によせて 飯田博美((社)日本保安用品協会会長)
 - 3) 機能と形態の合体画像 片山仁((社)日本医学放射線学会総務理事, 順天堂大学医学部放射線医学教室)
 - 4) 主任者部会創立35周年・放射線利用100年によせて 佐々木康人(日本核医学会会長, 東京大学医学部放射線科, ICRP 第3委員会委員)
 - 5) 放射線取扱主任者部会創立35周年によせて 東田善治((社)日本放射線技術学会学術交流委員長, 熊本大学医療技術短期大学部)

実 施 内 容 他

- 6) 主任者部会創立35周年・放射線利用100年にあたって 古賀佑彦(医療放射線防護連絡協議会会長, 藤田保健衛生大学)
 - 7) 放射線取扱主任者部会創立35周年によせて 氏平祐輔(理工学部会部会長, 東京大学先端技術研究センター)
 - 8) 放射線取扱主任者: 貴重な存在—うるさい存在 宮地重遠(ライフサイエンス部会部会長, (株)海洋バイオテクノロジー研究所)
 - 9) 主任者誕生100年に向けて? 大久保恭仁(東北薬科大学放射薬品学)
 - 10) これからの主任者活動について 堀内正和(ハリソン電機(株)大阪工場)
 - 11) 主任者免状を手にしてから 山下仁平(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター)
-
- 5 主任者部会創立35周年記念特集「放射線100年と主任者」(5) [Isotope News (1995.5, No.491)] (p49~p53)
主任者部会創立35周年を記念して, 記念講演会と記念祝賀会が開催された。記念講演の内容は, 記念特集(5)~(6)に掲載された。
- 1) 記念講演
原子力の安全性をめぐる諸問題 寺島東洋三(原子力安全委員会委員)
-

《部会創立35周年記念講演会等プログラム》

〔放射線利用100年と安全管理—主任者が果たしてきた役割・果たすべき役割—〕

○記念講演会

開催日 1995年2月23日(木) 13:30~17:00

会 場 がん研究振興財団国際研究交流会館(東京)

・記念講演

1) 放射線利用100年と健康影響評価 重松逸造((財)放射線影響研究所理事長)

2) 原子力の安全性をめぐる諸問題 寺島東洋三(原子力安全委員会委員)

・部会長報告

主任者の果たしてきた役割・果たすべき役割 栗原紀夫(主任者部会部会長, 京都大学放射性同位元素総合センター)

○記念祝賀会

開催日 1995年2月23日(木) 17:30~22:00

会 場 築地スエヒロ(東京)

-
- 6 主任者部会創立35周年記念特集「放射線100年と主任者」(6) [Isotope News (1995.6, No.492)] (p49~p58)

1) 記念講演

放射線利用100年と健康影響評価 重松逸造((財)放射線影響研究所理事長)

2) 部会長報告

主任者の果たしてきた役割・果たすべき役割 栗原紀夫(部会長, 京都大学放射性同位元素総合センター)

3) 記念事業を終えて—「RIの日」を夢見て— 菊地透(記念事業実行委員長, 企画委員長, 自治医科大学RIセンター)

放射線取扱主任者部会設立40周年記念

部会創立40周年を記念して, Isotope Newsに記念特集を掲載すると共に, 8月に開催された平成11年度主任者年次大会で記念シンポジウムを行い, 11月に記念講演会が開催された。

- 1 主任者部会創立40周年記念特集 [Isotope News (1999.6, No.541)] (p62~p67)

1) 不惑の年 久保寺昭子(東京理科大学薬学部)

2) 関西常任委員会の想い出 真室哲雄(日本アイソトープ協会顧問)

3) 中部常任委員会発足のころ 中埜榮三(名古屋大学名誉教授)

-
- 2 主任者部会創立40周年記念特集 [Isotope News (1999.8, No.543)] (p83~p85)

1) これからの主任者部会 西澤邦秀(部会長, 名古屋大学アイソトープ総合センター)

-
- 3 平成11年度主任者年次大会(第40回主任者研修会) [Isotope News (1999.12, No.547)]

主任者部会創立40周年記念シンポジウム

開催日 1999年8月27日(金) 13:30~15:30

会 場 札幌サンブラザ(札幌)

・基調講演

主任者部会—21世紀のあり方—20世紀の反省と共に— 菊地透(主任者部会—21世紀のあり方検討委員長, 自治医科大学RIセンター)

・シンポジウム「主任者部会よ! 大志を抱け—主任者部会の21世紀への提言—」

1) 主任者部会の役割と展望 西澤邦秀(部会長, 名古屋大学アイソトープ総合センター)

2) 主任者部会活動の動向と将来 野村貴美(企画委員長, 東京大学大学院工学系研究科)

3) 主任者に求められているもの 右藤文彦(広報委員長, 浜松医科大学医学部)

総合討論

コメンテーター: 川上猛雄(製薬放射線委員長, (株)新日本科学)ほか

4 放射線取扱主任者部会創立40周年記念講演会 [Isotope News(2000.1, No.548)] (p59～p64)

「求められる放射線取扱主任者とは」

《プログラム》

開催日 1999年11月10日(水) 13:00～17:00

会 場 学士会館(東京)

総合司会 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科)

・特別講演(13:00～14:40)

1) アイソトープを用いて病気の診断・治療をどのようにするか—最近の診断・治療— 佐々木康人(放射線医学総合研究所)

2) ヒューマンエラーとその防止 安部北夫(前聖学院大学学長)

・「主任者部会・21世紀のあり方」報告(14:50～15:00)

菊地透(主任者部会-21世紀のあり方検討委員長, 自治医科大学RIセンター)

・ラウンドテーブルディスカッション(15:00～17:00)

「求められる主任者像」

司会 中村尚司(東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター)

1) 放射線取扱主任者として 西澤邦秀(主任者部会長, 名古屋大学アイソトープ総合センター)

2) 放射線審議会に寄せられた意見を通して思う“求められる主任者像” 沼宮内弼雄(放射線審議会基本部会, (財)放射線計測協会)

3) 医学研究機関および病院における放射線取扱主任者 遠藤啓吾(群馬大学医学部)

4) 報道機関から見た「求められる主任者像」 三島勇(読売新聞社)

コメンテーター: 下村和生(科学技術庁原子力安全局放射線安全課長)ほか

・交流会(17:20～19:20)

放射線取扱主任者部会設立50周年記念

部会創立50周年を記念して、11月に開催された平成21年度主任者部会年次大会は、主任者部会設立50周年記念大会とし、記念シンポジウムと記念講演を行った。

☆ 平成21年度主任者部会年次大会(第50回放射線管理研修会) [Isotope News(2010.4, No.672)]

主任者部会設立50周年記念大会

会 場 タワーホール船堀(東京)

○50周年記念シンポジウム「主任者と危機管理」(共催: 企画委員会)

開催日 2009年11月13日(金) 10:00～11:30

1) 主任者から見た危機管理 斎藤直(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター, 主任者部会長)

2) リスクのマネジメント 木下富雄(国際高等研究所, 京都大学名誉教授)

3) 放射線施設の危機管理 石井忠(文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課放射線規制室)

4) 近畿支部における社会的活動の紹介 赤木清(関西医科大学, 主任者部会近畿支部長)

○50周年記念講演

開催日 2009年11月13日(金) 12:50～14:20

1) 主任者部会50年の歩みの中で 池田長生(筑波大学名誉教授, 元日本アイソトープ協会常務理事, 元部会長)

2) 放射線取扱主任者との関わりを振り返る 繁田道男(前(株)コーガアイソトープ社長)

3) 主任者の現在とこれから 斎藤直(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター, 主任者部会長)

表4. 5 放射線従事者等を対象とした講習会・勉強会の開催記録

4.5.1 放射性同位元素協会(関西常任委員会)

西暦	年号	月	日	名称等	会場	参加者数	内容等
1962	昭和37	10	12	第1回放射線従事者講習会	大阪府職員会館	122	ほかに主催：関西原子力懇談会，大阪府立放射線中央研究所
1963	昭和38	7	11	第2回放射線従事者講習会	大阪大学理学部	148	ほかに主催：関西原子力懇談会，大阪府立放射線中央研究所
1964	昭和39	7	10	第3回放射線従事者講習会	大阪科学技術センター	135	ほかに主催：関西原子力懇談会，大阪府立放射線中央研究所
1965	昭和40	7	9-10	第4回放射線従事者講習会	大阪科学技術センター	82	ほかに主催：関西原子力懇談会，大阪府立放射線中央研究所
1966	昭和41	7	7-9	第5回放射線従事者講習会	大阪科学技術センター	43	共催：大阪府立放射線中央研究所，関西原子力懇談会，日本原子力学会関西支部
1967	昭和42	7	4-7	第6回放射線従事者講習会	大阪府立放射線中央研究所	30	共催：大阪府立放射線中央研究所，関西原子力懇談会，日本原子力学会関西支部

4.5.2 放射性同位元素協会，大阪府立放射線中央研究所

西暦	年号	月	日	名称等	会場	参加者数	内容等
1968	昭和43	8	21	第7回放射線従事者講習会	大阪府立放射線中央研究所	41	共催：関西原子力懇談会，日本原子力学会関西支部

4.5.3 放射線取扱主任者部会

西暦	年号	月	日	名称等	会場	参加者数	内容等
1978	昭和53	3	23	第1回放射線管理勉強会	アイソトープ協会	48	空間線量の測定
1979	昭和54	3	15	第2回放射線管理勉強会	アイソトープ協会		皮膚の汚染と除去
1980	昭和55	3	19	第3回放射線管理勉強会	アイソトープ協会	50	個人外部被曝線量の評価
1981	昭和56	3	16	第4回放射線管理勉強会	アイソトープ協会	46	環境モニタリング機器の取扱い方

表4. 6 「放射線業務従事者のための教育訓練講習会(新規・再教育)」の記録

4.6.1 北海道地方委員会

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1990	平成2	4	27	新規教育・再教育	きょうさいサロン(札幌)	61	北海道地方委員会として，第1回放射線業務従事者のための教育訓練講習会
1991	平成3	4	26	新規教育・再教育	きょうさいサロン(札幌)	58	
1992	平成4	4	24	新規教育・再教育	きょうさいサロン(札幌)	68	

4.6.2 北海道支部委員会(1)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1993	平成5	4	23	新規教育・再教育	きょうさいサロン(札幌)	60	
1994	平成6	4	22	新規教育・再教育	きょうさいサロン(札幌)	57	
1995	平成7	4	20	新規教育・再教育	きょうさいサロン(札幌)	51	
1996	平成8	4	26	新規教育・再教育	きょうさいサロン(札幌)	59	

4.6.2 北海道支部委員会(2)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1997	平成9	4	25	新規教育・再教育	きょうさいサロン(札幌)	56	
1998	平成10	4	24	新規教育・再教育	きょうさいサロン(札幌)	42	
1999	平成11	4	23	新規教育・再教育	きょうさいサロン(札幌)	59	
2000	平成12	4	21	新規教育・再教育	ホテル札幌ガーデンパレス	66	
2001	平成13	4	27	新規教育・再教育	ホテル札幌ガーデンパレス	新規:25 再:18	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 加茂直樹(北海道大学大学院薬学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 関興一(北海道医療大学薬学部) - 放射線の人体に与える影響および放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 塚本江利子(北海道大学大学院医学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅲー生物科学での利用の実際ー 有賀寛芳(北海道大学大学院薬学研究科) - 放射線障害の防止に関する法令 ニッ川章二(日本アイソトープ協会滝沢研究所)
2002	平成14	4	26	新規教育・再教育	北海道大学百年記念会館	新規:52 再:13	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 加茂直樹(北海道大学大学院薬学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 関興一(北海道医療大学薬学部) - 放射線の人体に与える影響および放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 加藤千恵次(北海道大学大学院医学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅲー血液製剤と放射線ー 平山順一(北海道赤十字血液センター) - 放射線障害の防止に関する法令 ニッ川章二(日本アイソトープ協会滝沢研究所)
2003	平成15	4	25	新規教育・再教育	北海道大学百年記念会館大講堂	新規:30 再:18	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 加茂直樹(北海道大学大学院薬学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 大倉一枝(北海道医療大学薬学部) - 放射線の人体に与える影響および放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 大西俊之(北海道大学名誉教授) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅲーサーベイメータの特徴と取扱についてー 青木功二(アロカ(株)) - 放射線障害の防止に関する法令 ニッ川章二(日本アイソトープ協会滝沢研究所)
2004	平成16	4	30	新規教育・再教育	北海道大学学術交流会館	新規:30 再:11	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 大西俊之(北海道大学名誉教授) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 加茂直樹(北海道大学大学院薬学研究科) - 放射線の人体に与える影響および放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 遠藤大二(酪農学園大学獣医学部) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅲー火災事故時の対応ー 濱岡文典(札幌市消防局防災部防災課防災計画担当係長) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際ⅣーRI廃棄物の現状ー ニッ川章二(日本アイソトープ協会滝沢研究所) - 放射線障害の防止に関する法令 ニッ川章二(日本アイソトープ協会滝沢研究所)
2005	平成17	4	21	新規教育・再教育	北海道大学学術交流会館	新規:38 再:14	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 関興一(北海道大学アイソトープ総合センター) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 加茂直樹(北海道大学大学院薬学研究科)

4.6.2 北海道支部委員会(3)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2005	平成17	4	21				- 放射線の人体に与える影響および放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 遠藤大二(酪農学園大学獣医学部) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅲー泊発電所における放射線管理についてー 松浦昌文(北海道電力(株)泊発電所安全管理課) - 放射線障害の防止に関する法令ー放射線障害防止法の改正についてー 桑原幹典(北海道大学大学院獣医学研究科)
2006	平成18	4	28	新規教育・再教育	北海道大学学術交流会館	新規:26 再:14	- 放射性同位元素または放射線発生装置の安全取扱の基礎 加茂直樹(北海道大学大学院薬学研究科) - 放射性同位元素または放射線発生装置取扱時の注意事項等 林正信(酪農学園大学獣医学部) - 放射線の人体に与える影響 桑原幹典(北海道大学大学院獣医学研究科) - 放射線治療装置の安全な取扱と品質管理 鈴木恵士郎(北海道大学病院放射線科) - 放射線障害の防止に関する法令 関興一(北海道大学アイソトープ総合センター)
2007	平成19	4	27	新規教育・再教育	北海道大学学術交流会館	新規:32 再:12	- 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅰ(基礎) 大倉一枝(北海道医療大学薬学部) - 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅱ(取扱時の注意事項等) 林正信(酪農学園大学獣医学部) - 放射線の人体に与える影響 稲波修(北海道大学大学院獣医学研究科) - 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅲ(がん治療への利用の実際) 西尾正道((独)国立病院機構北海道がんセンター) - 放射線障害の防止に関する法令 関興一(北海道大学アイソトープ総合センター)
2008	平成20	4	28	新規教育・再教育	北海道大学百年記念会館大会議室	新規:32 再:10	- 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅰ(基礎) 大倉一枝(北海道医療大学薬学部) - 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅱ(取扱時の注意事項等) 林正信(酪農学園大学獣医学部) - 放射線の人体に与える影響 稲波修(北海道大学大学院獣医学研究科) - 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅲ(高レベル放射性廃棄物の地層処分) 佐藤正知(北海道大学大学院工学研究科) - 放射線障害の防止に関する法令 関興一(北海道大学アイソトープ総合センター)
2009	平成21	4	24	新規教育・再教育	北海道大学百年記念会館大会議室	新規:25 再:9	- 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅰ(基礎) 伊藤慎二(北海道薬科大学) - 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅱ(取扱時の注意事項等) 林正信(酪農学園大学獣医学部) - 放射線の人体に与える影響 桑原幹典(北海道大学名誉教授) - 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅲ(アイソトープの医療への応用ー核医学診断薬剤の開発) 関興一(北海道大学アイソトープ総合センター) - 放射線障害の防止に関する法令(事故事例から学ぶ) 二ツ川章二(日本アイソトープ協会)
2010	平成22	4	23	新規教育・再教育	北海道大学アイソトープ総合センター	新規:26 再:15	- 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅰ(基礎) 関興一(北海道大学アイソトープ総合センター) - 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅱ(実際) 伊藤慎二(北海道薬科大学)

4.6.2 北海道支部委員会(4)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2010	平成22	4	23				- 放射線の人体に与える影響および放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅲ(取扱時の注意事項等) 林正信(酪農学園大学獣医学部) - 放射性同位元素等又は放射線発生装置の安全取扱Ⅳ(地球温暖化に果たす海洋の役割ー放射性同位元素を用いた海洋学研究の重要性ー) 工藤勲(北海道大学大学院水産科学研究院) - 放射線障害の防止に関する法令 野矢洋一(北海道大学アイソトープ総合センター)

4.6.3 東北地方委員会(共催：東北放射線科学センター)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1989	平成元	10	27	再教育	勾当台会館(仙台)	52	東北地方委員会として、第1回放射線業務従事者のための教育訓練講習会
1990	平成2	4	25	新規教育	勾当台会館(仙台)	28	
		10	22	再教育	勾当台会館(仙台)	64	
1991	平成3	4	24	新規教育	勾当台会館(仙台)	28	
		10	18	再教育	勾当台会館(仙台)	62	
1992	平成4	4	28	新規教育	勾当台会館(仙台)	49	

4.6.4 東北支部委員会(共催：東北放射線科学センター)(1)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1992	平成4	12	16	再教育	勾当台会館(仙台)	59	
1993	平成5	5	14	新規教育	勾当台会館(仙台)	42	
1994	平成6	5	17	新規教育	勾当台会館(仙台)	28	
1995	平成7	5	17	新規教育	勾当台会館(仙台)	31	
1996	平成8	5	15	新規教育・再教育	勾当台会館(仙台)	56	
1997	平成9	5	15	新規教育・再教育	勾当台会館(仙台)	53	
1998	平成10	5	20	新規教育・再教育	勾当台会館(仙台)	46	
1999	平成11	5	19	新規教育・再教育	勾当台会館(仙台)	50	
2000	平成12	5	17	新規教育・再教育	やまと生命ビル(仙台)	58	
2001	平成13	5	17	新規教育・再教育	仙建ビル会議室(仙台)	新規:44 再:19	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 関根勉(東北大学理学部) - 放射線障害の防止に関する法令 ニッ川章二(日本アイソトープ協会滝沢研究所) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際 佐山洋(弘前大学アイソトープ総合実験室) - 放射線の人体に与える影響 山本政彦(東北大学医学部ラジオアイソトープセンター) - 特別講演「小型加速器の利用ーPIXEの医学利用を中心にしてー」 世良耕一郎(岩手医科大学サイクロترونセンター)
2002	平成14	5	17	新規教育・再教育	仙建ビル会議室(仙台)	新規:40 再:14	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 関根勉(東北大学理学部) - 放射線障害の防止に関する法令 秋葉文仁(岩手大学RI総合実験室) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際 佐山洋(弘前大学アイソトープ総合実験室) - 放射線の人体に与える影響 山本政彦(東北大学医学部ラジオアイソトープセンター) - 特別講演「放射性廃棄物処理の現状」 ニッ川章二(日本アイソトープ協会滝沢研究所)
2003	平成15	5	16	新規教育・再教育	仙建ビル会議室(仙台)	新規:41 再:23	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 関根勉(東北大学大学院理学研究科) - 放射線障害の防止に関する法令 秋葉文仁(岩手大学RI総合実験室)

4.6.4 東北支部委員会(共催：東北放射線科学センター)(2)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2003	平成15	5	16				- 放射線とアイソトープの安全取扱の実際 佐山洋(弘前大学アイソトープ総合実験室) - 放射線の人体に与える影響 阿部信行(東北大学医学部附属病院放射線科) - 特別講演「原子力発電所における放射線管理について」 齋藤実(東北電力(株)東通原子力発電所建設所)
2004	平成16	5	27	新規教育・再教育	メルパルク仙台	新規:35 再:21	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 関根勉(東北大学大学院理学研究科) - 放射線障害の防止に関する法令 秋葉文仁(岩手大学RI総合実験室) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際 佐山洋(弘前大学アイソトープ総合実験室) - 放射線の人体に与える影響 阿部信行(東北大学医学部附属病院放射線科) - 特別講演「なぜ日本の医療被ばくが高いかー放射線安全利用を求めて」 菊地透(自治医科大学RIセンター)
2005	平成17	6	3	新規教育・再教育	宮城県民会館(仙台)	新規:44 再:24	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 関根勉(東北大学大学院理学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際1 佐山洋(弘前大学アイソトープ総合実験室) - 放射線障害の防止に関する法令 秋葉文仁(岩手大学RI総合実験室) - 放射線の人体に与える影響及び放射線とアイソトープの安全取扱の実際2 阿部信行(東北大学医学部附属病院放射線科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際3ーアイソトープの供給から廃棄までー 二ツ川章二(日本アイソトープ協会)
2006	平成18	5	12	新規教育・再教育	宮城県民会館(仙台)	新規:36 再:33	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 大槻勤(東北大学大学院理学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際1 佐山洋(弘前大学アイソトープ総合実験室) - 放射線障害の防止に関する法令 秋葉文仁(岩手大学RI総合実験室) - 放射線の人体に与える影響及び放射線とアイソトープの安全取扱の実際2 阿部信行(東北大学医学部附属病院放射線科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際3ーアイソトープの供給から廃棄までー 松下幹夫(日本アイソトープ協会)
2007	平成19	5	11	新規教育・再教育	宮城県民会館(仙台)	新規:33 再:18	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 大槻勤(東北大学大学院理学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際1 佐山洋(弘前大学アイソトープ総合実験室) - 放射線の人体に与える影響及び放射線とアイソトープの安全取扱の実際2 山本政彦(東北大学医学部ラジオアイソトープセンター) - 放射線障害の防止に関する法令 秋葉文仁(岩手大学RI総合実験室) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際3ーアイソトープの供給から廃棄までー 松本幹雄(日本アイソトープ協会)
2008	平成20	5	23	新規教育・再教育	みやぎ婦人会館(仙台)	新規:23 再:23	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 大槻勤(東北大学大学院理学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際 I 佐山洋(弘前大学アイソトープ総合実験室) - 放射線障害の防止に関する法令 秋葉文仁(岩手大学RI総合実験室)

4.6.4 東北支部委員会(共催：東北放射線科学センター)(3)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2008	平成20	5	23				- 放射線の人体に与える影響及び放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 十和田誠(岩手医科大学) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅲーアイソトープの供給から廃棄までー 松本幹雄(日本アイソトープ協会)
2009	平成21	5	15	新規教育・再教育	アエル仙台市情報・産業プラザ	新規:17 再:21	(新規教育) - 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 大槻勤(東北大学大学院理学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 佐藤伊佐務(東北大学金属材料研究所) - 放射線障害の防止に関する法令 秋葉文仁(岩手大学RI総合実験室) - 放射線の人体に与える影響及び放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 十和田誠(岩手医科大学) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅲーアイソトープの供給から廃棄までー 松井真(日本アイソトープ協会) (再教育) - 放射線の人体に与える影響ー個人被ばく線量の算定と放射線防護ー 福田光道((株)千代田テクノル) - 放射線障害の防止に関する法令ー放射線施設の廃止手続きについてー 泉雄一((株)日本環境調査研究所) - 放射線とアイソトープの安全取扱ー最近の事故事例から学ぶー 佐藤和則(東北大学加齢医学研究所)
2010	平成22	5	28	新規教育・再教育	東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)(仙台)	新規:29 再:23	(新規教育) - 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 大槻勤(東北大学大学院理学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 佐藤和則(東北大学加齢医学研究所) - 放射線障害の防止に関する法令 秋葉文仁(岩手大学RI総合実験室) - 放射線の人体に与える影響及び放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 十和田誠(岩手医科大学) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅲーアイソトープの供給から廃棄までー 松井真(日本アイソトープ協会) (再教育) - 放射線の人体に与える影響ー放射線バイスタンダー効果でのシグナル分子としてのATPー 小島周二(東京理科大学薬学部) - 放射線障害の防止に関する法令ー下限数量以下の非密封RIの使用ー 小島周二(東京理科大学薬学部) - 放射線とアイソトープの安全取扱ー最近の事故事例から学ぶー 佐藤伊佐務(東北大学金属材料研究所)

4.6.5 東京常任委員会(1)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1988	昭和63	5	24	新規教育	アルカディア市ヶ谷	63	東京常任委員会として、第1回放射線業務従事者のための教育訓練講習会
1989	平成元	2	20	再教育	アルカディア市ヶ谷	95	
		6	7	新規教育	アルカディア市ヶ谷	65	
		11	1	新規教育・再教育	アルカディア市ヶ谷	97	
1990	平成2	3	7	再教育	アルカディア市ヶ谷	101	

4.6.5 東京常任委員会(2)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1990	平成2	4	18	新規教育	アルカディア市ヶ谷	141	
		11	2	新規教育・再教育	アルカディア市ヶ谷	90	
1991	平成3	3	1	再教育	アルカディア市ヶ谷	118	
		4	18	新規教育	アルカディア市ヶ谷	151	
		10	9	新規教育・再教育	アルカディア市ヶ谷	145	
1992	平成4	2	13	再教育	アルカディア市ヶ谷	123	
		4	15	新規教育	アルカディア市ヶ谷	132	

4.6.6 関東支部委員会(1)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1992	平成4	10	8	新規教育・再教育	アルカディア市ヶ谷	168	
1993	平成5	1	22	再教育	アルカディア市ヶ谷	173	
		4	13	新規教育	国立教育会館(千代田区)	111	
		5	11	新規教育・再教育	アルカディア市ヶ谷	151	
		9	13	新規教育・再教育(ガスクロ)	メルパルク横浜	189	
		10	20	新規教育・再教育	アルカディア市ヶ谷	134	
1994	平成6	1	31	(RI装備機器)	大宮ソニック市民ホール	93	
		4	15	新規教育(非密封)	アルカディア市ヶ谷	123	
		5	16	新規教育・再教育(密封)	メルパルク横浜	121	
		6	3	再教育(非密封)	アルカディア市ヶ谷	76	
		10	26	新規教育・再教育(非密封)	アルカディア市ヶ谷	154	
		12	12	新規教育・再教育(ガスクロ)	メルパルク横浜	159	
1995	平成7	2	7	(RI装備機器)	川口総合文化センター	19	
		4	18	新規教育	アルカディア市ヶ谷	119	
		5	11	新規教育(密封・ガスクロ)	アルカディア市ヶ谷	90	
		5	26	再教育	アルカディア市ヶ谷	104	
		10	5	新規教育・再教育(非密封)	アルカディア市ヶ谷	52	
		10	17	新規教育・再教育(ガスクロ)	メルパルク横浜	91	
1996	平成8	4	12	新規教育・再教育(非密封RI-I)	アルカディア市ヶ谷	88	
		5	7	新規教育・再教育(密封RI・ECDガスクロ)	メルパルク横浜	109	
		5	14	新規教育・再教育(非密封RI-II)	アルカディア市ヶ谷	79	
		10	8	新規教育・再教育(非密封RI-III)	アルカディア市ヶ谷	75	
1997	平成9	4	21	新規教育・再教育(非密封RI-I)	アルカディア市ヶ谷	106	
		5	7	新規教育・再教育(密封RI・ECDガスクロ)	メルパルク横浜	132	
		5	12	新規教育・再教育(非密封RI-II)	アルカディア市ヶ谷	76	
		10	7	新規教育・再教育(非密封RI-III)	アルカディア市ヶ谷	45	
1998	平成10	4	28	新規教育(非密封RI-I)	アルカディア市ヶ谷	100	

4.6.6 関東支部委員会(2)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1998	平成10	5	13	再教育	アルカディア市ヶ谷	37	主任者・実務者のための安全取扱講習会
		5	18	新規教育・再教育(密封RI・ECDガスクロ)	メルパルク横浜	96	
		5	27	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅱ)	アルカディア市ヶ谷	79	
		10	9	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅲ)	文京グリーンコートセンターオフィス	68	
1999	平成11	4	19	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅰ)	アルカディア市ヶ谷	127	
		5	7	新規教育・再教育(密封RI・ECDガスクロ)	メルパルク横浜	127	
		5	17	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅱ)	アルカディア市ヶ谷	74	
		10	4	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅲ)	アルカディア市ヶ谷	89	
2000	平成12	4	17	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅰ)	アルカディア市ヶ谷	78	
		5	8	新規教育・再教育(密封RI・ECDガスクロ)	メルパルク横浜	115	
		5	15	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅱ)	アルカディア市ヶ谷	80	
		10	2	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅲ)	アルカディア市ヶ谷	84	
2001	平成13	4	16	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅰ)	メルパルク東京(港区)	新規:78 再:13	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 小林慶規(産業技術総合研究所) ・放射線障害の防止に関する法令 大登邦充((株)千代田テクノル) ・放射線の人体に与える影響 渡辺雄三(順天堂大学医学部) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 片田元己(東京都立大学大学院理学研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱー医療における放射線防護の取り組みー 宮本潔(獨協医科大学医学総合研究所)
		5	7	新規教育・再教育(密封RI・ECDガスクロ)	メルパルク横浜	新規:98 再:63	・密封線源の安全取扱の基礎 石井忠(山梨医科大学医学部) ・ECDガスクロの安全取扱の実際 日根隆((株)島津製作所) ・装備機器の安全取扱の実際 桑原茂((株)東芝情報・社会システム社) ・放射線の人体に与える影響 杉浦紳之(東京大学原子力研究総合センター) ・放射線障害の防止に関する法令 横田繁昭(東海大学研究推進部)
		5	14	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅱ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:91 再:26	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 古田悦子(お茶の水女子大学理学部) ・放射線障害の防止に関する法令 佐藤一弘(日本原子力研究所東海研究所) ・放射線の人体に与える影響 滝剣朗(理化学研究所筑波研究所) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 峯村明彦(神奈川歯科大学) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱーサイクリン依存性キナーゼ5(CDK 5)活性制御の研究におけるRIの利用ー 久永眞市(東京都立大学大学院理学研究科)

4.6.6 関東支部委員会(3)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2001	平成13	10	9	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅲ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:94 再:35	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 古田悦子(お茶の水女子大学理学部) ・放射線障害の防止に関する法令 森一幸((株)イング) ・放射線の人体に与える影響 滝剣朗(理化学研究所筑波研究所) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 片田元己(東京都立大学大学院理学研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱー宇宙物質の放射化分析ー 海老原充(東京都立大学大学院理学研究科)
2002	平成14	4	15	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅰ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:64 再:26	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 森一幸((株)イング) ・放射線障害の防止に関する法令 大登邦充((株)千代田テクノル) ・放射線の人体に与える影響 滝剣朗(理化学研究所筑波研究所) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 片田元己(東京都立大学大学院理学研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱー廃棄関連ー 池谷元宏(日本アイソトープ協会環境整備部)
		5	7	新規教育・再教育(密封RI・ECDガスクロ)	メルパルク横浜	新規:75 再:74	・密封線源の安全取扱の基礎 片田元己(東京都立大学大学院理学研究科) ・ECDガスクロの安全取扱の実際 日根隆((株)島津製作所) ・装備機器の安全取扱の実際 峯村明彦(神奈川歯科大学) ・放射線の人体に与える影響 渡辺雄三(順天堂大学医学部) ・放射線障害の防止に関する法令 横田繁昭(東海大学研究推進部)
		5	13	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅱ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:63 再:36	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 森一幸((株)イング) ・放射線障害の防止に関する法令 佐藤一弘(日本原子力研究所東海研究所) ・放射線の人体に与える影響 杉浦紳之(東京大学原子力研究総合センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 峯村明彦(神奈川歯科大学) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱーイメージングプレート関連ー 小山元子(東京都立産業技術研究所)
		10	7	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅲ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:89 再:30	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 古田悦子(お茶の水女子大学理学部) ・放射線障害の防止に関する法令 渡辺雄三(順天堂大学医学部) ・放射線の人体に与える影響 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 宮本潔(獨協医科大学医学総合研究所) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ「低線量放射線に対する生体の応答反応」ー抗酸化系の誘導とその疾患治療への応用の可能性ー 小島周二(東京理科大学薬学部)
2003	平成15	4	14	新規教育・再教育(非密封RI-Ⅰ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:28 再:22	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線障害の防止に関する法令 富田悟(東京工業大学アイソトープ総合センター) ・放射線の人体に与える影響 渡辺雄三(順天堂大学医学部)

4.6.6 関東支部委員会(4)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2003	平成15	4	14				- 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 横田繁昭(東海大学研究推進部) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ－RIを活用したマイクロドメイン(リピッドラフト)の構造・機能解析－ 岩渕和久(順天堂大学医学部)
5	6	新規教育・再教育(密封RI・ECDガスクロ)		かながわ労働プラザ(横浜)		新規:77 再:61	- 密封線源の安全取扱の基礎 横田繁昭(東海大学研究推進部) - ECDガスクロの安全取扱の実際 日根隆((株)島津製作所) - 装備機器の安全取扱の実際 杉山芳徳(全国検査サービス(株)) - 放射線の人体に与える影響 渡辺雄三(順天堂大学医学部) - 放射線障害の防止に関する法令 大登邦充((株)千代田テクノ)
5	12	新規教育・再教育(非密封RI・Ⅱ)		アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)		新規:52 再:39	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 古田悦子(お茶の水女子大学理学部) - 放射線障害の防止に関する法令 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) - 放射線の人体に与える影響 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 滝剣朗(理化学研究所筑波研究所) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ－放射光の安全利用－ 尾嶋正治(東京大学大学院工学系研究科)
10	6	新規教育・再教育(非密封RI・Ⅲ)		アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)		新規:76 再:47	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 宮本潔(獨協医科大学医学総合研究所) - 放射線障害の防止に関する法令 森一幸((株)イング) - 放射線の人体に与える影響 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 金子孝夫(東京都老人総合研究所) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ－大強度陽子加速器計画の概要と放射線安全－ 中島宏(日本原子力研究所東海研究所)
2004	平成16	4	19	新規教育・再教育(非密封RI・Ⅰ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:59 再:17	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) - 放射線障害の防止に関する法令 大登邦充((株)千代田テクノ) - 放射線の人体に与える影響 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 古田悦子(お茶の水女子大学理学部) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ－低線量放射線影響研究の現状－ 小林克己(高エネルギー加速器研究機構)
5	6	新規教育・再教育(密封RI・ECDガスクロ)		かながわ労働プラザ(横浜)		新規:69 再:59	- 密封線源の安全取扱の基礎 峯村明彦(神奈川歯科大学) - ECDガスクロの安全取扱の実際 日根隆((株)島津製作所) - 放射線の人体に与える影響 渡辺雄三(順天堂大学大学院医学研究科) - 装備機器の安全取扱の実際 杉山芳徳(全国検査サービス(株)) - 放射線障害の防止に関する法令 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科)
5	19	新規教育・再教育(非密封RI・Ⅱ)		アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)		新規:67 再:32	放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 横田繁昭(東海大学放射線管理センター)

4.6.6 関東支部委員会(5)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2004	平成16	5	19				・放射線障害の防止に関する法令 滝剣朗(理化学研究所筑波研究所) ・放射線の人体に与える影響 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 金子孝夫(東京都老人総合研究所) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱー生命科学におけるトレーサー実験の具体例ー 都筑幹夫(東京薬科大学生命科学部)
10	4	新規教育・再教育(非密封RI・Ⅲ)		アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:85 再:35	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線障害の防止に関する法令 滝剣朗(理化学研究所筑波研究所) ・放射線の人体に与える影響 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 古田悦子(お茶の水女子大学RI実験センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱー放射線源の安全とセキュリティに関わる国際的動向ー 杉浦紳之(東京大学原子力研究総合センター)	
2005	平成17	4	13	新規教育・再教育(RI・Ⅰ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:53 再:27	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測・取扱) 金子孝夫(東京都老人総合研究所) ・放射線の人体に与える影響 渡辺雄三(順天堂大学大学院医学研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅲー法令改正についてー 杉浦紳之(近畿大学原子力研究所) ・放射線障害の防止に関する法令 大登邦充((株)千代田テクノル)
5	9	新規教育・再教育(ECDガス)		アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:86 再:43	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 古田悦子(お茶の水女子大学RI実験センター) ・放射線の人体に与える影響 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) ・放射線障害の防止に関する法令 大登邦充((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(ECDガスクロの安全取扱) 日根隆((株)島津製作所)	
5	13	新規教育・再教育(RI・Ⅱ)		アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:54 再:42	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測・取扱) 古田悦子(お茶の水女子大学RI実験センター) ・放射線の人体に与える影響 渡辺雄三(順天堂大学大学院医学研究科) ・放射線障害の防止に関する法令 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅲー法令改正についてー 滝剣朗(理化学研究所筑波研究所)	
5	24	新規教育・再教育(装備機器)		アイソトープ協会	新規:11 再:13	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線の人体に与える影響 富田悟(東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター) ・放射線障害の防止に関する法令 杉山芳徳(全国検査サービス(株)) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(装備機器の安全取扱) 手塚幹敏(富士電機システムズ(株))	

4.6.6 関東支部委員会(6)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2005	平成17	9	27	新規教育・再教育(RI・Ⅲ)	学術総合センタービル中会議室(千代田区)	新規:69 再:39	(新規教育) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 加藤真介(東京大学医学部附属病院) ・放射線障害の防止に関する法令 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 横田繁昭(東海大学放射線管理センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(実際) 古田悦子(お茶の水女子大学RI実験センター)(再教育) ・改正法令について 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅴーアレルギー疾患と諸刃の剣としての放射線ー 小島周二(東京理科大学薬学部) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅵー受動型積算計としてのイメージングプレートの実用ー 大内浩子(東北大学大学院薬学研究科)
2006	平成18	4	19	新規教育・再教育(RI・Ⅰ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:79 再:49	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 金子孝夫(東京都老人総合研究所) ・放射線障害の防止に関する法令 滝剣朗(理化学研究所筑波研究所) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳー環境放射能のモニタリングー 土井妙子(国立環境研究所)
		5	11	新規教育・再教育(RI・Ⅱ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:57 再:47	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線障害の防止に関する法令 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ 古田悦子(お茶の水女子大学RI実験センター)
		5	16	新規教育・再教育(密封RI・認証機器(ECDガスクロ等))	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:38 再:39	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 横田繁昭(東海大学放射線管理センター) ・放射線の人体に与える影響 渡辺雄三(順天堂大学大学院医学研究科) ・放射線障害の防止に関する法令 大登邦充((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(認証機器(ECDガスクロ等)の安全取扱) 日根隆((株)島津製作所) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅲ(装備機器の安全取扱) 杉山芳徳(全国検査サービス(株))
		9	25	新規教育・再教育(RI・Ⅲ)	アルカディア市ヶ谷(私学会館)(千代田区)	新規:71 再:27	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 加藤真介(横浜薬科大学) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線障害の防止に関する法令 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター)

4.6.6 関東支部委員会(7)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2006	平成18	9	25				・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ－医療放射線と最近のトピックスー 渋谷均(東京医科歯科大学医学部)
2007	平成19	4	19	新規教育(RI・I)	自動車会館(千代田区)	59	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 金子孝夫(東京都老人総合研究所) ・放射線障害の防止に関する法令 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 富田悟(東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター)
	5	9		新規教育(RI・II)	タワーホール船堀(江戸川区)	73	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線障害の防止に関する法令 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 土井妙子(国立環境研究所)
	5	16		再教育(RI・III)	フィオーレ東京(新宿区)	73	・放射線の人体に与える影響－放射線の生体影響－線量による違いー 酒井一夫(放射線医学総合研究所) ・放射線障害の防止に関する法令－事故例ー 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱－PET関連ー 石渡喜一(東京都老人総合研究所)
	5	22		新規教育・再教育(密封RI・認証機器(ECDガスクロ等))	自動車会館(千代田区)	新規:75 再:37	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 奥野功一((株)間組) ・放射線の人体に与える影響 渋谷均(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科) ・放射線障害の防止に関する法令 浅見文克((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(認証機器(ECDガスクロ等)の安全取扱) 日根隆((株)島津製作所) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅲ(装備機器の安全取扱) 杉山芳徳(全国検査サービス(株))
	9	14		再教育(RI・V)	TKP東京駅八重洲ビジネスセンター(中央区)	32	・放射線の人体に与える影響－最近の放射線治療ー 井垣浩(東京大学医学部附属病院放射線科) ・放射線障害の防止に関する法令－事故例ー 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱－低線量放射線による生物への影響ー 馬替純二((財)電力中央研究所)
	9	21		新規教育(RI・IV)	自動車会館(千代田区)	83	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 加藤真介(横浜薬科大学) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線障害の防止に関する法令 浅見文克((株)千代田テクノル) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 富田悟(東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター)

4.6.6 関東支部委員会(8)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2008	平成20	4	16	新規教育(RI・I)	自動車会館(千代田区)	87	放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 金子孝夫(東京都老人総合研究所) ・放射線障害の防止に関する法令 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 渋谷均(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 富田悟(東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター)
5	14			新規教育(RI・II)	自動車会館(千代田区)	87	放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 榎本和義(高エネルギー加速器研究機構) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線障害の防止に関する法令 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 本田憲業(埼玉医科大学総合医療センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 土井妙子((独)国立環境研究所)
5	19			新規教育・再教育(密封RI・認証機器(ECDガスクロ等))	自動車会館(千代田区)	新規:46 再:42	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 奥野功一((株)間組) ・放射線の人体に与える影響 松本義久(東京工業大学原子炉工学研究所) ・放射線障害の防止に関する法令 浅見文克((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(認証機器(ECDガスクロ等)の安全取扱) 日根隆((株)島津製作所) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅲ(装備機器の安全取扱) 杉山芳徳(全国検査サービス(株))
5	27			再教育(RI・III)	自動車会館(千代田区)	105	放射線障害の防止に関する法令-ICRPの新勧告- 浅見文克((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱-放射光実験の安全管理, 放射光の基礎と応用- 尾嶋正治(東京大学大学院工学系研究科) ・放射線の人体に与える影響-放射線生物影響研究は生命の謎を解く鍵- 渡邊正己(京都大学原子炉実験所)
10	1			新規教育(RI・IV)	自動車会館(千代田区)	62	放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 加藤真介(横浜薬科大学) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 金子実(東京理科大学環境保全室) ・放射線障害の防止に関する法令 浅見文克((株)千代田テクノル) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 小柳充(新潟大学農学部) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 松本義久(東京工業大学原子炉工学研究所)
10	6			再教育(RI・V)	自動車会館(千代田区)	32	放射線障害の防止に関する法令-事故例- 榎本和義(高エネルギー加速器研究機構) ・放射線とアイソトープの安全取扱 奥野功一((株)間組技術研究所) ・放射線の人体に与える影響-重イオンマイクロビームを用いた細胞1個の狙い撃ち照射とバイスタンダー効果- 小林泰彦((独)日本原子力研究開発機構)

4.6.6 関東支部委員会(9)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2009	平成21	4	20	新規教育(RI・I)	自動車会館(千代田区)	112	- 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 山田孝一(アロカ(株)) - 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 金子実(東京理科大学環境保全センター) - 放射線障害の防止に関する法令 江田正明(ゼリア新薬工業(株)) - 放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 松本義久(東京工業大学原子炉工学研究所) - 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 富田悟(東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター)
5	15			新規教育(RI・II)	自動車会館(千代田区)	75	- 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 加藤真介(横浜薬科大学) - 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 奥野功一((株)間組技術研究所) - 放射線障害の防止に関する法令 浅見文克((株)千代田テクノル) - 放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 小柳充(新潟大学農学部) - 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 土井妙子((独)国立環境研究所)
5	26			再教育(RI・III)	自動車会館(千代田区)	99	- 放射線障害の防止に関する法令－事故事例－ 榎本和義(高エネルギー加速器研究機構) - 放射線とアイソトープの安全取扱－重イオン加速器施設の安全管理－ 上義義朋((独)理化学研究所) - 放射線の人体に与える影響－放射線高感受性遺伝病を用いたDNA損傷応答機構の解析－ 小林純也(京都大学放射線生物研究センター)
5	29			新規教育・再教育(密封RI・認証機器(ECDガスクロ等))	自動車会館(千代田区)	新規:55 再:34	- 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 山田孝一(アロカ(株)) - 放射線の人体に与える影響 加藤真介(横浜薬科大学) - 放射線障害の防止に関する法令 滝剣朗((独)理化学研究所横浜研究所) - 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(認証機器(ECDガスクロ等)の安全取扱) 峯村明彦(神奈川歯科大学) - 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅲ(装備機器の安全取扱) 杉山芳徳(全国検査サービス(株))
10	13			再教育(RI・V)	国際ファッションセンタービル(墨田区)	24	- 放射線障害の防止に関する法令 榎本和義(高エネルギー加速器研究機構) - 放射線とアイソトープの安全取扱 佐藤斉(茨城県立医療大学保健医療学部) - 放射線の人体に与える影響 松本義久(東京工業大学原子炉工学研究所)
10	21			新規教育(RI・IV)	家の光会館(新宿区)	110	- 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 加藤真介(横浜薬科大学) - 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 金子実(東京理科大学環境保全センター) - 放射線障害の防止に関する法令 浅見文克((株)千代田テクノル) - 放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 鈴木崇彦(東京大学大学院医学系研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 奥野功一((株)間組技術研究所)
2010	平成22	4	19	新規教育(RI・I)	日本青年館(新宿区)	100	- 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 加藤真介(横浜薬科大学) - 放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 山田孝一(アロカ(株))

4.6.6 関東支部委員会(10)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2010	平成22	4	19				・放射線障害の防止に関する法令 浅見文克 ((株)千代田テクノル) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 鈴木崇彦(東京大学大学院医学系研究科) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 土井妙子((独)国立環境研究所)
		5	19	新規教育(RI・Ⅱ)	家の光会館(新宿区)	68	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 奥野功一((株)間組技術研究所) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(計測) 金子実(東京理科大学環境安全センター) ・放射線障害の防止に関する法令 江田正明(ゼリア新薬工業(株)) ・放射線の人体に与える影響及び安全取扱Ⅲ 小柳充(新潟大学農学部) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅳ(非密封・発生装置) 富田悟(東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター)
		5	24	再教育(RI・Ⅲ)	国際ファッションセンタービル(墨田区)	100	・放射線障害の防止に関する法令 榎本和義(高エネルギー加速器研究機構) ・放射線とアイソトープの安全取扱 井原智(杏林大学医学部RI研究部) ・放射線の人体に与える影響 島田義也((独)放射線医学総合研究所)
		5	28	新規教育・再教育(密封RI・認証機器(ECDガスクロ等))	家の光会館(新宿区)	新規:54 再:35	・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅰ(基礎) 山田孝一(アロカ(株)) ・放射線の人体に与える影響 松本義久(東京工業大学原子炉工学研究所) ・放射線障害の防止に関する法令 浅見文克((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅱ(認証機器(ECDガスクロ等)の安全取扱) 峯村明彦(神奈川歯科大学) ・放射線とアイソトープの安全取扱Ⅲ(装備機器の安全取扱) 杉山芳徳(全国検査サービス(株))

4.6.7 中部常任委員会(共催：中部原子力懇談会)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1989	平成元	5	12	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	113	中部常任委員会として、第1回放射線業務従事者のための教育・訓練講習会 新規教育と再教育は別々に実施
1990	平成2	5	11	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	140	
1991	平成3	5	22	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	145	
1992	平成4	5	21	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	160	

4.6.8 中部支部委員会(共催：中部原子力懇談会)(1)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1993	平成5	5	14	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	162	(新規教育) ・放射線とRIの安全取扱の基礎 宮原洋(名古屋大学医学部)
1994	平成6	5	13	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	159	
1995	平成7	5	12	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	150	
1996	平成8	5	10	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	130	
1997	平成9	5	7	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	140	
1998	平成10	5	8	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	116	
1999	平成11	5	14	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	117	
2000	平成12	5	12	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:74 再:35	
2001	平成13	5	11	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:93 再:54	

4.6.8 中部支部委員会(共催：中部原子力懇談会)(2)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2001	平成13	5	11				・放射線の人体に与える影響 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・密封RIの安全取扱の要点 田宮正(名古屋大学医学部) ・非密封RIの安全取扱の要点 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・放射線障害防止に関する法令 山本匡吾((株)豊田中央研究所) (再教育) ・法令の改正の要点とその対応 山本匡吾((株)豊田中央研究所) ・放射線レベルと人体への影響：続・臓器別各論 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・緊急時の対応：火災を中心として 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター)
2002	平成14	5	10	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:56 再:54	(新規教育) ・放射線とRIの安全取扱の基礎 宮原洋(名古屋大学医学部) ・放射線の人体に与える影響 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・密封RIの安全取扱の要点 田宮正(名古屋大学医学部) ・非密封RIの安全取扱の要点 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・放射線障害防止に関する法令 山本匡吾((株)豊田中央研究所) (再教育) ・RI装備機器と放射線発生装置の安全取扱 山本匡吾((株)豊田中央研究所) ・人体への影響と放射線業務従事者の健康診断要領 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・緊急時の対応：携帯電話が電子式個人線量計へ及ぼす影響 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター)
2003	平成15	5	9	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:69 再:29	(新規教育) ・放射線とRIの安全取扱の基礎 宮原洋(名古屋大学医学部) ・放射線の人体に与える影響 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・放射線障害防止に関する法令 柴田理尋(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・非密封RIの安全取扱の要点 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・密封RIの安全取扱の要点 箕浦靖(愛知県がんセンター) (再教育) ・放射光を含む加速器等の安全利用 河出清(名古屋大学工学部) ・放射線影響の分子生物学的メカニズムと人体影響 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・表面汚染検査におけるサーベイメータブロープ操作が検出下限に及ぼす影響 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター)
2004	平成16	5	14	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:84 再:37	(新規教育) ・放射線とRIの安全取扱の基礎 宮原洋(名古屋大学医学部) ・放射線の人体に与える影響 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター)

4.6.8 中部支部委員会(共催：中部原子力懇談会)(3)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2004	平成16	5	14				・放射線障害防止に関する法令 柴田理尋(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・非密封RIの安全取扱の要点 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・密封RIの安全取扱の要点 飯田孝夫(名古屋大学大学院工学研究科)(再教育) ・加速器等の安全利用 河出清(名古屋大学大学院工学研究科) ・放射線影響におけるアポトーシスの分子生物学的関与 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・表面汚染検査におけるサーベイメータブローブ操作が検出下限に及ぼす影響 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター)
2005	平成17	5	13	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:93 再:37	(新規教育) ・放射線の人体に与える影響 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・放射線とRIの安全取扱の基礎 宮原洋(名古屋大学医学部) ・放射線障害防止に関する法令 柴田理尋(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・非密封RIの安全取扱の要点 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・密封RIの安全取扱の要点 飯田孝夫(名古屋大学大学院工学研究科) ・汚染検査機器の原理と実際 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター)(再教育) ・放射線事故に至る道を絶つために 河出清(名古屋大学大学院工学研究科) ・人体への放射線影響と健康診断 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・法改正に対応した放射線安全管理に関わる諸問題ー作業環境測定, X線の安全管理, 廃棄物のクリアランス, その他ー 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター)
2006	平成18	5	19	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:91 再:40	(新規教育) ・放射線とRIの安全取扱の基礎 飯田孝夫(名古屋大学大学院工学研究科) ・放射線の人体に与える影響 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・放射線障害防止に関する法令 山口良三(朝日大学RI研究施設) ・非密封RIの安全取扱の要点 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・密封RIの安全取扱の要点 柴田理尋(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・汚染検査機器の原理と実際 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター)(再教育) ・内部被ばく線量評価の基礎知識 石博信人(名古屋大学医学部保健学科) ・人体影響(総論)と造血器腫瘍 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) ・法改正に対応した放射線安全管理に関わる諸問題 西澤邦秀(名古屋大学アイソトープ総合センター)
2007	平成19	5	25	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:93 再:44	(新規教育) ・放射線とRIの安全取扱の基礎 飯田孝夫(名古屋大学大学院工学研究科)

4.6.8 中部支部委員会(共催：中部原子力懇談会)(4)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2007	平成19	5	25				- 放射線障害防止に関する法令及び放射線の人体に与える影響 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター) - 非密封RIの安全取扱の要点 緒方良至(名古屋大学医学部保健学科) - 密封RIの安全取扱の要点 柴田理尋(名古屋大学アイソトープ総合センター) (再教育) - 放射線障害防止法令と安全管理 山口良三(朝日大学RI研究施設) - 医療放射線防護の現状と課題 大野和子(京都医療科学大学) - 放射性物質等による事故例と取扱い安全管理 安達興一(名古屋大学アイソトープ総合センター)
2008	平成20	5	9	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:105 再:49	(新規教育) - 放射線とRIの安全取扱の基礎 河野孝央(核融合科学研究所安全管理センター) - 非密封RIの安全取扱の要点 緒方良至(名古屋大学医学部保健学科) - 放射線障害防止に関する法令及び放射線の人体に与える影響 安達興一(名古屋大学医学部RIセンター) - 密封RIの安全取扱の要点 柴田理尋(名古屋大学アイソトープ総合センター) (再教育) - 放射線障害防止法令と人体影響 安達興一(名古屋大学医学部RIセンター) - 放射線の安全管理と測定技術 緒方良至(名古屋大学医学部保健学科) - 放射能汚染の予防と対処 中村嘉行(名古屋大学医学部RIセンター)
2009	平成21	5	15	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:68 再:54	(新規教育) - 放射線とRIの安全取扱の基礎 河野孝央(核融合科学研究所) - 放射線障害防止に関する法令 石原正司(名古屋市立大学大学院医学研究科) - 放射線の人体に与える影響 安達興一(名古屋大学医学部RIセンター) - 非密封RIの安全取扱の要点 庄司美樹(富山大学生命科学先端研究センター) - 密封RIの安全取扱の要点 緒方良至(名古屋大学医学部保健学科) (再教育) - 放射線施設と従事者の安全管理 吉田均(岐阜大学生命科学総合研究支援センター) - 放射線障害防止法令と人体影響 石原正司(名古屋市立大学大学院医学研究科) - 放射線取扱の事故の事例 安達興一(名古屋大学医学部RIセンター)
2010	平成22	5	14	新規教育・再教育	名古屋商工会議所	新規:94 再:53	(新規教育) - 放射線とRIの安全取扱の基礎 河野孝央(核融合科学研究所) - 放射線とRIの安全取扱の実際 河野孝央(核融合科学研究所) - 放射線障害防止に関する法令 石原正司(名古屋市立大学大学院医学研究科) - 放射線の人体に与える影響 安達興一(名古屋大学医学部RIセンター) - 非密封RIの安全取扱の要点 庄司美樹(富山大学生命科学先端研究センター)

4.6.8 中部支部委員会(共催：中部原子力懇談会)(5)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2010	平成22	5	14				・密封RIの安全取扱の要点 緒方良至(名古屋大学医学部保健学科) (再教育) ・放射線施設と従事者の安全管理 下道國(藤田保健衛生大学) ・放射線障害防止法令と人体影響 石原正司(名古屋市立大学大学院医学研究科) ・放射線取扱の事故の事例 安達興一(名古屋大学医学部RIセンター)

4.6.9 関西常任委員会

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1986	昭和61	12	13	再教育	大阪化学繊維会館	40	関西常任委員会として、第1回放射線業務関係者のための講習会
1987	昭和62	4	24	新規教育	大阪府立工業技術研究所	40	
		5	26	再教育	大阪府立工業技術研究所	40	
		10	23	再教育	大阪府立工業技術研究所	40	
1988	昭和63	4	22	新規教育	大阪府立産業技術総合研究所	52	
		5	24	再教育	大阪府立産業技術総合研究所	30	
		10	25	再教育	大阪府立産業技術総合研究所	30	
1989	平成元	5	26	新規教育	大阪府立産業技術総合研究所	40	
		6	2	再教育	大阪府立産業技術総合研究所	23	「放射線業務従事者のための教育訓練講習会」に名称変更
		10	27	再教育	大阪府立産業技術総合研究所	51	
1990	平成2	4	13	新規教育	大阪YMCA会館	53	
		5	11	再教育	大阪府立産業技術総合研究所	52	
		11	2	再教育	大阪YMCA会館	60	
1991	平成3	4	12	新規教育	大阪YMCA会館	56	
		5	10	再教育	大阪YMCA会館	57	
1991	平成3	11	1	再教育	大阪YMCA会館	62	
1992	平成4	5	8	新規教育	大阪YMCA会館	59	
		5	15	再教育	大阪YMCA会館	50	

4.6.10 近畿支部委員会(1)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1992	平成4	11	6	再教育	大阪YMCA会館	97	近畿支部主任者研究会
1993	平成5	5	14	新規教育	非破壊検査ビル(大阪)	67	
		5	21	再教育	非破壊検査ビル(大阪)	46	
		5	28	再教育(ガスクロ)	非破壊検査ビル(大阪)	145	
		10	29	新規教育・再教育	非破壊検査ビル(大阪)	96	
1994	平成6	5	11	新規教育(ガスクロ)・再教育(密封・非密封・ガスクロ)	アビオ大阪	82	
		5	13	新規教育	非破壊検査ビル(大阪)	98	
		10	17	新規教育・再教育	非破壊検査ビル(大阪)	86	
1995	平成7	5	15	新規教育・再教育(ガスクロ, 密封・非密封)	非破壊検査ビル(大阪)	131	

4.6.10 近畿支部委員会(2)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1995	平成7	10	23	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	69	
1996	平成8	5	17	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	126	
		10	28	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	63	
1997	平成9	5	23	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	149	
		10	27	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	79	
1998	平成10	5	18	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	135	
		10	26	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	109	
1999	平成11	5	17	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	112	
		10	25	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	75	
2000	平成12	5	15	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	130	
		10	16	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	102	
2001	平成13	5	14	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	新規:93 再:46	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線、アイソトープとは－ 高淵雅廣(大阪医科大学機器共同利用センター) ・放射線障害の防止に関する法令 中田博三(三菱重工業(株)神戸造船所) ・放射線の人体に与える影響 朝野武美(大阪府立大学先端科学研究所) ・特別講演「放射線管理におけるヒューマンエラーとその防止」 木下富雄(甲子園大学長) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際 井深啓次郎(近畿医療技術専門学校) ・測定器類を用いての取扱方法の実際－サーベイメータと個人被ばく線量計－ 五十棲泰人(京都大学放射性同位元素総合センター)
		10	15	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	新規:54 再:46	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線、アイソトープとは－ 斎藤直(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター) ・放射線障害の防止に関する法令 山野豊次(コンサルティング・ヤマノ) ・特別講演「医学における放射線とアイソトープの利用－放射性医薬品を中心として－」 豊田亘博(日本メジフィジックス(株)) ・放射線の人体に与える影響 木村捷二郎(大阪薬科大学) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際 朝野武美(大阪府立大学先端科学研究所) ・測定器類を用いての取扱方法の実際－サーベイメータと個人被ばく線量計－ 田辺省三((株)島津製作所)
2002	平成14	5	17	新規教育・再教育	非破壊検査ビル (大阪)	新規:103 再:39	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線、アイソトープとは－ 高淵雅廣(大阪医科大学機器共同利用センター) ・放射線障害の防止に関する法令 中田博三(三菱重工業(株)神戸造船所) ・特別講演「天然鉱物を用いた線量測定と考古学(年代測定など)への応用」 長友恒人(奈良教育大学) ・放射線の人体に与える影響 朝野武美(大阪府立大学先端科学研究所) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際 川上猛雄((株)日本ラジオアイソトープ実験支援機構)

4.6.10 近畿支部委員会(3)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2002	平成14	5	17				・測定器類を用いての取扱方法の実際－サーベイメータと個人被ばく線量計－ 木村捷二郎(大阪薬科大学)
		10	18	新規教育・再教育	非破壊検査ビル(大阪)	新規:49 再:37	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 斎藤直(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター) ・放射線障害の防止に関する法令 田中実((株)ユーガアイソトープ) ・特別講演「世界および日本における食品照射の現状」 多田幹郎(岡山大学大学院自然科学研究科) ・放射線の人体に与える影響 阿部康夫(大阪府立大学先端科学研究所) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際 井深啓次郎(近畿医療技術専門学校) ・測定器類を用いての取扱方法の実際－サーベイメータと個人被ばく線量計－ 戸崎充男(京都大学放射性同位元素総合センター)
2003	平成15	5	15	新規教育・再教育	京都大学放射性同位元素総合センター教育訓練棟	新規:93 再:23	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 高淵雅廣(大阪医科大学機器共同利用センター) ・放射線障害の防止に関する法令 中田博三(三菱重工業(株)神戸造船所) ・特別講演「スペースシャトル実験(宇宙生物学)」 池永満生(関西外国語大学(京都大学名誉教授)) ・放射線の人体に与える影響 木村捷二郎(大阪薬科大学) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際 川上猛雄((株)日本ラジオアイソトープ実験支援機構) ・測定器類を用いての取扱方法の実際－サーベイメータと個人被ばく線量計－ 戸崎充男(京都大学放射性同位元素総合センター)
		10	17	新規教育・再教育	非破壊検査ビル(大阪)	新規:70 再:41	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 高淵雅廣(大阪医科大学機器共同利用センター) ・放射線障害の防止に関する法令 田中実((株)ユーガアイソトープ) ・特別講演「がん治療と重粒子放射線」 丸橋晃(京都大学原子炉実験所) ・放射線の人体に与える影響 阿部康夫(大阪府立大学先端科学研究所) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際 川上猛雄((株)日本ラジオアイソトープ実験支援機構) ・放射線測定の実際－トレーサー実験および安全管理のために－ 木村捷二郎(大阪薬科大学)
2004	平成16	5	13	新規教育・再教育	大阪大学中之島センター	新規:84 再:57	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 高淵雅廣(大阪医科大学研究機構) ・放射線障害の防止に関する法令 中田博三(三菱重工業(株)神戸造船所) ・特別講演「チェルノブイリ事故後の放射能汚染地域調査－棲息する生物への影響と線量測定－」 中島裕夫(大阪大学大学院医学系研究科) ・放射線の人体に与える影響 井深啓次郎(近畿医療技術専門学校) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際 阿部康夫(大阪府立大学先端科学研究所) ・放射線測定機器の原理と取扱 斎藤直(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター)
		10	20	新規教育・再教育	京都大学放射性同位元素総合センター教育訓練棟	新規:70 再:22	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 山口喜朗(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター)

4.6.10 近畿支部委員会(4)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2004	平成16	10	20				- 放射線障害の防止に関する法令 釜田敏光(ポニー工業(株)) - 特別講演「バイオケミストリーとナノバイオテクノロジーを結びつけるRI実験の重要性」 加畑博幸(京都大学大学院医学研究科) - 放射線の人体に与える影響 木村捷二郎(大阪薬科大学) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際 田中実((株)コーガアイソトープ) - 測定器類を用いての取扱方法の実際－サーベイメータと個人被ばく線量計－ 戸崎充男(京都大学放射性同位元素総合センター)
2005	平成17	5	25	新規教育・再教育	大阪大学中之島センター	新規:110 再:45	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 豊田亘博((株)千代田テクノ) - 放射線障害の防止に関する法令 川上猛雄((株)日本ラジオアイソトープ実験支援機構) - 特別講演「放射線障害防止法改正の背景について」 山本幸佳(大阪大学名誉教授) - 放射線の人体に与える影響 赤木清(関西医科大学放射線科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 垣下典永(近畿大学ライフサイエンス研究所) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 奥田修一(大阪府立大学)
		10	25	新規教育・再教育	京都大学放射性同位元素総合センター教育訓練棟	新規:70 再:36	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 山口喜朗(大阪大学ラジオアイソトープ総合センター) - 放射線障害の防止に関する法令 釜田敏光(ポニー工業(株)) - 特別講演「大学病院における放射線医療と医療被ばく」 東達也(京都大学医学部附属病院) - 放射線の人体に与える影響 村田保(京都薬科大学放射性同位元素研究センター) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際 田中実((株)コーガアイソトープ) - 測定器類を用いての取扱方法の実際－サーベイメータと個人被ばく線量計－ 戸崎充男(京都大学放射性同位元素総合センター)
2006	平成18	5	24	新規教育・再教育	大阪大学中之島センター	新規:84 再:39	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 豊田亘博((株)千代田テクノ) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 垣下典永(近畿大学ライフサイエンス研究所) - 特別講演「加速器事業所における放射線管理の実際」 杉村幸治(日本メジフィジックス(株)) - 放射線の人体に与える影響 赤木清(関西医科大学放射線科) - 放射線障害の防止に関する法令 川上猛雄((株)日本ラジオアイソトープ実験支援機構) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 奥田修一(大阪府立大学)
		10	25	新規教育・再教育	京都大学放射性同位元素総合センター教育訓練棟	新規:49 再:27	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 倉橋和義(京都大学放射性同位元素総合センター) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 田中実((株)コーガアイソトープ) - 特別講演「『RIビームファクトリー』で探る元素の起源－RI生成の宇宙史－」 望月優子(理化学研究所仁科加速器研究センター) - 放射線の人体に与える影響 村田保(京都薬科大学放射性同位元素研究センター)

4.6.10 近畿支部委員会(5)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2006	平成18	10	25				- 放射線障害の防止に関する法令 釜田敏光(ポニー工業(株)) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 杉村幸治(日本メジフィジックス(株))
2007	平成19	5	11	新規教育・再教育	大阪大学中之島センター	新規:74 再:51	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 垣下典永(近畿大学ライフサイエンス研究所) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 釜田敏光(ポニー工業(株)) - 特別講演「原子力・放射線の事故に学ぶ」 住田健二(大阪大学名誉教授) - 放射線の人体に与える影響 赤木清(関西医科大学放射線科) - 放射線障害の防止に関する法令 豊田亘博((株)千代田テクノル) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 安岡由美(神戸薬科大学)
		10	12	新規教育・再教育	京都大学放射性同位元素総合センター教育訓練棟	新規:53 再:15	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 田中実((株)コークアイソトープ) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ 杉浦紳之(近畿大学原子力研究所) - 特別講演「放射線の利用が拓く新しい世界－ジャーナリストの立場から」 東嶋和子(科学ジャーナリスト) - 放射線の人体に与える影響 村田保(京都薬科大学放射性同位元素研究センター) - 放射線障害の防止に関する法令 倉橋和義(京都大学放射性同位元素総合センター) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ 杉村幸治(日本メジフィジックス(株))
2008	平成20	5	16	新規教育・再教育	新梅田研修センター	新規:83 再:58	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎－放射線, アイソトープとは－ 豊田亘博(主任者部会近畿支部長) - 放射線障害の防止に関する法令 安岡由美(神戸薬科大学) - 特別講演「原子力・放射線の産業・医療への展開を目指して－熊取アトムサイエンスパーク構想－」 代谷誠治(京都大学原子炉実験所) - 放射線の人体に与える影響 赤木清(関西医科大学放射線科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ－密封線源の実際と事故例から学ぶ法令遵守の大切さ－ 釜田敏光(ポニー工業(株)) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ－非密封線源の実際と事故例から学ぶ法令遵守の大切さ－ 垣下典永(近畿大学ライフサイエンス研究所)
		10	31	新規教育・再教育	京都大学放射性同位元素総合センター教育訓練棟	新規:74 再:17	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 大河原賢一(塩野義製薬(株)) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ－密封線源・加速器を中心として－ 川本卓男(京都大学放射性同位元素総合センター) - 特別講演「自然・生命・人間を考える」 中村桂子(JT生命誌研究館館長) - 放射線の人体に与える影響 村田保(京都薬科大学放射性同位元素研究センター) - 放射線障害の防止に関する法令 杉村幸治(日本メジフィジックス(株)) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ－非密封放射性同位元素を中心として－ 稲垣昌代(近畿大学原子力研究所)
2009	平成21	7	10	新規教育・再教育	新梅田研修センター	新規:70 再:28	放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 豊田亘博((財)原子力安全技術センター)

4.6.10 近畿支部委員会(6)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2009	平成21	7	10				・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ－密封放射性同位元素・放射線発生装置を中心として－ 釜田敏光(ポニー工業(株)) ・特別講演「地震予知の科学とラドン計測」 佃為成(元東京大学地震研究所) ・放射線の人体に与える影響 赤木清(関西医科大学放射線科) ・放射線障害の防止に関する法令 安岡由美(神戸薬科大学) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ－非密封放射性同位元素を中心として－ 垣下典永(近畿大学ライフサイエンス研究所)
		10	29	新規教育・再教育	京都大学放射性同位元素総合センター教育訓練棟	新規:53 再:23	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 大河原賢一(塩野義製薬(株)) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ－密封線源・加速器を中心として－ 川本卓男(京都大学放射性同位元素総合センター) ・特別講演「放射線利用の経済規模について」 柳澤和章((独)日本原子力研究開発機構) ・放射線の人体に与える影響 村田保(京都薬科大学放射性同位元素研究センター) ・放射線障害の防止に関する法令 杉村幸治(日本メジフィジックス(株)) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ－非密封放射性同位元素を中心として－ 稲垣昌代(近畿大学原子力研究所)
2010	平成22	5	14	新規教育・再教育	新梅田研修センター	新規:71 再:50	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 豊田亘博((財)原子力安全技術センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅰ－密封放射性同位元素・放射線発生装置を中心として－ 釜田敏光(ポニー工業(株)) ・特別講演「加速器質量分析法による高精度年代測定と考古学・文化財科学関連資料への応用」 中村俊夫(名古屋大学年代測定総合研究センター) ・放射線の人体に与える影響 赤木清(関西医科大学放射線科) ・放射線障害の防止に関する法令 安岡由美(神戸薬科大学) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際Ⅱ－非密封放射性同位元素を中心として－ 垣下典永(近畿大学ライフサイエンス研究所)

4.6.11 中国・四国支部委員会(1)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1993	平成5	4	23	新規教育・再教育	広島市南区民文化センター	66	中国・四国支部委員会として、第1回放射線業務従事者のための教育訓練講習会
1994	平成6	5	27	新規教育・再教育	広島市南区民文化センター	59	
1995	平成7	4	28	新規教育・再教育	岡山大学医学部附属図書館鹿田分館	78	
1996	平成8	4	12	新規教育・再教育	岡山国際交流センター	57	
1997	平成9	5	9	新規教育・再教育	岡山大学アイソトープ総合センター	48	
		8	1	新規教育・再教育	ホテル川六(高松)	26	
1998	平成10	4	28	新規教育・再教育	中国電力(株)本店会議室(広島)	56	
1999	平成11	5	14	新規教育・再教育	岡山大学アイソトープ総合センター	70	
2000	平成12	5	12	新規教育・再教育	岡山大学アイソトープ総合センター	60	

4.6.11 中国・四国支部委員会(2)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2001	平成13	5	18	新規教育・再教育	中国電力(株)本店会議室(広島)	新規:55 再:31	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 静間清(広島大学大学院工学研究科) - 放射線障害の防止に関する法令 中島覚(広島大学アイソトープ総合センター) - 放射線障害防止法改正の要点 須田博文(香川医科大学) - 放射線の人体に与える影響 島本整(広島大学生物生産学部) - 緊急被ばく医療の基礎知識 鈴木元((財)放射線影響研究所) - 特別講演「スパイスの放射線殺菌」 多田幹郎(岡山大学農学部)
2002	平成14	5	10	新規教育・再教育	広島商工会議所	新規:39 再:20	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 静間清(広島大学大学院工学研究科) - 放射線障害の防止に関する法令 三好弘一(徳島大学アイソトープ総合センター) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際 河内千恵(広島大学アイソトープ総合センター) - 放射線の人体に与える影響 島本整(広島大学生物生産学部) - 医療と放射線 平木祥夫(岡山大学大学院医歯学総合研究科) - 特別講演「チェルノブイリ事故の日本への影響ー風に乘ってやって来たRIの調査」 寺井邦雄(元島根県衛生公害研究所)
2003	平成15	5	9	新規教育・再教育	第一イン岡山	新規:45 再:38	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 山西守(岡山大学工学部) - 放射線障害の防止に関する法令 小野俊朗(岡山大学自然生命科学研究支援センター) - 放射線計測機器の取扱の基礎 青木功二(アロカ(株)) - 放射線の人体に与える影響 黒田照夫(岡山大学自然生命科学研究支援センター) - 密封線源の安全取扱 大野忠吉((株)トクヤマ) - 特別講演「原子力発電所の放射線管理」 宮崎英雄(中国地域エネルギーフォーラム)
2004	平成16	5	14	新規教育・再教育	広島商工会議所	新規:37 再:16	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 静間清(広島大学大学院工学研究科) - 放射線障害の防止に関する法令 中島覚(広島大学自然科学研究支援開発センター) - 放射線の人体に与える影響 島本整(広島大学大学院生物圏科学研究科) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際 稲田晋宣(広島大学自然科学研究支援開発センター) - 個人線量計の装着とガラスバッジの測定原理 福田光道((株)千代田テクノル) - 特別講演「地球の歴史を刻む放射性壊変」 高橋嘉夫(広島大学大学院理学研究科)
2005	平成17	5	13	新規教育・再教育	広島大学東千田キャンパス	新規:48 再:26	- 放射性同位元素等の安全取扱1ー放射性同位元素と放射線の基礎ー 静間清(広島大学大学院工学研究科) - 放射線障害の防止に関する法令1ー法令の基礎ー 小野俊朗(岡山大学自然生命科学研究支援センター) - 放射線障害の防止に関する法令2ー法令改正ー 中島覚(広島大学自然科学研究支援開発センター) - 放射線の人体に与える影響 島本整(広島大学大学院生物圏科学研究科)

4.6.11 中国・四国支部委員会(3)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2005	平成17	5	13				・放射性同位元素等の安全取扱2ー非密封放射性同位元素の安全取扱ー 稲田晋宣(広島大学自然科学研究支援開発センター) ・放射性同位元素等の安全取扱3ー放射線発生装置, X線発生装置, ECDガスクロなどの安全取扱ー 遠藤暁(広島大学原爆放射線医科学研究所) ・放射性同位元素等の安全取扱4ーサーベイメータ, ポケット線量計の原理と取扱ー 岩本明憲(アロカ(株))
2006	平成18	5	12	新規教育・再教育	メルパルク岡山	新規:43 再:28	・放射線と放射性同位元素の安全取扱の基礎 澁谷光一(岡山大学医学部保健学科) ・放射線と放射性同位元素の安全取扱の実際1ー生命科学研究における非密封同位元素の利用ー中西徹(就実大学薬学部) ・放射線の人体に与える影響 大塚正人(岡山大学自然生命科学研究支援センター) ・放射線障害の防止に関する法令 中島覚(広島大学自然科学研究支援開発センター) ・放射線と放射性同位元素の安全取扱の実際2ー密封放射性同位元素と放射線発生装置の取扱ー北川和英(広島大学原爆放射線医科学研究所) ・特別講演「低線量放射線の健康への有益効果の検証と医療への応用」ー特にラドン療法の適応症とその機構の解明ー 山岡聖典(岡山大学医学部保健学科)
2007	平成19	5	11	新規教育・再教育	メルパルク岡山	新規:38 再:21	・放射線と放射性同位元素の安全取扱の基礎 稲田晋宣(広島大学自然科学研究支援開発センター) ・放射線と放射性同位元素の安全取扱の実際Ⅰー非密封放射性同位元素の取扱ー 大塚正人(岡山大学自然生命科学研究支援センター) ・放射線の人体に与える影響 花房直志(岡山大学自然生命科学研究支援センター) ・放射線障害の防止に関する法令 中島覚(広島大学自然科学研究支援開発センター) ・放射線と放射性同位元素の安全取扱の実際Ⅱー密封放射性同位元素と放射線発生装置の取扱ー 鑛山宗利(岡山大学自然生命科学研究支援センター) ・放射線と放射能同位元素の安全取扱の実際Ⅲーサーベイメータの取扱ー 青木功二(アロカ(株))
2008	平成20	5	9	新規教育・再教育	広島大学廣仁会館	新規:39 再:19	・放射線と放射性同位元素の安全取扱の基礎 稲田晋宣(広島大学自然科学研究支援開発センター) ・放射線と放射性同位元素の安全取扱の実際Ⅰー非密封放射性同位元素の取扱ー 坂口修一(山口大学総合科学実験センター) ・放射線の人体に与える影響 花房直志(岡山大学自然生命科学研究支援センター) ・放射線障害の防止に関する法令 中島覚(広島大学自然科学研究支援開発センター) ・放射線と放射性同位元素の安全取扱の実際Ⅱー密封放射性同位元素と放射線発生装置の取扱ー 北川和英(広島大学技術センター) ・放射線と放射能同位元素の安全取扱の実際Ⅲー放射線等による事故例と安全取扱ー 小野俊朗(岡山大学自然生命科学研究支援センター)
2009	平成21	5	15	新規教育・再教育	広島大学廣仁会館	新規:37 再:19	・放射線と放射性同位元素の安全取扱の基礎 花房直志(岡山大学自然生命科学研究支援センター)

4.6.11 中国・四国支部委員会(4)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2009	平成21	5	15				- 放射線と放射性同位元素の安全取扱の実際Ⅰ－非密封放射性同位元素の取扱－ 稲田晋宣(広島大学自然科学研究支援開発センター) - 放射線の人体に与える影響 増田晴造(愛媛大学総合科学研究支援センター) - 放射線障害の防止に関する法令 鈴木孝夫(鳥取大学生命機能研究支援センター) - 放射線と放射性同位元素の安全取扱の実際Ⅱ－密封放射性同位元素・非破壊検査装置の安全取扱－ 堀田雅雄((株)シーエックスアール) - 放射線と放射能同位元素の安全取扱の実際Ⅲ－液体シンチレーションカウンタの測定法－ 鬼島明洋(アロカ(株))
2010	平成22	5	14	新規教育・再教育	岡山大学創立五十周年記念館	新規:33 再:17	- 放射線と放射性同位元素の安全取扱の基礎 花房直志(岡山大学自然生命科学研究支援センター) - 放射線と放射性同位元素の安全取扱の実際Ⅰ－非密封放射性同位元素の取扱－ 澁谷光一(岡山大学大学院保健学研究科) - 放射線の人体に与える影響 長谷川豊司((株)大塚製薬工場研究開発センター) - 放射線障害の防止に関する法令 鈴木孝夫(鳥取大学生命機能研究支援センター) - 放射線と放射性同位元素の安全取扱の実際Ⅱ－密封放射性同位元素と放射線発生装置の取扱－ 北川和英(広島大学技術センター) - 放射線と放射能同位元素の安全取扱の実際Ⅲ－湧き出し線源等の事例と安全取扱－ 小野俊朗(岡山大学自然生命科学研究支援センター)

4.6.12 九州地方委員会

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1990	平成2	5	11	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	71	九州地方委員会として、第1回放射線業務従事者のための教育訓練講習会
1991	平成3	5	9	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	113	
1992	平成4	5	8	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	119	

4.6.13 九州支部委員会(1)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
1993	平成5	5	7	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	93	
1994	平成6	5	16	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	78	
1995	平成7	5	19	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	73	
1996	平成8	5	10	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	76	
1997	平成9	5	6	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	77	
1998	平成10	5	8	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	72	
1999	平成11	5	10	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	88	
2000	平成12	5	9	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	69	
2001	平成13	5	7	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	新規:60 再:22	- 放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 杉原真司(九州大学大学院理学研究院) - 放射線障害の防止に関する法令 久保剛(大分医科大学医学部) - 放射線の人体に与える影響 法村俊之(産業医科大学医学部) - 放射線とアイソトープの安全取扱の実際 川村照子(九州大学アイソトープ総合センター)

4.6.13 九州支部委員会(2)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2001	平成13	5	7				・新法令に対する考え方と実際 大崎進(九州大学アイソトープ総合センター)
2002	平成14	5	7	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	新規:47 再:19	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 杉原真司(九州大学大学院理学研究院) ・放射線の人体に与える影響 法村俊之(産業医科大学医学部) ・放射線障害の防止に関する法令 久保剛(大分医科大学医学部) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際 川村熙子(九州大学アイソトープ総合センター) ・空間線量測定マニュアルの解説 野村貴美(東京大学大学院工学系研究科)
2003	平成15	5	6	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	新規:44 再:26	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 杉原真司(九州大学大学院理学研究院) ・放射線の人体に与える影響 松田尚樹(長崎大学アイソトープ総合センター) ・放射線障害の防止に関する法令 久保剛(大分医科大学医学部) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際 島崎達也(熊本大学アイソトープ総合センター) ・放射線防護に関する最近の動向 赤羽恵一(大分県立看護科学大学)
2004	平成16	5	7	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	新規:52 再:32	・放射線とアイソトープの安全取扱の基礎 杉原真司(九州大学大学院理学研究院) ・放射線の人体に与える影響 松田尚樹(長崎大学先端生命科学研究支援センター) ・放射線障害の防止に関する法令 久保剛(大分大学総合科学研究支援センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱の実際 島崎達也(熊本大学生命資源研究・支援センター) ・法令改正等で放射線管理はどのように変わるか? 大崎進(九州大学アイソトープ総合センター)
2005	平成17	5	9	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	新規:50 再:32	・放射線とアイソトープの安全取扱1(基礎) 杉原真司(九州大学大学院理学研究院) ・放射線とアイソトープの安全取扱2(測定) 近常正司((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱3(実際) 高見昇(福岡大学医学部RI施設) ・放射線の人体に与える影響 松田尚樹(長崎大学先端生命科学研究支援センター) ・放射線障害の防止に関する法令 小野孝二(大分県立病院) ・放射線とアイソトープの安全取扱4ー法令改正による安全取扱の変更点ー 島崎達也(熊本大学生命資源研究・支援センター)
2006	平成18	5	8	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	新規:48 再:21	・放射線とアイソトープの安全取扱1(基礎) 古市正人(九州大学アイソトープ総合センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱2(測定) 近常正司((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱3(実際) 高見昇(福岡大学医学部RI施設) ・放射線の人体に与える影響 馬田敏幸(産業医科大学アイソトープ研究センター) ・放射線障害の防止に関する法令 小野孝二(大分県立病院) ・放射線とアイソトープの安全取扱4ー事故事例から学ぶものー 井上浩義(久留米大学医学部)
2007	平成19	5	7	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	新規:49 再:21	・放射線とアイソトープの安全取扱1(基礎) 杉原真司(九州大学大学院理学研究院)

4.6.13 九州支部委員会(3)

西暦	年号	月	日	種別等	会場	参加者数	内容等
2007	平成19	5	7				・放射線とアイソトープの安全取扱2(測定) 佐藤正((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱3(実際) 井上浩義(久留米大学医学部) ・放射線の人体に与える影響 馬田敏幸(産業医科大学アイソトープ研究センター) ・放射線障害の防止に関する法令 福德康雄(鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱4ー放射線防護に関する最近の話題ー放射線生物学の観点からー 松田尚樹(長崎大学先端生命科学研究支援センター)
2008	平成20	5	9	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	新規:28 再:17	・放射線とアイソトープの安全取扱1(基礎) 百島則幸(九州大学アイソトープ総合センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱2(測定) 佐藤正((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱3(実際) 後藤稔男(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター) ・放射線の人体に与える影響 馬田敏幸(産業医科大学アイソトープ研究センター) ・放射線障害の防止に関する法令 福德康雄(鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱4ー内部被ばく線量の評価ー 島崎達也(熊本大学生命資源研究・支援センター)
2009	平成21	5	12	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	新規:44 再:31	・放射線とアイソトープの安全取扱1(基礎) 百島則幸(九州大学アイソトープ総合センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱2(測定) 萱野信二((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱3(実際) 後藤稔男(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター) ・放射線の人体に与える影響 馬田敏幸(産業医科大学アイソトープ研究センター) ・放射線障害の防止に関する法令 福德康雄(鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱4ー医療放射線の安全取扱ー 富吉司(元鹿児島大学病院)
2010	平成22	5	11	新規教育・再教育	福岡リーセントホテル	新規:60 再:29	・放射線とアイソトープの安全取扱1(基礎) 百島則幸(九州大学アイソトープ総合センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱2(測定) 浅見文克((株)千代田テクノル) ・放射線とアイソトープの安全取扱3(実際) 後藤稔男(宮崎大学フロンティア科学実験総合センター) ・放射線の人体に与える影響 馬田敏幸(産業医科大学アイソトープ研究センター) ・放射線障害の防止に関する法令 福德康雄(鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター) ・放射線とアイソトープの安全取扱4ー放射線リスク その評価とガバナンスー 甲斐倫明(大分県立看護科学大学)

表4. 7 事業所内教育訓練受託業務

西暦年度	年号年度	派遣事業 所件数	備 考
1987	昭和62	3	1987年9月から受託開始
1988	昭和63	18	
1989	平成元	32	
1990	平成2	35	
1991	平成3	39	
1992	平成4	36	
1993	平成5	36	
1994	平成6	41	
1995	平成7	41	
1996	平成8	35	
1997	平成9	36	
1998	平成10	41	
1999	平成11	37	
2000	平成12	36	
2001	平成13	34	
2002	平成14	41	
2003	平成15	48	
2004	平成16	44	
2005	平成17	41	
2006	平成18	42	
2007	平成19	35	
2008	平成20	39	
2009	平成21	40	
合計		830	

表4. 8 分科会等活動一覧

分科会等名称	活 動 期／年 度											
	第16期		第17期		第18期		第19期		第20期		第21期	
	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
分科会Ⅰ(非密封施設)		○	○									
分科会Ⅱ(医療施設)		○	○									
分科会Ⅲ(ガスクロマトグラフィ・密封RI施設)		○	○									
教育訓練分科会(医療機関)				○								
教育訓練分科会(大学・研究機関)				○								
教育訓練分科会(民間[企業]機関)				○								
草の根ネットワーク												
・製薬交流会					○							
・製薬放射線コンファレンス						○	○	○				
・製薬グループ										○		
・教育研究会					○							
・教育訓練研究交流会						○	○	○	○	○		
・医系グループ					○	○	○	○	○	○		
・病院グループ										○		
・ECD・ガスクログループ					○							
・ECD-ガスクロ管理者交流会						○	○	○				
・パソコン通信JRI-net (& RI-net)					○	○	○	○	○			
・非密封・大学・研究グループ							○					
・大学グループ								○	○	○		
分科会												
・PET施設管理研究会										○	○	○
・教育訓練問題検討										○	○	○
・製薬										○	○	○
・選任主任者										○	○	○
・放射線取扱主任者制度検討										○	○	○
・RIの飛散率・透過率検討										○	○	○
・放射線計測										○	○	○
・立入検査										○	○	○
・RI廃棄物										○	○	○

注) 2000年8月15日付,「放射線取扱主任者部会の分科会等の設置及び運営に関する内規」を定める。(2002年6月1日, 2003年2月17日付で改正)

表4. 9 主任者部会・部会員等に関わった主な発行図書類

4.9.1 部会組織改正以前（1959年12月～1992年5月）

関係委員会名等	図書類名等
東京常任委員会 (1959年11月～1992年5月) [1959年11月～1962年3月：常任委員会]	* 「主任者コーナー」の編集 Isotope News(協会ニュース)(1960.4, No.68～1992.5, No.382) * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」(第5～36回) Isotope News(協会ニュース)(1961～1992) * 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」(第1～29回) Isotope News(協会ニュース)(1961～1987) * 「放射線施設の火災対策」(1961) * 「密封小線源の取扱」(1962) * 「放射線とアイソトープ」(1962) * 「個人外部被曝モニタリングの手びき」(1964) * 「放射線管理実務マニュアルⅠ」(1983) * 「放射線施設の火災・地震対策」(1985) * 「外部被ばくモニタリング」(1986) * 千葉県東方沖地震状況調査 Isotope News(1988.8, No.410) * 千葉県東方沖地震状況調査 RADIOISOTOPES(Vol.38, No.2, 1989) * 「改訂 放射線管理実務マニュアルⅠ」(1989) * 「放射線障害防止教育訓練用OHPシート」(1991) * 「放射線管理実務マニュアルⅡ」(1991) * 「現行法令の課題」(1992)
関西常任委員会 (1961年7月～1992年5月)	* 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」(第30～33回) Isotope News(協会ニュース)(1988～1991) * 「やさしい放射線とアイソトープ」(1986) * 「改訂版 やさしい放射線とアイソトープ」(1988) * 「放射線ABC」(1990)
基盤整備委員会 (1990年11月～1991年3月)	* 基盤整備委員会報告書 平成3年度主任者研修会(第32回部会総会)要旨集(補冊)(1991)

4.9.2 部会組織改正以後（1992年6月～）

関係委員会名等	図書類名等
企画委員会 (1992年6月～)	* 「平成4年度主任者研修会(第33回部会総会)要旨集」(1992) * 「21世紀の主任者部会活動に向けて」(1996) * ニューメディア教育訓練用教材CD-ROM試作版(1999.8)
広報委員会 (1992年6月～)	* 「主任者コーナー」の編集 Isotope News(1992.6, No.383～2010.5, No.673) * 「主任者ニュース」の編集・発行(第1～15号)(1995～2009)
法令検討委員会 (1992年6月～)	* 「改訂3版 放射線管理実務マニュアルⅠ」(1993.9) * 法令検討委員会報告(案)(現行法令の課題)(1999.10) * 法令検討委員会報告(現行法令の課題) 平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)要旨集(2000)(p223) * 法令改正への対応に際してのQ&A(1) Isotope News(2001.6, No.565)(p47) * 法令改正への対応に際してのQ&A(2) Isotope News(2001.7, No.566)(p50) * Q&A：BSS免除レベルの取り入れで法令はどう変わるのか Isotope News(2003.11, No.595)(p63) * 法令検討委員会報告書「放射線取扱主任者のあり方」について Isotope News(2004.7, No.603)(p79)

関係委員会名等	図書類名等
法令検討委員会	* 改正法令に関するQ&A：放射線障害防止法及び関係政省令等の改正について Isotope News (2005.6, No.614) (p45) * 事業主の責務と放射線取扱主任者のあり方について Isotope News (2006.4, No.624) (p76) * 放射性同位元素使用施設等で発生する廃棄物のクリアランスについての現状 Isotope News (2006.10, No.630) (p11) * クリアランスを巡る最近の動きについてークリアランスの運用状況及びICRPの新勧告ー Isotope News (2008.5, No.649) (p64) * 放射線管理Q&A Isotope News (2009.10, No.666) (p63)
組織化推進委員会 (1996年6月～2002年5月)	* 「選任放射線取扱主任者のアンケート調査」結果報告 Isotope News (2000.6, No.553) (p53) * 組織化推進委員会活動報告 Isotope News (2002.7, No.579) (p49)
主任者部会・21世紀のあり方検討委員会 (1996年11月～2000年5月)	* 「主任者部会・21世紀のあり方」中間報告書 平成11年度主任者年次大会(第40回主任者研修会)要旨集(1999) (p135) * 「主任者部会・21世紀のあり方」報告書(1999.11)
放射線管理技術検討委員会 (1998年1月～2002年5月)	* 「放射線施設の遮蔽能力・放射性物質飛散率評価に関する調査研究(中間報告)」(1998) * 放射線管理技術検討委員会活動報告 Isotope News (2002.10, No.582) (p63)
製薬放射線委員会 (1998年6月～2000年5月)	* ラジオアイソトープを用いた動物実験での文献調査ー飛散率についてー RADIOISOTOPES (Vol.47, No.11, 1998)
北海道支部委員会 (1992年6月～)	* 北海道東方沖地震放射線施設状況調査報告 Isotope News (1995.10, No.496) (p79)
平成11年度主任者年次大会実行委員会 平成19年度主任者部会年次大会実行委員会	* 平成11年度主任者年次大会(第40回主任者研修会)要旨集(1999) * 平成19年度主任者部会年次大会(第48回放射線管理研修会)要旨集(2007)
東北支部委員会 (1992年6月～)	* 三陸はるか沖地震放射線施設状況調査報告 Isotope News (1995.10, No.496) (p74)
平成7年度主任者年次大会実行委員会 平成16年度主任者部会年次大会実行委員会	* 平成7年度主任者年次大会(第36回主任者研修会)要旨集(1995) * 平成16年度主任者部会年次大会(第45回放射線管理研修会)要旨集(2004)
関東支部委員会 (1992年6月～)	
第1種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会 平成8年度主任者年次大会実行委員会 平成12年度主任者年次大会実行委員会 平成15年度主任者部会年次大会実行委員会 平成21年度主任者部会年次大会実行委員会	* 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」(第37～54回) Isotope News (1992～2010) * 平成8年度主任者年次大会(第37回主任者研修会)要旨集(1996) * 平成12年度主任者年次大会(第41回主任者研修会)要旨集(2000) * 平成15年度主任者部会年次大会(第44回放射線管理研修会)要旨集(2003) * 平成21年度主任者部会年次大会(第50回放射線管理研修会)要旨集(2009)
中部支部委員会 (1992年6月～)	
第2種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会 平成5年度主任者年次大会実行委員会 平成13年度主任者年次大会実行委員会 平成20年度主任者部会年次大会実行委員会	* 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」(第36, 37, 49, 51回) Isotope News (1995, 1996, 2008, 2010) * 平成5年度主任者年次大会(第34回主任者研修会)要旨集(1993) * 平成13年度主任者年次大会(第42回主任者研修会)要旨集(2001) * 平成20年度主任者部会年次大会(第49回放射線管理研修会)要旨集(2008)
近畿支部委員会 (1992年6月～)	* 阪神・淡路大震災の被災施設状況調査および救援活動報告 Isotope News (1995.4, No.490)

関係委員会名等	図書類名等
近畿支部委員会	* 阪神・淡路大震災の被災施設状況調査 Isotope News (1995.5, No.491) * そのとき主任者は－阪神・淡路大震災を体験して(1)～(3) Isotope News (1995.6～1995.8, No.492～No.494)
第2種放射線取扱主任者試験問題解答 例作成委員会	* 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」(第34, 35, 38～51回) Isotope News (1992, 1994, 1997～2010)
平成6年度主任者年次大会実行委員会	* 平成6年度主任者年次大会(第35回主任者研修会)要旨集(1994)
平成14年度主任者年次大会実行委員会	* 平成14年度主任者年次大会(第43回主任者研修会)要旨集(2002)
中国・四国支部委員会 (1992年6月～)	
平成9年度主任者年次大会実行委員会	* 平成9年度主任者年次大会(第38回主任者研修会)要旨集(1997)
平成17年度主任者部会年次大会実行委 員会	* 平成17年度主任者部会年次大会(第46回放射線管理研修会)要旨集(2005)
九州支部委員会 (1992年6月～)	
平成10年度主任者年次大会実行委員会	* 平成10年度主任者年次大会(第39回主任者研修会)要旨集(1998)
平成18年度主任者部会年次大会実行委 員会	* 平成18年度主任者部会年次大会(第47回放射線管理研修会)要旨集(2006)

6.9.3 その他部会員等が関わった図書類等

関係委員会名等	図書類名等
	* 「主任者のための放射線管理の実際」(1992.5.1) * 「放射線安全管理の実際」(2006.3.31) * 「2版 放射線安全管理の実際」(2007.5.31) * 「新版 放射線管理実務マニュアル」(2004.4.20) * 「改訂版 放射線管理実務マニュアル」(2008.11.11) * 火災・地震と放射線施設(DVD全1巻(初版：ビデオテープ)(1986) * 改訂版 アイソトープ(DVD全5巻)(1991) * 防災対策ビデオ あなたが主役!! (DVD全1巻)(1996) * 見て納得 放射線障害防止法入門(ビデオテープ全3巻/DVD全1巻)(2007) * 「見て納得 放射線障害防止法入門」の英語版 Visual Learning Introduction to the Law Concerning Prevention of Radiation Hazards (DVD : 1) (2008)

表4. 10 日本アイソトープ協会会員数と放射線取扱主任者部会
部会員数の推移

4. 10. 1 日本アイソトープ協会会員数の推移

年度	個人正会員	法人正会員	特別会員	賛助会員	総会員数
1959	1,473	80		10	1,563
1960	1,654	83		10	1,747
1961	1,528	89		10	1,627
1962	1,608	90		10	1,708
1963	1,693	94		10	1,797
1964	2,084	86		11	2,181
1965	2,287	86		11	2,384
1966	2,519	89		11	2,619
1967	2,746	95		11	2,852
1968	2,942	99		11	3,052
1969	3,281	104		11	3,396
1970	3,634	106		11	3,751
1971	4,081	112		12	4,205
1972	4,487	122		13	4,622
1973	4,921	129		11	5,061
1974	5,375	146		10	5,531
1975	5,840	155		10	6,005
1976	6,105	169		10	6,284
1977	6,302	172		10	6,484
1978	6,380	170		9	6,559
1979	6,197	174		9	6,380
1980	6,544	178		9	6,731
1981	6,649	192		10	6,851
1982	7,047	210		12	7,269
1983	7,036	218		13	7,267
1984	7,020	227		14	7,261
1985	6,964	233		14	7,211
1986	6,919	231		14	7,164
1987	6,809	237		15	7,061
1988	6,869	236		15	7,120
1989	6,946	238		15	7,199
1990	7,481	254		16	7,751
1991	7,438	255		16	7,709
1992	7,236	254		33	7,523
1993	7,071	253		36	7,360
1994	6,652	261		37	6,950
1995	6,268	266		56	6,590
1996	6,112	276		56	6,444
1997	5,950	275		58	6,283
1998	5,679	265		52	5,996
1999	5,423	261		48	5,732
2000	5,216	265		47	5,528
2001	4,860	270	206	47	5,383
2002	4,685	259	233	46	5,223
2003	4,474	249	252	41	5,016
2004	4,307	242	304	39	4,892
2005	4,100	234	293	37	4,664
2006	3,914	239	325	34	4,512
2007	3,733	240	319	34	4,326
2008	3,526	240	331	34	4,131
2009	3,270	229	336	32	3,867

4.10.2 放射線取扱主任者部会部会員数の推移

年度	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国・四国	九州	総部会員数
1983								4,598
1984								4,607
1985								4,607
1986								4,602
1987								4,576
1988								4,635
1989								4,713
1990								4,764
1991								5,391
1992								5,438
1993	163	367	2,365	676	947	448	363	5,329
1994	161	354	2,370	679	949	442	359	5,314
1995	152	337	2,252	637	880	422	352	5,032
1996	135	321	2,106	578	819	389	324	4,672
1997	130	306	2,042	582	798	380	320	4,558
1998	124	288	1,953	548	761	369	313	4,356
1999	121	270	1,868	527	729	360	310	4,185
2000	115	262	1,822	519	693	356	288	4,055
2001	118	255	1,726	499	662	337	288	3,885
2002	109	251	1,674	468	631	319	278	3,730
2003	106	246	1,618	455	602	299	267	3,593
2004	104	233	1,521	435	572	280	254	3,399
2005	98	227	1,484	415	550	271	254	3,299
2006	94	221	1,416	390	510	257	234	3,122
2007	97	215	1,348	378	480	244	231	2,993
2008	91	212	1,275	361	461	234	216	2,850
2009	91	196	1,194	346	428	213	203	2,671

編集後記

予定されていた「主任者部会設立 50 周年記念誌」の刊行を取り止め、「主任者部会設立 50 周年資料集」となり、ご寄稿を頂いた方々と多くの関係者の方にご迷惑をおかけしたことを重ねてお詫び申し上げます。

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災は未曾有の大災害であり、地震関連死を含めて 2 万人を超える死者と 30 万近い建屋が全壊・半壊し、34 万人を超える方々が避難しました。また、今回の東京電力(株)福島第一原子力発電所事故（福島原発事故）は、炉心融解・水素爆発を起こし、原子力施設事故で最も深刻なレベル 7 の最大級の事故となり、福島原発事故施設周辺の 20 万人近い住民が避難しました。

環境に放出された主な放射性物質の数量は、 ^{131}I が $1.5 \times 10^{17} \text{Bq}$ 、放射性セシウムの ^{134}Cs が $1.8 \times 10^{16} \text{Bq}$ 、 ^{137}Cs が $1.5 \times 10^{16} \text{Bq}$ と推測されています。主任者が通常対応する MBq～GBq レベルの放射性物質の数量とは桁違いの数千万から数億倍の数量が、放射線管理区域ではない一般区域の住居、田畑、公園、森林などの環境中に飛散しました。

その結果、小生の勤務する放射線施設の空間線量率モニタや排気モニタの数値が一時的に通常値の数十倍に上昇しました。また、放射線管理区域内の RI 実験室よりも、管理区域の外側の屋外の方が、空間線量率、空气中濃度、表面汚染密度等のレベルが高く、福島原発事故から飛来した放射性物質の対応に翻弄しました。この様な状況は、東京都も含め、広く東北地区や関東地区の放射線施設の主任者や放射線管理者の方々も実感されたことと思います。

福島原発事故から 1 年が経過して、比較的半減期の短い核種は既に減衰しましたが、放射性セシウム

の数十 PBq が、福島県を中心に今後も長期にわたり広範囲な生活環境に残存します。

この膨大な放射性セシウムの除染と安全管理には、新たな放射線管理者と放射線安全の監督者が必要です。主任者は放射線障害防止法の要として誕生し、主任者部会が設立されて 50 周年が過ぎましたが、これまでの活動は、放射線障害防止法の対象とする放射線施設が中心でした。今回の福島原発事故で、放射線施設の管理区域内の放射性物質よりも、広範囲な生活環境区域に大量の放射性物質が存在しています。

「主任者部会設立 50 周年資料集」のあとがきとして、これまでの主任者、放射線管理者と主任者部会の実績と経験から、私案を提示します。

福島原発事故に伴い、広範囲な田畑・森林や居住生活地区に大量の放射性物質が残存しています。今後は、環境中に飛散した膨大な放射性物質に対する放射線安全管理が必要不可欠です。そのため、環境省所管の法制度の基に、生活環境フィールドを対象にした、新たな「除染環境主任者」（仮称）の創設を提案します。今後は、この「除染環境主任者」（仮称）を要に加え、多くの放射線管理者と共に、福島原発事故の復旧と復興に貢献し、主任部会を研鑽・情報交換の集まりの場とする「新・主任者部会」として、さらなる躍進と若い方の活動を期待します。

最後に、「放射線取扱主任者部会」が名称を「放射線安全取扱部会」に変更したことを機に、今、国民の重大な関心事である放射線安全への対応など、部会活動のさらなる飛躍を願うものです。

（福島原発事故から 1 年を経て、菊地 透：自治医科大学）